

学 校 教 育

# 一関市学校教育の基本構想

## 日本国憲法

### 教育基本法 学校教育法 学習指導要領

#### いわて県民計画

学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

- 【知育】児童生徒の確かな学力を育む
- 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育む
- 【体育】児童生徒の健やかな体を育む
- 共に学び、共に育つ特別支援教育の推進
- いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校づくり
- 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上
- 多様なニーズに応じた特色ある私学教育の充実
- 地域に貢献する人材の育成
- 文化芸術・スポーツを担う人材の育成
- 高等教育機関と連携した地域づくり・人づくり

#### 一関市教育振興基本計画

<基本目標>

学びの風土を礎に 心豊かにたくましく  
郷土の誇りを未来につなぐ

一関の人づくり

(施策の基本方向)

- 社会を生き抜く力を育む学校教育の充実
- ともに学び、まちとひとをつくる社会教育の推進
- 誇りと愛着を醸成する文化の継承

#### 一関市学校教育基本方針

- 1 社会の変化に主体的に対応できる確かな学力を育成する。
- 2 たくましく心豊かに生きる幼児・児童・生徒を育成する。
- 3 幼児・児童・生徒の実態に即し、地域の環境や特性を生かした特色ある教育を創造する。

#### 岩手県学校教育が目指すもの (「これからの岩手の義務教育」「学校教育指導指針」)

- 「知・徳・体」を総合的に兼ね備えた、社会を創造する能力を育てる「人間形成」

#### 一関市学校教育の課題

- 確かな学力を育む教育の推進
- 豊かな心を育む教育の推進
- 健やかな体を育む教育の推進
- 社会の変化に対応した教育の推進
- 自立して生きる力を支援する教育の推進



# I 令和3年度 学校教育行政の方針及び指導の重点

教育振興の基本目標 「学びの風土を礎に 心豊かにたくましく  
施策の基本方向

## 重点項目

### ◇最重要な教育課題◇

### 重点の方向性

1	ことばの力を育てる教育	本に親しみ思考を深める「ことばと読書」、ことばの感性を磨き、語彙を豊かにする「ことばの響き」、地域への理解を深め誇りとする「ことばの先人」を柱に、ことばの力を育てる教育を推進します。
2	学力向上	わかる授業づくり（構造的板書とテンポよい授業）と習慣形成（生活・学習）の両面から学力向上を図ります。音読・計算を中心としたモジュール時間の設定を行い、基礎学力や学力を支える集中力を高めます。
3	キャリア教育	生涯にわたって生き続ける社会人としての基礎を培うため、職業観・勤労観の育成をはじめ、コミュニケーション能力、考え行動する力、地域への貢献などを実践を通して育成します。

### ◇恒常的な教育課題◇

4	特別支援教育	各種研修会による指導技術の向上、特別支援コーディネーターや専門家チームの相談活動、学校サポーターの対応等によりきめ細かな指導を展開します。
5	いじめと不登校への対応	いじめや不登校数の減少につながる各学校の取り組み（組織的対応、情報共有、小中連携など）を継続します。特に「居場所づくり」と「絆づくり」や初期対応を確実にし、未然防止に努めます。

### ◇当面する教育課題◇

6	ICTの活用	ICT機器の整備を進めながら、ICTを活用したわかる授業と情報活用能力の育成を進め、変化の激しい社会を生き抜く資質や能力を育てます。
7	グローバル化への対応	外国語活動・英語教育の充実を図り、外国の文化や言語に慣れ親しむ機会を増やし、コミュニケーション能力の育成を図ります。また、ILCに対応する活動を充実させます。
8	健やかな体の育成	各学校での取り組みと専門家による指導を連携して行い、生涯の食習慣と健康な体づくりにつながる食育を進めます。また、運動習慣の形成を目指す取り組みを積極的に進めます。

### 働き方改革

- ・長時間勤務の是正（在校等時間を月45時間、夜8時
- ・部活動の在り方に関する方針に基づく、適切な部活動
- ・部活動指導員の雇用

# 郷土の誇りを未来につなぐ 一関の人づくり」

## 「社会を生き抜く力を育む学校教育の充実」

H28～R 7

### キーワード・具体策・新規事業等

### 一関市学校教育 基本方針

- ・読書普及員の配置と学校図書館の充実、市立図書館との連携、読書活動の充実
- ・全小学校における、改訂した「言海」を使用した「ことばの時間」での音読の推進
- ・全幼稚園、こども園、保育園における「ことばの時間」の実施と内容の充実
- ・ことばの先人出前講座の実施とことばのテキスト「言海」の先人ページの活用

- ・陰山メソッドによる基礎力の定着と集中力の育成
- ・日本学校教育学会の支援を受けた算数・数学を中心とした研修会
- ・学習支援員等による数学の添削指導、個別指導、補充指導（中学校）
- ・指導主事や学習指導専門員の訪問指導や拡大校内研による授業力の向上

- ・全中学校2年生の5日間の社会体験学習の実施、社会体験リーフレットの作成
- ・キャリア教育シンポジウムの開催、地域と自分を考える機会の設定
- ・中学生最先端科学体験研修事業
- ・市立博物館・民俗資料館等の活用と地域学習

- ・特別支援に関する各種研修会と相談会の開催
- ・市特別支援コーディネーター ・専門家チームの学校訪問
- ・幼児期ことばの教室（3教室） ・きめ細かな指導支援員配置（幼稚園）
- ・学校サポーターの配置（小中学校）

- ・いじめ防止基本方針の周知と早期発見 ・早期対応に向けた組織対応の強化
- ・「居場所づくり」と「絆づくり」による新規不登校者の抑制
- ・適応支援教室たんぽぽ広場の活用 ・適応支援相談員の配置（7名）
- ・教育相談員による訪問指導

- ・ICT環境の整備（児童生徒ひとり1台タブレット端末等の配備）
- ・授業に生かすICT研修とICT教育部会による実践研究
- ・4ブロックでのICT推進共同実施による学校間連携
- ・ICT指導員、GIGAスクールサポーターの配置

- ・小中学校・幼稚園・こども園への11名のALTの派遣、活用
- ・小中学校英語授業向上のための外国語指導専門員の配置
- ・中学生最先端科学体験研修事業（再掲）
- ・ILCに係る研修機会の提供（ILC推進課）

- ・60運動と走力を高める運動の推奨
- ・家庭でのスマホ・ゲーム機等のルールの普及（イマハチルール、イマキュウルール）
- ・郷土の食文化（和食文化）への理解と食に関する情報発信
- ・運動習慣形成につながる学校・家庭・地域との連携（肥満予防）

〇〇〇

児童・生徒の実態に即し、地域の環境や特性を生かした特色ある教育を創造する。  
たくましく心豊かに生きる児童・生徒を育成する。  
社会の変化に主体的に対応できる確かな学力を育成する。

以前とする取り組み)  
指導、今後の部活動の在り方検討



## II 幼稚園教育の方針及び重点

### 1 方 針

幼児一人一人の資質・能力を育んでいくよう、家庭や地域社会と協力して教育活動のさらなる充実を図り、小学校以降の学校教育の基盤を培う幼稚園教育の推進に努める。

### 2 重 点

#### 創意工夫を凝らした特色ある幼稚園経営

- ◆創意工夫を凝らした教育課程
- ◆評価

◇幼稚園教育要領に基づき、幼稚園の特性に応じた教育目標を明確にし、運動や表現、新型コロナウイルス感染症対策への配慮など、**創意工夫を凝らした教育課程**を編成する。  
◇教育目標の実現に向け、教育課程の実施状況を**評価**し、更なる充実に向けた改善を図る。

#### 小学校教育との円滑な接続

- ◆小学校との共有、引き継ぎ

◇小学校教師と、「育みたい資質・能力」及び「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」を共有し、意見交換や合同な研究の機会を通じて理解を深め、小学校教育との円滑な接続を図る。

#### ことばの力を育てる教育の推進

- ◆読み聞かせ
- ◆ことばの時間
- ◆立腰

◇**読み聞かせ**をとおし、想像する楽しさを味わう活動の充実を図る。  
◇ことばの響きやリズムを感性として取り込む「**ことばの時間**」を推進する。  
◇**立腰（腰骨を立てる活動）**を位置付け、集中力や耐性の機会をつくり、自立心の育成を図る。

#### 家庭や地域社会との連携

- ◆家庭や地域社会との連携
- ◆豊かな体験

◇幼児の様子や子育てに関する情報交換や保育参観などを通じ、幼児期の教育に関する理解が深まるよう**連携**を推進する。  
◇幼児の心を揺り動かすような**豊かな体験**が得られる機会を積極的に設ける。

#### 保育ニーズへの対応と認定こども園への移行

- ◆保育ニーズへの対応
- ◆認定こども園移行に向けた検討

◇保護者の要望や園の実情に応じて、預かり保育サービスや特別な支援を要する幼児の保育など、**保育ニーズへの対応**に努める。  
◇地域の実情を踏まえ、必要によって**認定こども園への移行**を図る。

#### 教職員の資質・能力の向上

- ◆研修への積極的参加

◇教師の専門的な資質と能力を高める合理的、効果的な研修の**充実**を図る。

### Ⅲ 学校教育関係事業

#### 1 重点課題・事業等について

##### (1) 児童生徒の学力向上

- ① わかる授業づくりに向けた取り組み
  - ・学力・能力向上取り組み（陰山メソッドによる）
  - ・日本学校教育学会支援事業（算数・数学）
  - ・拡大校内研の実施
  - ・授業改善パンフレット＜改訂版＞の活用
- ② 各校における学力・能力向上取り組みへの取り組み
  - ・小学校…「読み」「書き」「計算」 中学校…「計算力」「漢字力」「英語基本文暗唱」  
※ 小・中「計算（百ます）」は学校体制でモジュールで取り組む
  - ・諸調査に基づいた検証改善サイクルの構築（課題の洗い出しと焦点化した目標の設定、校内体制整備と授業改善）
    - ア 知能検査（小2、小5、中1） 4月7日～4月27日
    - イ CRT（小1～小6の国・算） 12月2日～12月13日
    - ウ 全国学力学習状況調査（小6、中3の国、算・数、英、質問紙） 5月27日  
※ 英語は、経年変化対象校のみ実施
    - エ 中学校新入生学習状況調査（中1の国数、質問紙） 4月21日～5月31日
    - オ 県学習定着度状況調査（小5の国社算理、中2の国社数理、質問紙） 10月6日
    - カ 英検I B A（中2の英） 標準検査日 10月6日
    - キ 岩手県中学1年生英語確認調査（CAN-DOテスト）（中1） 1月18日
- ③ 生活習慣及び学習習慣の形成に向けた取り組み  
授業と連動した家庭学習の充実、家庭学習時間の確保に努める。
- ④ 学習指導専門員、外国語指導専門員、ICT指導員の活用と学習支援員による添削指導、補充指導、個別指導の充実

##### (2) ことばの力を育てる教育の推進

- ① ことばと読書
  - ・学校図書館の充実と市立図書館（8館）との連携などにより、児童生徒の自主的、自発的な読書活動を充実させ、思考力・想像力などを豊かにする。
    - ア 全小中学校共通の学校図書館システムの導入と構築
    - イ 読書普及員の活用
    - ウ 読書活動の充実
  - ・絵本給食の実施
- ② ことばの響き
  - ・音読・素読などの取り組みを通して語彙を豊かにし、ことばの感性を磨く。
    - ア 音読・素読などのことばの響きやリズムを楽しむ取り組みの推進の充実
    - イ ことばの時間の実施
    - ウ ことばのテキスト「言海」（第3版）の活用

③ ことばの先人

- ・ことばを通して人々に影響を与えた先人について学ぶことを通して、地域への誇りと愛着心を育む。
  - ア ことばのテキストの活用
  - イ 小学校における「ことばの先人出前講座」の開催（希望校）

(3) キャリア教育の推進

- ① 中学生の社会体験学習 ※新型コロナにより中止
  - ・市内の中学2年生全員を対象とした、原則5日間の社会体験（事業所等での活動）
- ② 一関市キャリア教育シンポジウム ※新型コロナにより中止
  - ・事例発表、講演・パネルディスカッション等
- ③ 中学生最先端科学研修 ※新型コロナにより中止
  - ・市内中学校の第3学年在学生徒62名を茨城県つくば市の高エネルギー加速器研究機構等へ派遣
    - ※新型コロナにより中止
  - ・事前研（7月24日）、最先端研修（8月2日～4日）、事後研（8月27日） ※新型コロナにより中止

(4) 特別支援教育の充実

- ① 特別支援教育
  - ・一関市特別支援コーディネーターによる巡回・教育相談、専門家チームによる検査及びカンファレンス、学校サポーターの配置による各校の取り組み支援
  - ・特別支援に係る各種研修会の開催
- ② 就学支援
  - ・就学予定者及び児童生徒の特性に応じた適切な教育が受けられる就学支援
    - ア 校内就学支援委員会での状況確認、保護者との就学相談
    - イ 市就学支援委員会、市就学支援調査員会議による協議、就学意見のまとめ

(5) いじめと不登校への対応

- ① いじめの減少に向けた取り組み ―未然防止・早期発見・早期対応―
  - ・未然防止
    - ア 教科指導、道徳、特別活動等の充実や児童生徒の主体的な活動「絆づくり」「居場所づくり」の推進による、いじめに向かわせない態度・能力の育成
    - イ いじめの背景にあるストレス要因の把握・改善など、いじめ加害に影響する要因の改善・早期発見
    - ウ 児童生徒の観察や定期的なアンケート調査、教育相談の実施により、児童生徒の状況把握
    - エ 家庭・地域、相談機関との連携
  - ・早期対応
    - ア いじめの積極的認知を推進やいじめ解決の要件に基づく確認の徹底等、「学校いじめ防止基本方針」に基づいた組織的な対応
    - イ 家庭や地域、関係機関等と連携
- ② 不登校の減少に向けた取り組み ―未然防止・早期対応―
  - ・未然防止
    - ア 自己存在感や充実感、自己有用感を感じ取れる場や機会づくり（「絆づくり」と「居場所づくり」）

イ 過年度の欠席状況の把握や、行事や長期休業後の児童生徒の観察等、不登校の特徴を捉えた指導の充実

ウ 小中連携を図った各学校の状況に合わせた工夫

・早期対応

ア 連続して欠席した際の速やかな対応と保護者との関係づくり

イ 適応支援教室（たんぼぼ広場）の活用等、不登校・学校不適応児童生徒への支援

ウ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、教育相談員、適応支援相談員の配置と関係機関（福祉、医療機関、警察、児童相談所等）との連携

## (6) 復興教育・防災教育の推進

① 学校防災アドバイザー派遣事業 4月26日～2月10日

・防災に関する専門家による、「学校危機管理マニュアル」や避難訓練など学校の防災体制に対する助言をはじめ、学校と家庭・地域の連携体制の構築への助言、安全教育のあり方への指導・助言

② 防災教育の推進

・防災教育に係る学校訪問（「学校の『危機管理マニュアル』等の評価、見直しガイドライン」の活用と危機管理マニュアルの見直し）

③ 一関市通学路安全推進連絡協議会「通学路交通安全プログラム」の実施

・要対策箇所における進捗状況の確認及び追加案件の確認  
・工事・安全指導等による対策の実施

## (7) グローバル化への対応

① 国際理解教育・英語教育の充実に向けたALTの活用

・外国語指導助手学校訪問事業（直接雇用3名、派遣契約8名での学校訪問配置）  
・スーパーバイザーALTの配置（ALT NEWSの発行、外国語教育に係る研修の計画と実施）

② 授業力向上に向けて

・小学校外国語活動中核教員による校内研修の推進  
・ALT研修会の実施（7月15日）

## (8) 食育の推進

① 食に関する事業

ア 食育担当者研修会（希望制）

イ 和食給食

ウ レシピコンテスト

② 学校における食に関する指導

・全小中学校における栄養教諭・学校栄養職員と連携した食に関する指導の充実  
・給食時間の活用  
・家庭・地域・関係機関との連携による望ましい食習慣形成の推進

## (9) ICTの活用

① ICT環境の整備（児童生徒一人1台タブレット端末の配備）

② 授業に生かすICT研修とICT教育部会による実践研究

③ 4ブロックでのICT推進共同実施による学校間連携

④ ICT指導員、GIGAスクールサポーターの配置



## 2 市教育委員会指定研究校等について

### (1) 令和3年度学校公開園、公開校 ※新型コロナにより内容を縮小して実施

- |         |                      |     |           |
|---------|----------------------|-----|-----------|
| ① 萩荘幼稚園 | ○令和3年度               | 公開日 | 10月14日(木) |
| ② 一関小学校 | ○令和2・3年度(学力向上)       | 公開日 | 11月10日(水) |
| ③ 大東小学校 | ○令和2・3年度(外国語(外国語活動)) | 公開日 | 11月18日(木) |
| ④ 藤沢中学校 | ○令和2・3年度(教育課程一般)     | 公開日 | 10月27日(水) |

### (2) 令和3・4年度指定校

山目小学校(ICT) 新沼小学校(ことば・読書) 一関東中学校(ICT)

## 3 総合訪問

### (1) 訪問の趣旨

一関市学校教育基本方針、学校教育活動の現状や課題を相互に理解し、教育課程の実施及び管理上の問題や課題解決について意見交換を図り、その解決に努めるとともに、市の教育の向上に資する。

### (2) 訪問の視点

- ① 教育課程の編成と実施状況に関すること
- ② 校内研究・校内研修、生徒指導の充実に関すること
- ③ 庶務関係の処理状況に関すること

### (3) 訪問園・校及び期日

- |          |          |
|----------|----------|
| ① 摺沢幼稚園  | 5月25日(火) |
| ② 涌津小学校  | 9月3日(金)  |
| ③ 室根東小学校 | 9月16日(木) |
| ④ 大東中学校  | 9月29日(水) |

## 4 一関市幼・小・中・高・特・高専・大学校運営推進協議会

一関市内に設置されている公立市立幼稚園から大学までの学校園長が一堂に会し、それぞれの諸問題について情報交換を行うとともに、共通の課題を明らかにし、その解決方策と将来展望を研究協議することにより、幼・小・中・高・特・高専・大学の一貫した望ましい学校教育の推進体制を明らかにする。

- (1) 第1回運営推進協議会(川崎市民センター) 7月6日(火)
- (2) 第2回運営推進協議会(講演会) 12月2日(木)
- (3) 運営委員会 第1回 5月19日(水) 第2回 10月12日(火)

## 5 文部科学省・岩手県教育委員会、県研究団体等

岩手県生活科・総合的な学習の時間研究大会 会場校 東山小学校 10月29日(金)

## IV 市内各学校（園）の概況

### 1 児童生徒数・学級数・教職員数

〈小 学 校〉

学校名	へき地級地数	学級数	児童・生徒数								特学(再掲)		教職員計	県費教職員							市職員 用務員
			計	1	2	3	4	5	6	学級数	児童生徒数	校長		副校長	教諭等	養護教諭等	栄学校栄養教諭等	事務職員等	常勤講師等		
一関小学校		24	628	120	95	99	107	105	102	5	21	41	1	1	30	2	0	2	3	2	
山目小学校		20	476	70	72	76	95	72	91	6	33	38	1	1	30	1	0	1	2	2	
赤荻小学校		14	300	50	42	46	52	55	55	2	10	22	1	1	14	1	0	1	3	1	
中里小学校		9	193	35	32	40	20	36	30	2	9	15	1	1	9	1	0	1	1	1	
滝沢小学校		8	148	22	20	29	19	26	32	2	5	15	1	1	9	1	0	1	1	1	
南小学校		16	376	51	57	67	58	76	67	3	22	27	1	1	19	1	0	1	2	2	
弥栄小学校		4	44	8	8	7	2	11	8	0	0	10	1	1	4	1	0	1	1	1	
萩荘小学校		15	353	55	61	53	59	64	61	3	14	26	1	1	15	1	2	1	4	1	
巖美小学校		8	111	15	23	16	17	15	25	2	8	15	1	1	8	1	0	1	2	1	
舞川小学校		8	90	12	14	12	20	22	10	2	5	14	1	1	8	1	0	1	1	1	
永井小学校		8	95	11	15	12	12	20	25	2	5	14	1	1	8	1	0	1	1	1	
涌津小学校		8	113	14	18	16	20	25	20	2	5	15	1	1	9	1	0	1	1	1	
油島小学校		5	38	4	4	9	5	8	8	2	2	12	1	1	5	1	0	1	2	1	
花泉小学校		10	127	20	20	15	23	27	22	4	7	16	1	1	9	1	0	1	2	1	
老松小学校		8	94	17	13	13	20	14	17	2	7	14	1	1	8	1	0	1	1	1	
金沢小学校		8	82	10	13	14	12	16	17	2	3	13	1	1	7	1	0	1	1	1	
大原小学校		9	97	19	12	14	23	12	17	3	6	16	1	1	9	1	0	1	2	1	
大東小学校		11	222	33	37	33	37	42	40	3	14	19	1	1	11	1	0	1	3	1	
興田小学校	準	6	62	8	13	3	9	14	15	1	4	11	1	1	6	1	0	1	0	1	
猿沢小学校		7	54	7	11	8	10	10	8	1	1	12	1	1	6	1	0	1	1	1	
千厩小学校		18	410	65	60	65	72	79	69	3	18	29	1	1	20	1	0	1	4	1	
東山小学校		13	224	21	36	41	40	39	47	2	6	23	1	1	14	1	0	1	4	1	
室根東小学校		7	64	9	14	14	9	6	12	2	3	14	1	1	7	1	0	1	2	1	
室根西小学校		7	88	15	11	14	13	14	21	1	1	16	1	1	8	1	0	2	2	1	
川崎小学校		8	120	17	23	20	23	19	18	2	7	14	1	1	8	1	0	1	1	1	
藤沢小学校		9	162	15	26	30	29	27	35	3	9	16	1	1	9	1	0	1	2	1	
黄海小学校		8	86	9	16	12	17	16	16	2	4	13	1	1	7	1	0	1	1	1	
新沼小学校		6	34	5	7	12	5	4	1	2	2	11	1	1	5	1	0	1	1	1	
小学校計		282	4,891	737	773	790	828	874	889	66	231	506	28	28	302	34	2	30	51	31	



〈中 学 校〉

学校名	へき地級地数	学級数	児童・生徒数						特学(再掲)		教職員計	県費教職員						市職員 用務員		
			計	1	2	3	4	5	6	学級数		児童生徒数	校長	副校長	教諭等	養護教諭等	学校栄養職員等		事務職員等	常勤講師等
一関中学校		9	213	67	71	75				2	7	20	1	1	14	1	0	2	0	1
磐井中学校		17	494	170	143	181				2	13	37	1	1	27	2	0	1	3	2
一関東中学校		5	90	31	37	22				2	3	15	1	1	8	1	1	1	1	1
桜町中学校		11	286	79	104	103				2	9	25	1	1	17	1	0	1	3	1
萩荘中学校		8	188	68	61	59				2	7	18	1	1	12	1	1	1	0	1
巖美中学校		4	70	28	21	21				1	1	12	1	1	7	1	0	1	0	1
舞川中学校		4	42	17	12	13				1	1	13	1	1	5	1	0	1	3	1
花泉中学校		11	305	95	105	105				2	14	26	1	1	19	1	1	1	1	1
大原中学校		4	56	18	21	17				1	1	13	1	1	7	1	0	1	1	1
大東中学校		8	180	67	59	54				2	5	19	1	1	13	1	1	1	0	1
興田中学校	準	5	54	18	18	18				2	3	14	1	1	7	1	0	1	2	1
千厩中学校		12	263	72	93	98				3	8	24	1	1	15	1	1	1	3	1
東山中学校		7	128	49	45	34				2	9	15	1	1	10	1	0	1	0	1
室根中学校		5	97	33	30	34				2	4	13	1	1	8	1	0	1	0	1
川崎中学校		5	57	24	13	20				2	2	14	1	1	8	1	0	1	1	1
藤沢中学校		9	154	52	52	50				3	7	18	1	1	12	1	0	1	1	1
中学校計		124	2,677	888	885	904				31	94	296	16	16	189	17	5	17	19	17
一関第一高等学校 附属中学校		6	220	70	70	80				0	0	21	1	1	16	1	0	1	1	0

※ 養護教諭等には養護助教諭を含む。  
 ※ 事務職員には加配を含む。

〈高等学校〉

学校名	本務教員数		本務職員数		科	学級数	生徒数	1年	2年	3年	4年	男	女
(県立) 一関第一高等学校	校長、副校長、教諭	47	事務	4	普通科	9	366		174	192		146	220
	養護教諭	2	実習教諭	2	理数科	2	64		29	35		44	20
	講師	3	その他	0	普通・理数科	5	204	204				95	109
	計	52	計	6	計	16	634	204	203	227		285	349
(県立) 一関第二高等学校	校長、副校長、教諭	41	事務	4	総合学科	15	593	203	194	196		214	379
	養護教諭	1	実習教諭	5									
	講師	5	その他	1									
計	47	計	10	合計	15	593	203	194	196		214	379	
(県立) 一関工業高等学校	校長、副校長、教諭	30	事務	3	電気科	1	23			23		22	1
	養護教諭	1	実習教諭	8	電子科	1	31			31		23	8
	講師	5	その他	4	電子機械科	3	116	38	39	39		110	6
					土木科	3	102	40	33	29		98	4
					電気電子科	2	75	36	39			69	6
	計	36	計	15	合計	10	347	114	111	122		322	25
(県立) 花泉高等学校	校長、副校長、教諭	12	事務	3	普通科	6	106	38	37	31		53	53
	養護教諭	1	実習教諭	0									
	講師	1	その他	0									
計	14	計	3	合計	6	106	38	37	31		53	53	
(県立) 大東高等学校	校長、副校長、教諭	29	事務	2	普通科	6	155	43	58	54		70	85
	養護教諭	1	実習教諭	1	情報ビジネス科	3	68	21	29	18		38	30
	講師	1	その他	0									
計	31	計	3	合計	9	223	64	87	72		108	115	
(県立) 千厩高等学校	校長、副校長、教諭	43	事務	4	普通科	9	303	105	103	95		148	155
	養護教諭	1	実習教諭	4	生産技術科	3	94	31	27	36		25	69
	講師	2	その他	1	産業技術科	3	76	24	32	20		76	0
	計	46	計	9	合計	15	473	160	162	151		249	224
(私立) 一関学院高等学校	校長、副校長、教諭	25	事務	3	普通科	13	372	119	114	139		220	152
	養護助教諭	1	実習教諭	2	計	13	372	119	114	139		220	152
	講師	3	その他	1	(通信制普通科)	4	113	30	49	25	9	48	65
	計	29	計	6									
(私立) 一関修紅高等学校	校長、副校長、教諭	26	事務	5	普通科	15	407	144	130	133		158	249
	養護教諭	1	実習教諭	0									
	講師	5	その他	0									
計	32	計	5	合計	15	407	144	130	133		158	249	

〈高等専門学校〉

学校名	本務教職員数		科	学級数	生徒数	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科		男	女
											1	2		
(独立行政法人 国立高等専門 学校機構) 一関工業 高等専門学校	校長、教授	28	未来創造工学科	20	788	162	164	161	158	143			614	174
	准教授	21	生産工学専攻科	2	45						22	23	43	2
	講師	6	物質化学工学専攻科	2	12						7	5	9	3
	助教	11												
	事務	26												
	技術技能	14												
	医療	1												
計	107	計	24	845	162	164	161	158	143	29	28	666	179	

〈大学〉

学校名	本務教職員数			学 科	学級数	生徒数	1年	2年	男	女	
(私立) 修紅短期大学	学 長	1	講 師	3	幼児教育学科	4	75	42	33	7	68
	副学長	0	助 教	4	食物栄養学科	2	47	27	20	3	44
	教 授	7	助 手	0							
	准教授	1	事 務	10							
	計		計	26	計	6	122	69	53	10	112

〈特別支援学校〉

学校名	本務教員数	本務職員数	学 部	学級数	生徒数	幼	1年	2年	3年	4年	5年	6年	男	女		
(県立) 一関清明 支援学校	校 長	1	事務長・事務 用務員・運転手 介助員業務職員	本 校 舎	幼稚部	2	3	/	/	/	/	/	1	2		
	副校長	3			小学部	4	9	/	1	1	2	2	2	1	4	5
	指導教諭	1			中学部	10	27	/	10	9	8	/	/	/	20	7
	教 諭	90			高等部	13	55	/	19	18	18	/	/	/	35	20
	養護教諭	3		山目校舎	小学部	11	30	/	6	7	5	4	4	4	26	4
	実習教員	2			中学部	3	7	/	1	3	3	/	/	/	5	2
	講 師	25		あすなろ 分 教 室	小学部	2	4	/	0	0	1	2	0	1	2	2
					中学部	1	3	/	0	1	2	/	/	/	1	2
					高等部	3	8	/	4	1	3	/	/	/	2	6
				千厩分教室	小学部	5	13	/	1	5	3	3	0	1	8	5
					中学部	4	8	/	2	3	3	/	/	/	6	2
	計	125		計	計	58	167	3	44	48	48	11	6	7	110	57

〈幼稚園・認定こども園〉

幼稚園名	教職員数		収容園児定数	学級数	園児数					男女別		
	園長	本務教員等				3歳未満児	3歳児	4歳児	5歳児	男	女	
(市立)												
舞川幼稚園	1	4	100	3	19		8	5	6	14	5	
真滝幼稚園	1	4	100	3	19		6	5	8	11	8	
巖美幼稚園	1	4	100	3	9		2	4	3	5	4	
赤荻幼稚園	1	5	100	3	21		2	7	12	6	15	
萩荘幼稚園	1	3	100	3	13		3	3	7	9	4	
狐禅寺幼稚園	1	3	70	2	23		4	10	9	13	10	
弥栄幼稚園	1	3	70	2	11		1	4	6	6	5	
摺沢幼稚園	1	4	105	3	20		3	5	12	10	10	
東山こども園	1	15	130	6	103	29	20	26	28	58	45	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			15	3	14	5	3	6	5	9		
室根こども園	1	13	110	6	78	27	11	22	18	43	35	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			30	3	5	0	4	1	4	1		
藤沢こども園	1	14	90	6	91	29	10	23	29	43	48	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			30	3	7	1	4	2	4	3		
黄海こども園	1	13	95	5	44	14	6	12	12	25	19	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			50	2	5	0	3	2	5	0		
(私立)												
愛心幼稚園	1	8	90	4	85	1	28	19	37	40	45	
カトリック清心幼稚園	1	4	140	3	39	0	15	12	12	20	19	
認定龍澤寺こども園	1	37	168	9	144	32	30	36	46	80	64	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			72	6	49	16	18	15	26	23		
修紅短期大学附属認定こども園	1	36	240	9	201	39	49	54	59	108	93	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			90	6	49	11	17	21	30	19		
認定こども園 一関幼稚園	1	35	200	9	194	40	51	49	54	102	92	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			120	6	80	24	28	28	38	42		
認定こども園一関南保育園	1	20	70	6	67	21	15	17	14	41	26	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			10	3	6	3	3	0	2	4		
認定こども園赤荻保育園	1	23	90	6	87	35	17	17	18	42	45	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			6	3	4	2	1	1	2	2		
認定こども園一関藤保育園	1	23	105	6	103	30	25	24	24	59	44	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			15	3	8	7	1	0	2	6		
認定こども園幸町保育園	1	37	81	6	84	34	17	17	16	40	44	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			6	3	6	2	2	2	1	5		
幼保連携認定こども園花泉こども園	1	25	90	6	56	0	17	18	21	21	35	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			15	3	14	5	7	2	6	8		
認定こども園 花泉保育園	1	38	102	6	95	33	16	25	21	54	41	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			12	3	11	3	4	4	5	6		
公私連携幼保連携型認定こども園 わくっこども園	1	26	95	6	80	27	15	21	17	52	28	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			15	3	7	5	0	2	6	1		
認定こども園千厩小羊幼稚園・千厩こひつじ園	1	17	74	7	74	24	18	12	20	39	35	
上段：施設全体 下段：1号認定(旧幼稚園)			26	4	26	15	5	6	8	18		
合計	25	414	1,527	83	550	1	171	174	204	278	272	

※合計数には、認定こども園の1号認定が含まれています。

## 2 学校紹介

### (1) 小学校

<h1>一関小学校</h1>	〒021-0836 一関市字鳴神33-1 T E L : 23-5016 F A X : 23-5615 E-mail : kansho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：渡邊 淳 副校長：尾崎 尚子 教員数：41名 児童数：628名 学級数：24
	<p><b>教育目標</b>                  「豊かな心をもち、たくましく生きる、心身ともに健康な子ども」                  (1) よく学び 工夫する子ども                  (2) 健康で 明るい子ども                  (3) きまりを守り 助け合う子ども                  (4) 責任をもち やりぬく子ども</p> <p><b>研究主題</b>                  「確かな学力をはぐくむ学習指導のあり方」                  ～考えを表現する活動を通して～</p>	
<p><b>沿革</b>                  明治6年7月1日、田村藩校であった教成館の建物及び地所を使用して開校し、一関村立一関小学校となり、普通教育を始めた。以来、一関尋常小学校、一関尋常高等小学校、一関国民小学校、一関小学校と校名を改めてきたが、校舎腐朽のため改築の必要にせまられて、昭和40年4月1日一関市立狐禅寺小学校と統合し、昭和43年4月1日、敷地を改め現在の校舎に移転した。昭和48年10月21日には、創立記念事業として100周年記念式典が挙行され、記念事業として記念庭園造成や100年誌編纂等の事業を実施した。その後、築後20年以上経過した校舎の老朽化に伴い、平成2年度から4か年にわたり大規模改修が行われ、平成6年3月に竣工した。平成19年度には耐震補強工事が行われた。                  平成25年7月5日には、創立140周年記念行事として「いわてフィルハーモニーオーケストラ」と演奏会を開催した。平成27年度、給食がセンター化され、学校プールが完成した。平成30年4月に駐車場、5月に新しい遊具が完成した。平成31年1月コンピュータ室の移設、新しいコンピュータ40台を設置した。令和元年9月普通教室21室、コンピュータ室、校長室、職員室に空調設備が設置され稼働した。</p>	<p><b>特色ある教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学力向上                      学びフェストとその評価を生かした指導、Q Uを活用した望ましい学級集団の育成、「ことばの時間」「陰山メソッド」を活用した基礎力の向上</li> <li>2. 体育・文化的活動の充実                      コロナ感染症に対応した各学年ごとの体育大会の実施、マーチングバンドクラブの希望制による課外活動</li> <li>3. 外国語教育・国際理解教育の充実                      英語専科教員とA L T講師とのT Tによる授業の実践</li> <li>4. 健全育成を図るP T A活動                      「愛の一声運動（ワッペン全校児童配布）」の実践</li> <li>5. 地域連携                      学習ボランティア、学校支援地域本部事業の活用、地域行事へのマーチングバンドの参加</li> </ol>	

<h1>山目小学校</h1>	〒021-0024 一関市幸町2-47 T E L : 23-2257 F A X : 23-7627 E-mail : yamasho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：小山 祐二 副校長：馬場 宣彦 教職員数：38名 児童数：476名 学級数：20
	<p><b>教育目標</b>                  ◎たくましく現代を生き、未来を創造する人間の育成                  ○よく学び、よく考える子ども（かしこく）                  ・進んで学習に取り組む子                  ・正しく判断できる子                  ・目標に向かって努力する子                  ○ゆたかな心で、助け合う子ども（なかよく）                  ・明るく元気にあいさつする子                  ・責任をもって行動する子                  ・進んでかかわろうとする子                  ○健康で、ねばり強い子ども（たくましく）                  ・心と体をきたえる子                  ・健康や安全を考える子                  ・生活習慣が身に付いている子</p>	
<p><b>沿革</b>                  明治7年、蘭梅山麓に開校、公立山目小学校と称す。明治28年、山目尋常高等小学校と改称。昭和22年、学制改革により一関市立山目小学校と改称する。昭和32年、養護学級を設置。昭和48年、ことばの教室を設置。昭和50年創立100周年式典挙行。同年、一関市立笹谷小学校と統合。昭和52年から平成5年までNHK全国音楽コンクールに連続出場。昭和63年、幼児ことばの教室開設。昭和62年から平成9年まで県南マーチングフェスティバルに連続出場。平成16年創立130周年記念式典挙行。平成20年度L D等通級指導教室開設。平成20年度体育館新築。平成26年北校舎解体。同年12月新校舎完成。平成28年7月、新プール完成。同年12月新校舎落成式挙行。</p>	<p><b>特色ある教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童の学習状況を把握し、I C T機器活用、T T・家庭学習強化週間の取り組みなどを通して、基礎・基本の確実な定着を目指し、指導方法や指導体制の改善に努めている。</li> <li>2. 開放的な空間を利用しながら、学年集会や異年齢集団による縦割り活動、A L Tとの協力指導による国際理解教育などの活動を通して、他者とのかかわり方や望ましい人間関係の育成を経営の重点としてとらえている。</li> <li>3. 夏季休業前には「自由研究構想ノート」を配付し、自由研究を推奨している。</li> <li>4. 市内のイベント等に参加しているスクールバンド、毎年県大会出場を果たしている陸上競技など、課外活動においても文化・運動の両面で活躍している。</li> </ol>	



<h1>赤荻小学校</h1>	〒021-0041 一関市赤荻字桜町181-1 TEL : 25-2130 FAX : 25-4296 E-mail : akosho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：小野寺 浩之 副校長：藤澤 千代子 教職員数：22名 児童数：300名 学級数：14
		
<b>沿革</b> 明治 5年 1月 公立赤荻村小学校を赤荻荻野に置く 6年 7月 公立赤荻小学校創立 20年 赤荻簡易小学校と改称 22年 2月 赤荻尋常小学校と改称（4年制） 36年 4月 赤荻尋常高等小学校と改称 41年 4月 赤荻尋常小学校（6年制）と改称 大正 3年 校歌を制定 昭和16年 4月 赤荻国民学校と改称 21年 4月 山目村立赤荻小学校と改称 28年 4月 校章、校旗制定 42年11月 完全給食開始 47年10月 創立100周年記念式典 61年 7月 新校舎竣工 平成 6年 2月 創立120周年記念式典並びに祝賀会 13年 9月 県教委、市教委研究指定学校公開「総合的な学習の時間」 19年 4月 特別支援学級「そらいろ学級」設置 20年 4月 特別支援学級「にじいろ学級」設置 27年 9月 「赤小図書ボランティア」創設 28年 9月 市教委研究指定学校公開「国語科」「特別支援教育」 30年12月 県学校安全優良校受賞 令和元年 8月 普通教室エアコン設置 2年 2月 県書写道作品コンクール学校賞受賞 12月 防災物置設置	<b>教育目標</b> 校訓 「明るく、かしこく、たくましく」を基調に、調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図る。 ・明るく おもいやりのある子ども ・自ら学ぶ かしこい子ども ・根気強く たくましい子ども <b>研究主題</b> 自ら考え、表現し、学び合う児童の育成 ー算数科における、対話を通して学びを深める授業づくりを通してー <b>研究内容</b> 1. 主体的な学び、思考・判断・表現を促す授業づくり 2. 個の表現力（記述力）を高める日常実践 <b>特色ある教育活動</b> 1. 人との関係を築く基になる「あいさつ」の推進 児童会活動を主として、あいさつ運動に取り組んでいます。家庭や地域と協力して、いつでも、自分から進んで、さわやかにあいさつができる子どもを目指しています。 2. 伝承芸能「鶏舞委員会」と、伝統の「金管委員会」活動の継続 4年生後半から、「鶏舞」と「金管」のどちらかに所属して活動しています。地域の皆さんから愛され、指導者にも恵まれて取り組んでいる伝承芸能「鶏舞」は、運動会での披露の他に、市内の施設からの出演依頼もあります。また、「金管」も、地域の熱心な指導者の方々のご指導のもと、吹奏楽祭を中心に演奏活動を行っています。 3. 地域連携を生かした教育の推進 スクールガード、赤荻地区防犯交通安全協議会、PTA安全委員会、区長会と連携して安全教育、あいさつ運動を推進しています。また、区長会の協力を得て校報学区内回覧を実施しています。	

<h1>中里小学校</h1>	〒021-0014 一関市蘭梅町7-1 TEL : 23-2231 FAX : 23-7919 E-mail : nakasho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：村上 泰夫 副校長：佐々木 由香里 教職員数：15名 児童数：193名 学級数：9
		
<b>沿革</b> 明治 6. 7. 1 公立中里小学校と称し民家をもって校舎とする 20. 4. 1 中里尋常小学校と改称する 昭和 7. 5. 14 中里村中里字太平山5-1に本校改築移転する 22. 4. 1 一関市立中里小学校と改称する 48. 9. 20 創立100周年記念式、祝典 平成10. 1. 28 全日本交通安全協会全国表彰 12. 3. 30 プール改修工事完了 14. 9. 10 大規模改修工事(水洗化)完了 17. 8. 10 学校評議員設置 18. 1. 11 岩手県学校歯科保健優良校表彰 21. 3. 2 校舎耐震補強及び防火設備等改修完了 23. 3. 11 東日本大震災により体育館被災 25. 2. 20 新体育館建設工事完了 25. 11. 18 岩手県交通安全功労者表彰 30. 1. 31 校旗新調 令和 1. 1. 31 全教室エアコン設置	<b>教育目標</b> ◎「人間性豊かで、自ら学び、心身ともにたくましい子どもの育成」 ○心豊かで、助けあう子ども(徳) ○よく考え、学びあう子ども(知) ○粘り強く、鍛えあう子ども(体) <b>研究主題</b> 「学び高め合う子どもの育成」(算数科) ～言語活動と「振り返り」を重視した授業実践を通して～ <b>今年度のまなびフェスト</b> <b>豊かな人間性を育む</b> ① 人間関係を築く力の育成に努めます。 ② よりよく生きる力の育成に努めます。 ③ 地域を大切に作る心の育成に努めます。 <b>確かな学力を育む</b> ① 進んで学ぶ意欲の高揚に努めます。 ② 基礎的・基本的学習事項の定着を図ります。 ③ ことばの力の育成に努めます。 <b>たくましい心と体を育む</b> ① 自ら健康づくりに励む態度の育成に努めます。 ② 進んで体力づくりに取り組む態度の育成に努めます。 ③ 望ましい学習環境づくりに励む態度の育成に努めます。	

# 滝沢小学校

〒029-0132  
一関市滝沢字寺下46  
TEL : 23-4090 FAX : 23-5229  
E-mail : takisho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：八重樫 深雪  
副校長：吉田 誠毅  
教職員数：15名  
児童数：148名 学級数：8



## 沿革

- 明治 6. 7 寺院長寿寺に滝沢小学校として創設
- 16. 6 公立滝沢小学校と称す
- 29. 6 校舎を信託（寺下2、横5間、縦15間）
- 昭和27.10 真滝中学校独立新校舎に移転
- 平成 4. 8 現在地に校舎新築供用開始
- 4.12 運動場供用開始
- 5. 2 校舎・体育館落成式典挙行
- 10. 6 特別養護ホーム（明生園）との「里孫体験学習」開始
- 13. 4 「豊かな心を育む教育」推進事業で牧沢神楽の伝承活動開始
- 22. 7 「小さな親切実行章」受賞
- 25.10 道徳教育学校公開研究会開催
- 30. 4 学校敷地内に滝沢児童クラブ開設
- 令和元.10 空調設備工事竣工
- 2. 4 学校支援地域本部開始

## 教育目標

1. 基本目標 心豊かで学び続ける子どもの育成
2. 具体目標 確かな学力（知力）……わかるまで考える子  
豊かな人間性（心情）……思いやりのある子  
健やかな心身（体力）……元気で活動する子

## 研究主題

「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成」  
～算数科における「学び合い」と「振り返り」の工夫を通して～

## 特色ある教育活動

1. 日課表の工夫で活気のある学校生活
  - ・朝学習 百ます計算
  - ・集会活動 火曜日（全校朝会 児童会）
  - ・水曜昼読書タイム25分 5校時前ことばの時間・漢字タイム
  - ・滝小ハートフルウィーク（毎月第3週）
2. 地域との連携を図る教育活動
  - ・学区探検（1・2年生）
  - ・里孫交流学習（特別養護老人ホームとの交流 4年生）
  - ・ふるさと学習（地域の祖父母との交流 全校児童）
  - ・月1回登校時クリーン作戦（全校児童）
  - ・鷄舞伝承活動（4年生以上）
  - ・稲作体験（5年生）
  - ・滝小昔の道具資料館の活用（2・5年生）
  - ・滝小学習や体験学習のボランティアによる支援活動

# 南小学校

〒021-0863  
一関市南町3-3  
TEL : 23-3218 FAX : 23-7942  
E-mail : nansho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：佐藤 伸哉  
副校長：菅崎 晋  
教職員数：27名  
児童数：376名 学級数：16



## 沿革

本校の前身は明治6年創立の真柴小学校である。校舎の老朽化と戦後の一関小学校児童の急増を考慮し、昭和32年10月、真柴小学校学区と萩荘小学校学区、一関小学校学区の一部を併合する形で、現在地に一関市立南小学校として開校した。その後、昭和34年に6つの学区、43年には4つの学区と二度にわたり一関小学校学区の一部を加え、南小学校学区として現在に至る。現校舎等の建設は平成9年～12年にかけて行われ、9年度新プール落成、11年度屋内運動場と校舎落成。13年度には県の事業で進められた吸川親水ゾーン「すいすい公園」が完成。14年度には第45回国語教育研究協議会一関大会の主会場となる。また、22年度には一関市教育委員会指定による学校公開を行っている。さらに24年度には岩手県教育センターにて「キャリア教育」の実践発表を行っている。26、27年度には一関市教育委員会指定による「ことばの力を育む教育」に取り組み、28年度には「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣賞を受賞した。平成29年10月1日に創立60周年を迎えた。

## 『吹け！南の風 豊かな未来へ』のスローガン達成に向けて

## 教育目標

- たくましく生き、郷土と国際社会の未来を創造できる、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かな児童の育成をめざす。
1. 明るく思いやりのある子ども（あかるく）
  2. 進んで学びよく考える子ども（かしこく）
  3. 強い体で実行力のある子ども（たくましく）

## 研究主題

算数科における表現力を育む指導の工夫  
～すべての児童に説明する活動を位置づけた指導の工夫を通して～

## 特色ある教育活動

1. 基礎的学力の確実な定着を目指した取組
  - ・系統性の強い「算数」を重点に、下学年の内容に遡って実効性のある指導をすすめる。
  - ・毎月末に「南小テスト」を実施し、テストへ向けての取組の中で習熟を図る。
  - ・言海や教科書の音読、読み聞かせ活動を通した「読む力」の育成。
2. 児童の言語環境の充実と図書館活用の取組
  - ・友だちを「さん」づけで呼び、お互いを認めあう温かい人間関係の構築をすすめる。
  - ・図書ボランティアや読書普及員と連携した学校図書館の環境整備、読書意欲を喚起する工夫した取組により、児童の心の健やかな成長を促す。
3. 音楽と体育における児童の興味や能力に沿った創造的活動の取組
  - ・担当教諭を中心に月毎の歌の指導や朝運動等を行い、日常的に児童の音楽性や運動能力を養う。
  - ・吹奏楽委員会、課外陸上への取組等、児童の力をより高めるための活動を推進する。
4. 学校・家庭・地域が一体となった教育活動の推進
  - ・三あ運動+1+1の実践。（挨拶・安全・後始末・歩いて登校・ノーメディア）
  - ・地域ボランティアとの連携を図る学校支援地域本部事業を推進する。

<h1>弥栄小学校</h1>	〒029-0211 一関市弥栄字大奈良33-4	校長：藤田 浩 人 副校長：渡邊 肇
	T E L : 43-3129 F A X : 43-2928 E-mail : yasasho@city.ichinoseki.iwate.jp	教職員数：10名 児童数：44名 学級数：4



**沿革**

- 平成 2. 4 旧弥栄小学校、平沢小学校が学校統合  
一関市立弥栄小学校として創立
- 2. 9 プール新設
- 3. 3 「いやさか太鼓」披露発表会
- 5.10 文部省指定体力づくり公開研究会
- 6.10 全国保健体育優良校文部省表彰
- 11. 1 「よい歯の学校」県表彰
- 11.10 学校給食優良校文部大臣表彰
- 12. 2 開校10周年記念事業実施
- 15. 5 日本善行賞(社会福祉部門)受賞
- 18. 6 P T A、一関防犯協会より感謝状
- 21. 1 一関こども文化祭「いやさか太鼓」市長賞受賞
- 22. 3 体力・運動能力一関教育事務所表彰
- 23. 8 「小さな親切運動」受賞
- 24. 8 校庭表土入れ替え
- 26.12 プール改修
- 28.11 「蚕を学ぶ奨励賞」受賞
- 30. 6 「小さな親切運動」受賞
- 令和 2.11 創立30周年事業記念式典開催

**教育目標**

- 進んで学び 心豊かで たくましい子どもの育成
- 学ぶ子ども (知)
  - 助け合う子ども (徳)
  - きたえる子ども (体)

**研究主題**

「自分の考えを広げ、深める子どもの育成」  
～算数科における「学び合い」の工夫を通して～

**特色ある教育活動**

- 1 学級経営の充実
  - (1) 好ましい人間関係の構築
  - (2) 規範意識の醸成と児童一人ひとりの活躍の場の設定
- 2 確かな学力の育成
  - (1) 複式指導における自学自習の態度の育成
  - (2) 分かる・できるまで1単位時間で扱う授業の実践(テンポ・UD)
  - (3) 授業と連動した家庭学習(丁寧な見とりと指導)
- 3 豊かな人間性の育成
  - (1) 異年齢集団における活動の充実
  - (2) 道徳の授業と教育相談の確実な実施
  - (3) 地域の教育資源を活用した活動の充実
- 4 たくましい心身の育成
  - (1) 運動習慣の形成と体力向上の取り組み
  - (2) 健康教育(保健指導・食育指導)の充実
  - (3) 安全指導と安全管理(コロナ感染予防対策)の徹底
- 5 家庭や地域との連携
  - (1) 基本的な生活習慣の育成(挨拶、早寝・早起き・朝ご飯、メディア)
  - (2) 家庭や地域への積極的な情報発信と情報共有、早期対応
  - (3) P T A活動の充実

<h1>萩荘小学校</h1>	〒021-0902 一関市萩荘字境ノ神253	校長：中村 匡 副校長：渡辺 信子
	T E L : 24-2350 F A X : 24-3299 E-mail : hagisho@city.ichinoseki.iwate.jp	教職員数：26名 児童数：353名 学級数：15



**沿革**

- 平成17年4月、旧萩荘小学校と市野々小学校を統合し、一関市立萩荘小学校として創立。
- 【校章】地区民から公募した代表作品をもとに、「萩荘を象徴している萩の葉と花で小学校を包み、萩荘地区の方々に見守られている学校であるように」という願いを込めてデザインをとりまとめ、制定。
- 【校歌】「空飛ぶ教室」あんべ光俊作詞・作曲、太田代政男編曲
- 平成17.12 スクールガード「はぎっ子サポートチーム」立ち上げ
- 18. 2 プール建設工事竣工
- 18. 3 敷地整備他、外構工事完了
- 18. 8 (社)文教施設協会「教育環境の新設部門」協会賞受賞
- 19. 7 日本スポーツ振興センター学校安全優良校表彰
- 22.11 東北地区小学校特別活動研究協議会岩手大会会場校
- 25.11 一関市教育委員会指定学校図書館公開
- 26. 4 文部科学大臣「子どもの読書活動優秀実践校」表彰
- 29. 9 一関市教育委員会指定学校公開研究会(道徳)
- 29.11 東北特別支援教育研究大会授業会場(生活単元学習)

**教育目標**

- ◎ 相手を思いやり助け合う子 → やさしい子
  - ・自己との違いを認め、他者を尊重する子ども
  - ・弱者をいたわり、あったか言葉を使う子ども
  - ・自他の生命を大切にする子ども
- ◎ 自ら学び自ら考える子 → かんがえる子
  - ・自分の考えを持ち、意欲的に学習に取り組む子ども
  - ・目標を持ち、工夫しながら学習する子ども
  - ・互いの良さを認め、友達の考えを大切にする子ども
- ◎ 健康でたくましい子 → たくましい子
  - ・正しい判断をし、行動する子ども
  - ・がまん強く、最後までやりぬく子ども
  - ・進んで体を動かし、鍛える子ども

**研究主題**


考えを広げる児童の育成  
～「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくりを通して～

**特色ある教育活動**

- (1) 地域の素材をいかした環境教育  
久保川・自鏡山、凍み豆腐作り等、生活科・理科・総合的な学習の時間等に活用
- (2) 伝承活動としての神楽「鶏舞」  
地域の教育力を活かした「鶏舞」の伝承



<h1 style="text-align: center;">巖美小学校</h1>	〒021-0101 一関市巖美町字上ノ台55-2 TEL : 29-2114    FAX : 29-2115 E-mail : gensho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：佐藤 加奈子 副校長：古山 昌幸 教職員数：15名 児童数：111名    学級数：8
 <p><b>沿革</b></p> <p>明治 6. 8 公立五串小学校と称し開校          大正12. 3 猪岡小学校と統合          13. 12 現在地に新校舎が完成          昭和12. 12 校章・胸章を制定          22. 12 創立25周年を記念し校歌制定          30. 1 市町村合併により一関市立巖美小学校と改称          42. 11 完全給食開始          49. 8 プールが完成          53. 10 市教委指定学校公開研究会開催（勤労体験学習）          54. 10 市教委指定学校公開研究会開催（図工科、特別活動）          55. 12 本校舎三階建てが完成          57. 3 屋内運動場が完成          58. 9 巖美地区道徳教育研究協同推進校          平成14. 8 25年連続の巖美溪畔清掃小さな親切実行賞受賞          15. 11 県及び市教育委員会指定幼・小連携公開研究会開催          17. 4 山谷小学校と統合          23. 1 巖美溪畔清掃「小さな親切運動」実行賞受賞          23. 10 市教委指定学校公開研究会開催（算数科）          24. 4 巖美児童クラブ開設          25. 4 達古袋小学校と統合          30. 4 本寺小学校と統合          31. 4 「子どもの読書活動優秀実践校」文部科学大臣賞受賞</p>	<p><b>教育目標</b>          知性を磨き、情操を豊かにし、健康でたくましく生きる子どもの育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 進んで勉強をする子ども……知性を磨く子ども</li> <li>2. 生き生きとして思いやりのある子ども              ……情操を豊かにする子ども</li> <li>3. 丈夫でたくましい子ども……健康でたくましい子ども</li> </ol> <p><b>研究主題</b>          「文章の内容を正確に読み取り、          主体的に問題解決を図る児童の育成」          ～「読むこと」の指導を通して～</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ぐんぐんタイム等による基礎・基本の定着と、個に応じた指導の推進を図り、確かな学力の育成を図っている。</li> <li>2. 子どもたちの実践活動交流や教員の授業交流など、幼・小・中連携教育に力を入れて実践している。</li> <li>3. ボランティア活動や福祉活動、縦割り活動、スポーツ・音楽活動を通じて、調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図っている。</li> <li>4. 47年続いている巖美溪畔清掃や巣箱かけの取り組みを通じて、自然愛護・環境美化に努めている。</li> <li>5. 開かれた学校づくりを目指し、積極的に地域に情報を発信するとともに、様々な体験活動を企画・運営したり、地域の活動に積極的に参加したりするなどして、家庭や地域との連携を深めている。</li> </ol>	

<h1 style="text-align: center;">舞川小学校</h1>	〒021-0221 一関市舞川字館ノ越20-4 TEL : 28-2121    FAX : 28-2122 E-mail : maisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：砂子田 玲子 副校長：千葉 英悦 教職員数：14名 児童数：90名    学級数：8
 <p><b>沿革</b></p> <p>平成 7年 4月 舞草小学校と相川小学校が統合し、一関市立舞川小学校として創立          13年10月 学校給食文部科学大臣表彰受賞          17年 9月 創立10周年記念事業          18・19年 「我が国の伝統文化を尊重する教育に関するモデル事業」文部科学省指定          19年 7月 第9回全国子ども民俗芸能大会、第4回文化セミナーに鹿子踊り・鶏舞出演          24年10月 一関市指定研究学校公開（算数）          27年11月 創立20周年記念事業</p> <p>※一関市花いっぱいコンクールでは、学校花壇の部で平成7年から令和2年まで毎年のように、最優秀賞や優秀賞・優良賞・審査員特別賞等を受賞している。          ※鶏舞と鹿子踊りの2つの伝統芸能に取り組んでいる。</p>	<p><b>教育目標</b>          「郷土をこよなく愛し、たくましい実践力を持って、主体的・創造的に生きていく、心豊かな子」          [ゆたかに] 心豊かで 助け合う子          [かしこく] よく考え 学習に励む子          [たくましく] 健康で 粘り強く頑張る子</p> <p><b>研究主題</b>          自ら考え、進んで表現する子どもの育成          ～算数科における思考ツールを用いた言語活動の指導の工夫を通して～</p> <p><b>特色ある教育活動</b>          どの子も参加しやすい授業、どの子にも居場所のある学校を目指し、きめ細かな指導に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人権教育や特別支援教育の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>・Q.U等で学級生活での満足度を知り、経営に活かす。</li> <li>・個の状況を的確に把握し、課題の改善に努める。</li> </ul> </li> <li>(2) 基礎・基本の定着、学力の向上             <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞小タイムを設定し、基礎・基本の定着と個に応じたきめ細かな指導に取り組む。</li> <li>・朝読書、図書館ボランティアによる読み聞かせや読書普及員のブックトークを通して、読書の楽しさを学ぶ。</li> <li>・保護者と連携して、家庭学習の充実を努める。</li> </ul> </li> <li>(3) 地域に根ざした学校             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学習を通して地域文化や歴史を学ぶ。</li> <li>・鶏舞・鹿子踊の伝統芸能を継承する。</li> <li>・環境美化や栽培活動、花いっぱい運動を通して、世代間交流を図り、環境教育や福祉教育を推進する。</li> <li>・地区防犯協会や保護者と一緒に挨拶運動に取り組む。</li> </ul> </li> </ol>	

<h1>永井小学校</h1>	〒029-3206 一関市花泉町永井字岫前148-1 TEL : 84-2230    FAX : 84-2804 E-mail : nagaisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：吉池 真 副校長：齋藤 光喜 教職員数：14名 児童数：95名    学級数：8
	<p><b>教育目標</b>          自ら学び、自ら活動する子ども          1. 進んで学習する子ども (知育)          2. 思いやりのある子ども (徳育)          3. 健康でねばり強い子ども (体育)</p> <p><b>研究主題</b>          筋道を立てて考え、主体的で対話的に学ぶ力を育てる授業の探究          ～算数科における対話的な学びを位置づけた授業を通して～</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎的、基本的学習内容の定着と学習習慣の形成             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種調査結果の分析を生かした学習指導</li> <li>・家庭学習レベルアップ指導と担任外による家庭学習ノート指導</li> <li>・担任外と担任との協力指導の工夫</li> <li>・「永井っ子スタンダード」による好ましい学習・生活習慣の確立</li> </ul> </li> <li>2. 学校支援ボランティアによる体験学習のサポート体制の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校農園での野菜栽培、餅米栽培</li> <li>・読み聞かせ読書活動の継続</li> <li>・地域の伝統芸能の鶏舞の継承</li> <li>・高倉地区振興協議会との連携による紅梅の植樹・世話等</li> </ul> </li> <li>3. 思いやりの心の育成             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域高齢者へのいたわりの手紙送付</li> <li>・祖父母との交流活動（ミズキ団子作り、しめ縄作り等）</li> <li>・希望の灯募金、祖父母参観日の際の陸前高田市の物品販売</li> </ul> </li> </ol>	
<p><b>沿革</b>          明治6年、東永井小学校、西永井小学校として創立。          明治8年に薬師沢の医王寺に東永井小学校、寺前の端昌寺に西永井小学校が開校。          昭和30年町村合併により東永井小学校が花泉町立高倉小学校、西永井小学校が花泉町立永井小学校となる。          昭和39年、両小学校で創立90周年記念式典祝賀会が催される。          昭和60年4月、高倉小学校と永井小学校が統合し「花泉町立永井小学校」となる。同時に現在地の岫前に新校舎が建ち、全13学級（特学1）編成となる。          平成6年に永井小学校創立10周年記念式典、平成16年に創立20周年記念式典を挙げる。          平成17年9月の市町村合併により、一関市立永井小学校と改称し、現在に至る。          平成26年11月1日に永井小学校創立30周年記念式典を挙げる。</p>		

<h1>涌津小学校</h1>	〒029-3205 一関市花泉町涌津字松ノ坊26-1 TEL : 82-3326    FAX : 82-5325 E-mail : wakusho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：千葉 芳恵 副校長：山本 一美 教職員数：15名 児童数：113名    学級数：8
	<p><b>教育目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本目標              豊かな心をもち、たくましく未来を創造する、心身ともに健康な児童を育成する。</li> <li>2. 具体目標              (1) 進んで学ぶかしこい子ども (かしこく)              (2) 心豊かで正しい行いができる子ども (正しく)              (3) 健康でたくましい子ども (たくましく)</li> </ol> <p><b>研究主題</b>          確かな学力を育成する指導のあり方          ～学びを実感する算数科の指導を通して～</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎・基本の定着              全校漢字テスト・計算テストの実施と年3回の家庭学習強化週間の取り組み等の工夫により望ましい学習習慣の形成と基礎・基本の定着を目指している。</li> <li>2. 情操教育の充実              学校美術館の設置と読書活動、川柳づくりを通し、感性を養うと共に、豊かな心を育てる取り組みを実施している。</li> <li>3. 特別支援教育の充実              特別支援コーディネーターと担任外教員が中心となり、特別支援学級だけでなく、通常学級における個別支援の充実を目指している。</li> <li>4. 地域連携              鶏舞指導（伝統芸能伝承）、わくわく広場（放課後子ども教室）、総合的な学習の時間（田植えや豆腐や味噌づくり等）におけるゲストティーチャー活用等、地域との繋がりを大切にしている。</li> </ol>	
<p><b>沿革</b>          明治6年6月に涌津小学校として長禅寺に開校し、明治8年3月には高台道の住宅を借用して亥年小学校が開校した。          昭和49年に涌津小学校の新築工事が行われ、昭和58年4月に涌津小学校と亥年小学校が統合し、花泉町立涌津小学校と称する。          昭和60年4月にことばの教室が設置された。平成元年から平成2年にかけて行われた校舎大規模改修工事では、西側校舎増築、屋上防水、温水循環式暖房等の工事が施された。          平成5年11月に統合10周年記念事業（式典・花壇整備）、平成15年9月に統合20周年記念事業（ふれあいコンサート）が行われた。          平成17年9月の市町村合併により、一関市立涌津小学校と改称する。          平成25年10月、11月、統合30周年記念事業（式典・祝賀会等）を行った。</p>		

# 油島小学校

〒029-3207  
一関市花泉町油島字上築道34-1  
TEL : 82-3328 FAX : 82-5326  
E-mail : yushisho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：佐藤 修  
副校長：富澤 広子  
教職員数：12名  
児童数：38名 学級数：5



## 沿革

本校は、明治8年、及川安兵衛氏宅に油島小学校を創設し、同年、貝島貝塚に程近い満昌寺に蝦島小学校が創設された。その後両校とも、所在地を移しながら時代が流れた。

その後130余年の間に五つの小学校を統廃合しながら、平成4年油島小学校と蝦島小学校が統合し、新生「油島小学校」として現在に至っている。

環境美化教育に力を入れ、花いっぱいコンクールに応募し、平成28年度は審査員特別賞、29年以後は一関市奨励賞を受賞している。また、平成10年頃より、陸中岳風会の方々の指導を受けながら、全校で詩吟に取り組んでおり、校内学習発表会での発表はもちろんのこと、一関市合同吟同大会や岩手県吟詠剣詩舞道祭にも参加し発表している。令和2年度には、一関市教育委員会指定学校公開研究会を開催した。

## 教育目標

- (1) 基本目標  
◎進んで学習し、心豊かでたくましく生きる子ども
- (2) 具体目標  
○よく考え進んで学習する子ども  
○思いやりの心で仲良くする子ども  
○健康で体をきたえる子ども

## 研究主題

「思いや考えを共有し、深め合う子どもの育成」

～複式指導において、かかわり合いながら自分の考えを形成する学習活動の工夫を通して～

## 特色ある教育活動

1. 各教科、体験活動、読書を通し、習得したことや考えを自分の言葉で表現できる力を培う。
2. 思いやりの心を持ち、ことば遣いに気を付けた「あったか言葉」、気持ちのよい、明るいあいさつや返事の向上を図る。
3. 1日60分以上の運動の習慣化と基本的な生活習慣を定着させ、健康で体をきたえる児童の育成を図ると共に、防災教育の充実を目指す。
4. 約20年にわたり詩吟に取り組んでいる。29年度から、ことばのテキスト「言海」から漢詩や古文を吟題に取り入れ練習している。油島小の伝統活動となっている。

# 花泉小学校

〒029-3101  
一関市花泉町花泉字天王沢沖90  
TEL : 82-3322 FAX : 82-5338  
E-mail : hanasho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：山内 弘文  
副校長：内田 留美子  
教職員数：16名  
児童数：127名 学級数：10



## 沿革

明治6年7月、清水・中村・奈良坂の各村に学校が設立。明治20年ごろ統合され花泉小学校として発足した。その後児童数の増加、戦後の学制改革による中学校発足等により校舎移転、増改新築を重ねてきた。

現校舎は平成元年7月にオープンスペースや各種ホールを備えた校舎として完成した。

## 教育目標

「自ら進んで学び たくましく生きる 心豊かな子どもの育成」  
(生きる力の育成)  
◇考える子 ◇助け合う子 ◇元気な子

## 研究主題

確かな学力を身に付け、学ぶ意欲が高まる授業の創造

～学級経営を基盤にした「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善～

## 特色ある教育活動

1. 学習の基盤となる朝活動の充実  
・すくすくタイム、1日10分読書、読み聞かせ（保護者・地域住民）  
・月曜漢字テスト、表現朝会
2. 豊かな心を育てるふれあい班活動  
・縦割り班による清掃・集会活動
3. 鶏舞伝承活動  
・昭和46年より継続し学校行事や地域行事での披露
4. 『元気な挨拶・きれいな学校』に向けた取り組み  
・児童・教職員・保護者・地域住民・行政職員によるあいさつ運動  
・縦割り班清掃と学級花壇等の整備
5. 家庭・地域の教育力との連携  
ア 花小に行ってみようデー（教育振興運動）  
イ 家庭読書週間と読書・読み聞かせ通帳（教育振興運動）  
ウ 読み聞かせボランティア「おはなし列車」 ※H28設立  
エ 保育園・老人福祉施設との交流



<h1>老松小学校</h1>	〒029-3103 一関市花泉町老松字藤田215 TEL : 82-3325 FAX : 82-5339 E-mail : oisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：森 和佳子 副校長：上 館 敦彦 教職員数：14名 児童数：94名 学級数：8
	<p><b>教育目標</b></p> <p>自ら学ぶ子ども (勉強する子)          心の豊かな子ども (やさしい子)          心身ともに健康な子ども (元気な子)</p> <p><b>研究主題</b></p> <p>主体的に学び、考える児童を育てる授業改善          ～「わかった」「できた」を感じ、          確かな学力つける算数科指導のあり方～</p>	
<p><b>沿革</b></p> <p>明治6年大祥寺を借用し公立峠小学校創立。明治8年道慶寺を借用し男沢小学校創立。以後両校は、老松尋常高等小学校と男沢尋常小学校となる。昭和6年には老松尋常小学校となり名目統合。</p> <p>町村合併により、昭和30年9月花泉町立老松小学校と改称。平成17年9月市町村合併により一関市立老松小学校となり、現在に至っている。</p> <p>昭和52年に新校舎、翌年プールと屋内体育館竣工。平成5年11月には120周年記念行事と事業を実施。平成10年に校舎の大規模改修工事を竣工。</p> <p>平成23年度に特別支援学級(ひまわり学級)開設。平成25年には創立140周年を迎え、児童、教職員、地域住民あがての記念行事を行う。</p> <p>平成26年度に特別支援学級(あすなろ学級)が新設される。</p> <p>平成27年4月に一関市立日形小学校と統合し、新一関市立老松小学校となる。</p>	<p><b>特色ある教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地域からの学び             <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の産業(米・野菜作り等の体験学習、キャリア講話)</li> <li>地域の偉人(和算の取り組み、地域のお宝発見)</li> <li>地域の伝統芸能(大黒舞の取り組み)</li> </ul> </li> <li>ボランティア活動             <ul style="list-style-type: none"> <li>熊本県人吉市など被災地との交流、募金活動</li> </ul> </li> <li>児童会活動             <ul style="list-style-type: none"> <li>あったか宣言</li> <li>ありがとうプロジェクト</li> <li>あいさつ運動</li> </ul> </li> <li>縦割り班活動             <ul style="list-style-type: none"> <li>清掃活動、縦割り班遊び</li> <li>老小フレンドパーク(児童会)</li> </ul> </li> </ol>	

<h1>金沢小学校</h1>	〒029-3102 一関市花泉町金沢字下寺袋1 TEL : 82-3323 FAX : 82-5351 E-mail : kazasho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：齋藤 研一 副校長：三浦 紀久果 教職員数：13名 児童数：82名 学級数：8
	<p><b>教育目標</b></p> <p>「心身ともにたくましく健康であり、          自立に向かって努力する金沢っ子の育成」</p> <p>(1) 自ら学習に励む子ども (かしこい子)          (2) 思いやりのある子ども (やさしい子)          (3) たくましく活力のある子ども (たくましい子)</p> <p><b>研究主題</b></p> <p>「自分の考えを明確にし、広げ、深める子どもの育成」          ～算数科における「学び合い」と「振り返り」の工夫を通して～</p>	
<p><b>沿革</b></p> <p>昭和57年4月、旧金沢小学校と刈生沢小学校統合、「花泉町立金沢小学校」が開校。同7月に校舎、屋内運動場新築落成式を行う。昭和63年8月より新宿区立市谷小学校との交流が始まる。平成11年校庭拡張工事が完了。平成13年本校PTAが文部科学大臣表彰を受賞。平成17年6月第46次日本南極地域観測隊との衛星による「南極授業」実施。同9月合併により、一関市立金沢小学校となる。平成23年11月創立30周年記念式典挙行。平成26年7月から平成27年2月にかけて校舎の大規模改修工事。平成28年1月一関市教育委員会指定「ことばの力を育てる教育」発表。平成29年4月少年交通指導隊が岩手県警察本部長表彰される。平成29年7月市谷小・金沢小交流30周年。平成30年7月26日花泉町金沢自然愛護少年団結成20周年で県表彰される。令和元年10月本校PTAが日本PTA全国協議会長表彰を受賞。同年11月本校PTAが岩手県教育委員会表彰を受賞。令和2年3月新宿区教育委員会表彰受賞。</p>	<p><b>特色ある教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ことばの力を育てる教育             <ul style="list-style-type: none"> <li>「朝日の時間」による美しいことばに触れる活動、読書習慣の確立と読書環境の整備、子供も教師も「あたたかな聴き方・やさしい話し方」をする活動等を通して、ことばの感性やよりよい人間関係の育成を推進している。</li> </ul> </li> <li>東京都新宿区立市谷小学校との交流             <ul style="list-style-type: none"> <li>昭和63年から継続して交流している。現在は4・5年生を対象に2泊3日で年2回、夏は市谷小の児童が金沢へホームステイし、春には市谷へホームステイしている。今年度は34年目となる。</li> </ul> </li> <li>鶏舞の継承             <ul style="list-style-type: none"> <li>創立当時より5・6年による鶏舞活動を実施。運動会、大名行列等地域に披露。2学期には引継式を行い、4年生に代々継承している。</li> </ul> </li> <li>家庭・地域との連携             <ul style="list-style-type: none"> <li>お話ポケット、図書館ボランティアによる図書館教育の充実、学校安全ボランティアによる安全環境の確保、金沢生産森林組合との連携による体験学習の充実、積極的な地域行事への参加(大名行列・あったか弁当の宅配等)による地域の人々とのふれあいを充実させている。</li> </ul> </li> </ol>	

<h1>大原小学校</h1>	〒029-0711 一関市大東町大原字七切63-1 TEL: 72-2132 FAX: 72-3931 E-mail: oharasho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長: 菊池 正人 副校長: 鈴木 千恵子 教職員数: 16名 児童数: 97名 学級数: 9
		
<b>沿革</b> 平成22. 4. 1 一関市立大原小学校創立 一関市立大原小学校と一関市立内野小学校を統合し、大原字七切地内に新校舎を建設、開校する。 24. 7 落成式 25. 4 一関市教育委員会指定研究校 (25～26年度 算数) 26. 11 一関市教育委員会指定学校公開 ～数学的な表現力を育てる指導～ 29. 4 一関市ことばの力を育てる教育実践指定校 31. 3 校庭改修工事完了 令和元. 11 校舎空調設備設置工事完了	<b>教育目標</b> ○考える子 ○きたえる子 ○思いやる子  <b>研究主題</b> 「わかる、できる、楽しい」授業づくり ～算数科授業における習熟活動の充実をとおして～  <b>特色ある教育活動</b> 1. 確かな学力 基礎・基本の確実な定着 (漢字大会、算数大会の実施) 家庭学習の習慣化 (学びの手引きの活用、授業との連動) ことばの力を育てる教育 (ことばの時間、読書貯金箱、暗唱検定) 2. 健やかな身体 継続的な体力づくり (マラソン、縄跳び) 安全指導の徹底 (登下校、校内外の安全) 健康管理能力の育成 (肥満率減少、むし歯のない比率向上) 3. 豊かな心 明るいまなざしが響く学校 (あいさつ運動) 異年齢交流活動の推進 (縦割り班清掃、なかよし集会) 温かい人間関係づくり (学級経営の充実、児童アンケート) 4. 家庭や地域との連携 学校・親子で取り組むがんばり週間 地域素材の活用 (鉄づくり、だるま祭り、水かけ祭り) 情報発信 (ホームページ、校報の回覧、学級通信等の発行) 地域団体との連携 (市民センター、保育園、中学校)	

<h1>大東小学校</h1>	〒029-0523 一関市大東町摺沢字上塚ノ沢70 TEL: 75-2234 FAX: 75-2667 E-mail: daisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長: 及川 輝美 副校長: 千葉 憲一 教職員数: 19名 児童数: 222名 学級数: 11
		
<b>沿革</b> 平成25年4月1日 一関市大東町摺沢字上塚ノ沢地内に新校舎を建設し、開校。 26年5月 校庭、プール、外構、駐車場等完成。 26年12月 外倉庫完成。 27年11月20日 学校公開研究会 (理科・生活科) 29年4月 大東児童クラブが校舎の一部に開設 令和元年12月 県学校歯科保健優良校表彰 優秀校 (開校の精神より) この地に育つ子供達は、「教え伝えて学びあう・決まりを守り温かく・身体を鍛え健やかに」の地域の願いを集めた大東地域の未来を担う子供達である。 よって、本校で学ぶ子供達・教職員・保護者・地域民は互いに切磋琢磨する中で、「和合・譲り合いの精神」を持ちながら、「共に学び共に歩み共に育つ」ことを基軸に、豊かな人間社会の構築に貢献し、「室蓬譲水の里」を更に飛躍・発展させるべく使命感をもって努めなければならないことを本学「開校の精神」とする。	<b>教育目標</b> 薫り高い歴史と文化を育んできた室蓬譲水の里に誇りを持ち、明日への夢や希望に向かって、逞しく挑戦する児童の育成をめざす。 ○かしこく (学び合う子) ○ゆたかに (助け合う子) ○たくましく (鍛え合う子)  <b>研究主題</b> 「互いの思いや考えを汲み、伝え合おうとする児童の育成 ー主体的に学び、表現し合う活動を通してー」  <b>特色ある教育活動</b> 1. 安全・安心な学校づくり ・自他の命や人権を大切にすることの育成 ・危機管理を意識した施設管理 ・保護者への情報提供 2. 学力の向上 ・基礎基本の確実な定着 ・外国語活動の充実 ・特別支援教育の充実 (UD) ・復興教育の充実 ・キャリア教育の推進 3. 生徒指導・学級経営の充実 ・3機能を生かした生徒指導: 「自己有用感」 ・「学級力」の向上 4. 地域・家庭との連携・協働の推進 ・地域学校協働活動の推進	

<h1>興田小学校</h1>	〒029-0602 一関市大東町鳥海字鞭柳104-1 TEL : 74-2514    FAX : 74-2855 E-mail : okisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：佐藤 紹 栄 副校長：菊池 啓 志 教職員数：11名 児童数：62名    学級数：6
	<p><b>教育目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>基本目標</b> 豊かな心と自ら学ぶ力をもち、たくましく生きる子どもの育成</li> <li><b>めざす子ども像</b>            思いやりのある子ども（徳）            進んで学ぶ子ども（知）            健康でたくましい子ども（体）</li> </ol> <p><b>研究主題</b> 「主体的な学びを支える授業の創造」 ～算数科における言語活動を重視した授業実践を通して～</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>まなびフェストによる徳知体、調和のとれた児童の育成</li> <li>基礎・基本の習得と活用力を育成するための授業の充実</li> <li>朝読書、隙間読書、家庭読書による読書好きな児童の育成と音読活動を通じた「ことばの力」の育成</li> <li>豊かな人間性を育てる異学年交流活動（縦割り掃除、縦割り行事など）</li> <li>スクールボランティア（学習・読書・環境）等地域人材の活用</li> </ol>	
<p><b>沿革</b></p> <p>本校は、興田地区内の興田、天狗田、中川、京津畑、丑石の小学校を統合し、鳥海字鞭柳地内に新校舎を建設し、平成18年4月1日に開校、一関市立興田小学校と称す。同年8月に落成式、祝賀会を開催する。平成19年3月31日、校庭及び外倉庫が完了する。平成20年4月1日、特別支援学級（さわやか学級）が設置される。平成21年4月23日、読書活動実践優秀校文部科学大臣表彰を受ける。同年11月6日、県学校図書館教育研究大会を本校会場に開催する。平成24年度より2年間、市教委より「ことば」の力を育てる研究指定を受け、平成25年11月22日学校図書館公開を開催する。平成26年4月1日、特別支援学級（すこやか学級、きこえの学級）が設置される。平成28年10月22日、創立10周年記念式典・祝賀会を開催する。平成31年1月に「水環境・水資源部門岩手県知事表彰」を受賞。令和2年度より、複式学級開始。特別支援学級（すこやか学級・きこえの学級）は閉鎖。</p>		

<h1>猿沢小学校</h1>	〒029-0431 一関市大東町猿沢字上ノ洞12-1 TEL : 76-2022    FAX : 76-2767 E-mail : sarusho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：亀丸 泰 彦 副校長：五安城 晴 美 教職員数：12名 児童数：54名    学級数：7
	<p><b>教育目標</b></p> <p>「かしこく やさしく たくましく」          （かしこく） すすんで学ぶ子          （やさしく） 思いやりのある子          （たくましく） 心も体も健康な子</p> <p><b>研究主題</b>          どの子も「わかる」「できる」を実感できる授業の創造          ～自分の考えを表現するための工夫を通して～</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>基礎学力定着のための取り組み           <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジテスト</li> <li>・音読検定</li> <li>・家庭と連携した家庭学習「がんばる子カード」の取り組み</li> </ul> </li> <li>豊かな心の育成           <ul style="list-style-type: none"> <li>・「相手に伝わるあいさつ」「くつをそろえる」</li> <li>・地域と連携した「ふれあい学級」参観日</li> <li>・図書まつり</li> </ul> </li> <li>健康教育の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に運動に取り組むための体育授業</li> <li>・業間体育</li> <li>・ロードレース大会</li> <li>・なわとび集会</li> </ul> </li> </ol>	
<p><b>沿革</b></p> <p>明治6年3月31日、上ノ洞金氏所有の一屋を借用し、町方に公立猿沢小学校創立。下猿沢、新渡戸、峠の3分校設置。明治16年下猿沢、新渡戸両分校を本校に合併。昭和30年町村合併により大東町立猿沢小学校と改称。昭和46年峠分校を廃止し本校に統合。昭和61年現校舎新築移転。平成6年屋内運動場完成、平成7年プール完成。平成17年9月、合併により一関市立猿沢小学校となる。平成21年11月、全国体育研究会より研究優良校を受賞。平成23年11月、一関市教育委員会指定による体育科の学校公開研究会を実施する。24年3月、県南教育事務所長表彰を受賞する。25年4月特別支援学級（知的）を開設する。30年4月特別支援学級（情緒）を開設する。令和元年10月、一関市教育委員会指定による算数科の学校公開研究会を実施する。</p>		



<h1>千 厩 小 学 校</h1>	〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場10-2 T E L : 34-5102 F A X : 34-5103 E-mail : sensho@city.ichinoseki.iwate.jp	校 長 : 長 山 政 志 副 校 長 : 中 村 美 佐 教職員数 : 29名 児 童 数 : 410名 学級数 : 18
 <p><b>沿 革</b></p> <p>平成30年4月1日 千厩地域内の千厩、小梨、清田、奥玉、磐清水の5つの小学校が統合し、一関市立千厩小学校創立。 千厩町千厩字上駒場地内に新校舎を建設し開校する。</p> <p>30年7月18日 プール完成 30年12月1日 落成式開催 令和2年11月25日 令和元年・2年度一関市教育委員会指定算数科学校公開研究会</p>	<p><b>教育目標</b></p> <p>自ら学び新しい時代を拓き心豊かにたくましく生きる児童の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心かよい合う子 (徳育)</li> <li>○ まなび合う子 (知育)</li> <li>○ きたえ合う子 (体育)</li> </ul> <p><b>研究主題</b></p> <p>「協働しながら学ぼうとする児童の育成」 ～児童の学びを支えるICT活用の在り方～</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性の育成をめざした、心かよい合う学級経営と生徒指導       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 場に応じた言葉づかいや挨拶、行動ができる子の育成</li> <li>(2) 思いやりの気持ちを持ち、互いを尊重し合える子の育成</li> <li>(3) 責任を持ち、協力して活動できる子の育成</li> </ol> </li> <li>2. 学び合う姿勢の育成と分かる授業づくりによる確かな学力の定着       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 集中して話を聞き、基礎的・基本的な学力を身につける子の育成</li> <li>(2) 自分の考えをもち、積極的に表現できる子の育成</li> <li>(3) 学習習慣を身につけ、主体的に学ぶ子の育成</li> </ol> </li> <li>3. たくましい心と体、健康・安全意識の育成       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生活リズムを整え、健康に生活できる子の育成</li> <li>(2) 目標をもち、根気強く体を鍛える子の育成</li> <li>(3) 決まりの意味を考え、安全を意識して生活できる子の育成</li> </ol> </li> <li>4. 特別支援教育の充実と一関清明支援学校千厩分教室小学部「ハビきら」学級との交流・共同学習の充実       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 特別支援教育の充実</li> <li>(2) 一関清明支援学校千厩分教室小学部「ハビきら」学級との交流</li> </ol> </li> <li>5. 家庭や地域に開かれ、信頼される学校づくり</li> </ol>	

<h1>東 山 小 学 校</h1>	〒029-0302 一関市東山町長坂字東本町12 T E L : 47-2144 F A X : 47-2119 E-mail : higasho@city.ichinoseki.iwate.jp	校 長 : 伊 東 洋 司 副 校 長 : 金 野 敬 之 教職員数 : 23名 児 童 数 : 224名 学級数 : 13
 <p><b>沿 革</b></p> <p>平成26年4月に、長坂・田河津・松川の3小学校を統合し「一関市立東山小学校」として発足した。</p> <p>平成30年4月 LD等通級指導教室設置 30年12月 仮設校舎への引越 31年1月 校舎他長寿命化改修等工事開始 令和2年1月 新校舎への引越 2年12月 落成式</p>	<p><b>教育目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな心を持ち 思いやりのある子ども</li> <li>・自ら考え 進んで学ぶ子ども</li> <li>・たくましく 健康な子ども</li> </ul> <p><b>研究主題</b></p> <p>「豊かななかかわりを築き、自ら学び続けていく子どもの育成」 ～地域を生かした探究的な学習活動を通して～</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心豊かで希望と笑顔にあふれる児童の育成       <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人のよさや可能性を伸ばす学級経営</li> <li>・縦割り班のよさを生かした活動等の推進</li> <li>・心を育て、一人一人を大切に特別支援教育の充実</li> </ul> </li> <li>2. 学習指導の充実と学力向上       <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかる授業の創造と基礎学力や学習規律の定着</li> <li>・ことばの力を育み、学力向上を図る校内体制の構築</li> </ul> </li> <li>3. 体力向上と健康・安全への取り組みの充実       <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎体力づくりの推進</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき等」の習慣作り</li> </ul> </li> <li>4. 家庭・地域・異校種間の連携       <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ファミチャンウィーク」等、PTAと連携した実践</li> <li>・地域人材や資源を活用した教育活動の推進</li> <li>・こども園・保育園・児童館・中学校との連携強化</li> </ul> </li> <li>5. 施設・設備・教育環境の整備充実       <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎内の美化や花壇・樹木等管理</li> </ul> </li> </ol>	

<h1>室根東小学校</h1>	〒029-1201 一関市室根町折壁字中谷地82-1 TEL : 64-2103 FAX : 64-3764 E-mail : murohigashisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：菊池和恵 副校長：後藤純一 教職員数：14名 児童数：64名 学級数：7
 <p><b>沿革</b></p> <p>平成21年4月 一関市立折壁小学校、同浜横沢小学校の統合により一関市立室根東小学校創立</p> <p>平成21年9月 一関市長によるサテライト授業実施</p> <p>平成22年11月 水生生物調査感謝状受賞（県知事より）</p> <p>平成26年11月 緑の少年制服贈呈・復興記念樹桜の贈呈</p> <p>平成27年3月 県南教育事務所長表彰「学力向上の取組に対して」</p> <p>平成27年4月 一関市教育委員会研究指定「教育課程一般」となる</p> <p>平成28年11月 一関市教育委員会研究指定「教育課程一般」学校公開実施</p>	<p><b>教育目標</b> 豊かな心でやりぬく室根の子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい子</li> <li>・考える子</li> <li>・強い子</li> </ul> <p><b>研究主題</b> 見通しをもち筋道を立てて考え表現する子供の育成 ～主体的に表現し伝え合う授業づくりを通して～</p> <p><b>学校経営の重点</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 確かな学力の育成       <ul style="list-style-type: none"> <li>・「分かる授業づくり」、主体的・対話的な学習の充実</li> <li>・朝活動・家庭学習の充実</li> <li>・読み聞かせ、朝読書、家庭読書による読書の習慣化</li> </ul> </li> <li>2. 豊かな心の育成       <ul style="list-style-type: none"> <li>・縦割り活動、自然愛護運動等の体験活動</li> <li>・挨拶・返事の徹底</li> </ul> </li> <li>3. 健やかな体の育成       <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健指導、食育指導、体力づくり、健康づくり</li> <li>・防災教育や避難訓練等による危険回避能力の向上</li> </ul> </li> <li>4. 特別支援教育の推進       <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインによる指導力向上</li> </ul> </li> <li>5. いじめ・不登校対策の確かな対応       <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ防止基本方針」の実効的取り組み、関係機関との連携</li> </ul> </li> <li>6. 岩手で、世界で活躍する人材の育成       <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土を愛し、復興・発展を支える人材を育成</li> </ul> </li> <li>7. 学びの基盤づくり       <ul style="list-style-type: none"> <li>・人的・物的資源を活用した、社会に開かれた教育課程</li> </ul> </li> <li>8. 働き方改革の推進       <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の精選、効率化</li> </ul> </li> </ol>	

<h1>室根西小学校</h1>	〒029-1202 一関市室根町矢越字千刈田77 TEL : 64-2106 FAX : 64-3738 E-mail : muronisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：門屋健司 副校長：木村慶太 教職員数：16名 児童数：88名 学級数：7
 <p><b>沿革</b></p> <p>平成21年4月、室根地域の旧上折壁小学校区、旧釘子小学校区、旧津谷川小学校区が統合したもので、室根町の西部から南部に位置し、行政区の11区から20区を範囲とする。この学区は、旧矢越村と旧大津保村の一部で構成され、2級河川の大川と津谷川流域の県道18号室根本吉線沿いに南北に伸びている。「森は海の恋人」植木活動の矢越山、つつじの美しい大森山をシンボルとする穏やかな農山村である。保護者は会社員、団体職員、公務員が多く、ほとんどの家族が三世同居である。学校教育に対しては、関心が高く、学校行事やPTA活動に大変協力的である。</p>	<p><b>教育目標</b> 「豊かな心でやりぬく室根西の子」 〈努力・思いやり・考える〉 [めざす子ども像] 考える子 明るい子 強い子</p> <p><b>研究主題</b> 筋道を立てて考え学び合い表現する子どもの育成 ～算数科における数学的な表現力の育成を目指して～</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学びの力をつける       <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の授業の充実</li> <li>・家庭学習の徹底</li> </ul> </li> <li>(2) 心の力をつける       <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動の徹底</li> <li>・読書活動の推進</li> </ul> </li> <li>(3) くらしの力をつける       <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育の充実</li> <li>・体力づくりの推進</li> </ul> </li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習訓練、学び方の徹底</li> <li>・体験的な学習の推進</li> <li>・復興指導の推進</li> <li>・道徳指導の推進</li> <li>・安全指導の徹底</li> <li>・食育指導の推進</li> </ul>	



<h1 style="text-align: center;">川崎小学校</h1>	〒029-0202 一関市川崎町薄衣字泉台50 TEL : 43-3113    FAX : 43-3398 E-mail : kawasakisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：福田 博美 副校長：飛澤 克昭 教職員数：14名 児童数：120名    学級数：8
 <p><b>沿革</b></p> <p>平成25. 3 一関市立薄衣小学校閉校          一関市立門崎小学校閉校</p> <p>25. 4 一関市立薄衣小学校・門崎小学校統合により一関市立川崎小学校開校          旧薄衣小学校校舎使用</p> <p>26. 4 復興教育推進校として県から指定を受ける</p> <p>28. 4 市から2年間の研究指定を受ける</p> <p>29.10 学校公開研究会開催(算数)</p>	<p><b>教育目標</b>          「かしこく やさしく たくましく」          ～ふるさとを愛し、未来を創る川崎の子～</p> <p><b>研究主題</b>          自分の思いや考えをもち、主体的に学ぶ子どもの育成          ～国語科「読むこと」の指導を通して～</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 確かな学力              授業力の向上(わかる授業への改善、授業公開)              基礎基本の徹底(漢字・算数テストの実施、学力テストの活用、百マス計算の計画的な実施)              家庭学習の習慣化(家庭学習ガイドの活用、強化月間の設定)              言葉を大切に学習指導(読書に親しむ、自ら考える、話し合う場の設定)              「ことばの力を育てる教育」の推進(ことばのテキストを活用し、感性を養う)</li> <li>2. 豊かな心              あいさつができる(あかるく・いつでも・さきに・つづけて)              望ましい人間関係づくり(個を生かす学級経営、Q-U調査と教育相談)              思いやりや協力・感謝の気持ちを育む(道徳の時間の充実、体験活動、行事を通しての感動体験、縦割り班活動、地域の伝統芸能の伝承)</li> <li>3. 健やかな体              基礎体力の向上(マラソン・なわとび、外遊びの励行、教科体育の充実)              健康教育の推進(望ましい生活習慣の啓発、むし歯予防と肥満対策、食育指導)              安全教育の推進(交通安全指導、防災・防犯学習)              毎月1回、ノーマディアdayの取り組み(自己の規律力・抑制力の育成)</li> </ol>	

<h1 style="text-align: center;">藤沢小学校</h1>	〒029-3405 一関市藤沢町藤沢字仁郷50-1 TEL : 63-2011    FAX : 63-2018 E-mail : fujisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：吉田 博昭 副校長：佐藤 亘 教職員数：16名 児童数：162名    学級数：9
 <p><b>沿革</b></p> <p>平成21年4月1日 旧藤沢・徳田・保呂羽・大籠の4つの小学校が統合し、新「藤沢町立藤沢小学校」として開校する。</p> <p>23年3月11日 東日本大震災により校舎が損傷し、3階が使用不能となる。</p> <p>23年9月26日 市町合併により「一関市立藤沢小学校」となる。</p> <p>24年3月 校舎の復旧工事が終了する。</p> <p>25年10月22日 一関市教育委員会指定学校公開研究会を開催する。</p> <p>27年4月1日 聴覚障がい特別支援学級が開設される。</p> <p>29年4月1日 肢体不自由特別支援学級が開設される。</p> <p>令和3年3月31日 聴覚障がい特別支援学級が閉鎖される。</p>	<p><b>教育目標</b>          「明るい笑顔」と「学ぶよろこび」にあふれた学校          ○ 課題を追求する子ども          ○ 思いやりの心をもつ子ども          ○ 体と心をきたえる子ども</p> <p><b>研究主題</b>          自ら考え、表現し、学び合う児童の育成          ～自分の考えを表現し、          対話的な活動を通して学びを深める授業づくり～</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 学力向上             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個に応じた指導(TT指導・少人数指導)の取り組み</li> <li>・ 漢字・計算等の定着に向けた「休み明けテスト」の実施</li> <li>・ 小中連携による家庭学習強化週間の取り組み</li> </ul> </li> <li>◎ 児童主体の児童会行事             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生を迎える会 6年生を送る会</li> <li>・ 児童総会</li> </ul> </li> <li>◎ 縦割り班による異学年交流             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 縦割り班清掃</li> <li>・ 縦割り班遊び</li> </ul> </li> <li>◎ お年寄りや地域の方々との交流             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野焼き祭りへの参加</li> <li>・ 運動会・学習発表会への招待</li> </ul> </li> </ul>	

# 黄 海 小 学 校

〒029-3311  
一関市藤沢町黄海字天堤11-1  
T E L : 63-2017 F A X : 63-3430  
E-mail : kinosho@city.ichinoseki.iwate.jp

校 長 : 熊 谷 健 司  
副 校 長 : 佐 藤 良 史  
教職員数 : 13名  
児 童 数 : 86名 学級数 : 8



## 沿 革

明治6年長昌寺本堂を借用し公立黄海小学校創立。昭和22年黄海村立黄海小学校となる。昭和30年町村合併により藤沢町立黄海小学校、昭和48年に曲田小学校が黄海小学校と統合、平成23年には市町合併により一関市立黄海小学校と改称し現在に至っている。昭和49年創立100周年記念式典挙行。昭和50年に新校舎、平成2年屋内体育館竣工。平成23年東日本大震災により校舎、体育館が被害を受け改修。平成3年には博報賞並びに文部大臣奨励賞を受賞している。

## 教育目標

心身ともに健康で、自主的精神に満ちた人間性豊かな児童の育成  
【めざす児童像】  
よく考える子ども 助け合う子ども たくましい子ども

## 研究主題

主体的に学び、表現しようとする子どもの育成  
～タブレットを活用した授業を通して～

## 特色ある教育活動

1. 勤労体験学習（キャリア教育の一環として）  
「びかびか田んぼ」における稲作体験と高齢者との交流活動  
並びに学校園における畑作体験活動
2. 挨拶の響き合う学校  
P T A、地域と連携した挨拶運動の推進
3. 地域との絆活動（餅文化を中心とした食育教育の一環として）  
地域の方々を招き、感謝の気持ちを伝える収穫祭の実施
4. ボランティア活動  
ベルマーク収集活動
5. 縦割り班活動  
児童会縦割り班での清掃活動や集会活動の実施
6. 環境美化活動  
学校花壇作りを中心とした花いっぱいの学校づくり
7. 伝統的文化活動の取組  
鶏舞支援隊から学ぶ鶏舞の伝承

# 新 沼 小 学 校

〒029-3402  
一関市藤沢町新沼字関田51-2  
T E L : 63-2016 F A X : 63-2185  
E-mail : niisho@city.ichinoseki.iwate.jp

校 長 : 大 鷹 真 徳  
副 校 長 : 湊 一 徳  
教職員数 : 11名  
児 童 数 : 34名 学級数 : 6



## 沿 革

明治6年に第7大学区第20中学区新沼小学として創立。明治24年に八沢村新沼尋常小学校と改称、明治44年に新沼尋常高等小学校となる。昭和22年4月に八沢村立新沼小学校と改称し、市町村合併により昭和30年4月藤沢町立新沼小学校、平成23年9月一関市立新沼小学校となり現在に至っている。昭和48年の創立百周年に合わせてプールが完成、昭和61年に特別教室棟落成、平成元年に屋内体育館竣工。平成14年2月には木造2階建ての新校舎(管理・普通教室棟)が落成している。昭和43年より地域の方の指導を受けながら、俳句づくりに取り組んでいる。各種俳句大会等に応募し、入賞するなど、児童は楽しみながら創作活動を行っている。

## 教育目標

「夢のつぼみは光に燃えて、さあ挑戦！」  
に 人間性豊かで  
い 命を大切にし (体)  
ぬ ぬくもりあふれる心と (徳)  
ま 学びの力をもつ子ども (知)

## 研究主題

自ら学び、豊かに表現する子どもを目指して  
～活用できる言語力を育て、  
自分の思いや考えを伝え合う子どもの育成～

## 特色ある教育活動

1. 学力向上
  - ・「わかる授業」の展開
  - ・個に応じた指導の工夫、複式指導
  - ・音読、詩の暗唱、俳句作りへの全校での取り組み
2. 豊かな心の育成
  - ・あいさつ運動の推進
  - ・読書活動、音楽芸術活動の推進
  - ・伝統芸能（増沢神楽）への取り組み
  - ・地域を知る体験活動の推進
  - ・異年齢交流（縦割り清掃活動、地区別集団登校等）の取り組み
3. 開かれた学校づくり
  - ・地域民との交流（体験活動、運動会等）
  - ・地域人材の活用と連携
  - ・校報の全戸配布

(2) 中学校

<h1 style="text-align: center;">一 関 中 学 校</h1>	〒021-0901 一関市真柴字中田18 T E L : 23-5120 F A X : 23-4864 E-mail : kanchu@city.ichinoseki.iwate.jp	校 長：時 枝 直 樹 副 校 長：千 葉 卓 也 教職員数：20名 生 徒 数：213名 学級数：9
		<p><b>教育目標</b>                  自ら求めて知性を磨き、心身を鍛え、心豊かに生きる生徒の育成を期す。</p> <p>目指す生徒像                  (1) 「知」… 知性豊かな生徒                  (2) 「徳」… 心の温かい生徒                  (3) 「体」… 体力のみなざる生徒                  (4) 「気」… 気力あふれる生徒</p> <p><b>研究主題</b>                  「主体的・対話的で深い学び」を通して「考える力」が身につく生徒の育成                  ～「わかる授業」が実践された授業づくりを通して～</p> <p><b>特色ある教育活動</b>                  (1) 安全・安心な学校づくりの推進                  安全バッジ・ヒヤリマップの活用、関中安全宣言等による安全意識の高揚                  いじめ防止基本方針・思いやり宣言に基づく安心な学校づくり                  (2) 学力向上                  課題解決学習を基本とした「わかる授業」の実践                  表現を通しての考える力の育成 複数体制による協力的授業（数学・英語）                  授業と連動した家庭学習・補充学習の強化                  (3) 学校適応の工夫                  生活リズム、人間関係形成能力、社会的スキルの醸成                  カウンセリングマインドを基盤とした生徒指導・学級づくり                  支援体制の構築、家庭への啓発と関係機関との連携                  (4) キャリア教育の推進                  基本的な生活習慣、コミュニケーション能力、勤労観、職業観、将来設計力の醸成                  1年「フィールドワーク」「ものづくり講座」                  2年「社会体験学習」                  3年「キャリアリサーチ」 全学年「ノーメディアデー」                  (5) 復興教育の推進                  「命と心」…「安全・安心な学校づくり」の推進、道徳教育、思いやり宣言                  「人と地域」…「キャリア教育」の地域貢献                  「防災と安全」…自然災害の理解、非常時に生き抜く力の習得、安全宣言</p>
<p><b>沿 革</b></p> <p>昭22. 4. 1 学制改革により一関町立一関中学校創立                  23. 4. 1 市制施行により一関市立一関中学校と改称                  27. 7. 11 旧校舎に新築移転                  42. 10. 9 創立20周年記念事業を実施                  56. 1. 16 新校舎竣工し、移転                  平 6. 3. 16 屋内運動場改築竣工                  16. 7. 29 第51回県中総体軟式野球優勝                  20. 3. 22 文部科学省英語教育優良校受賞                  20. 7. 1 第57回読書教育賞外国語教育部門最優秀賞                  21. 4. 1 文部科学省キャリア教育支援事業指定校                  23. 3. 25 武道場・新部室完成                  23. 8. 10 第41回東北中総体男子バスケットボール部第3位                  25. 9. 15 全日本吹奏楽コンクール東北大会銅賞                  26. 9. 27 全日本合唱コンクール東北支部大会銅賞                  27. 9. 26 全日本合唱コンクール東北支部大会銅賞                  28. 9. 24 全日本合唱コンクール東北支部大会優良賞                  29. 9. 30 全日本合唱コンクール東北支部大会優良賞                  29. 11. 27 一関市教育委員会指定学校公開研究会                  29. 12. 9 創立70周年記念式典開催                  30. 9. 29 全日本合唱コンクール東北支部大会銅賞                  令 1. 9. 28 全日本合唱コンクール東北支部大会銅賞</p>		

<h1 style="text-align: center;">磐 井 中 学 校</h1>	〒021-0061 一関市山目字館46-1 T E L : 23-5233 F A X : 23-7957 E-mail : iwaichu@city.ichinoseki.iwate.jp	校 長：瀧野澤 徹 副 校 長：佐 藤 和 史 教職員数：37名 生 徒 数：494名 学級数：17
		<p><b>教育目標</b>                  豊かな心と創造性を持ち、心身共に逞しく自己を鍛える生徒の育成                  (1) 磨く知性 …自ら求めて学び、未来を拓く生徒                  (2) 豊かな感性…自他を敬愛し、思いやりのある生徒                  (3) 鍛える身体…自ら心身を鍛え、逞しく実行する生徒</p> <p><b>研究主題</b>                  主体的・対話的で深い学びに向けた授業の在り方                  ～生徒指導の機能を生かして～                  研究内容と方法は以下の通り                  (1) 校内研究会の実施（全体研を年に3回実施）                  (2) 「主体的・対話的で深い学び」について研究                  (3) 他校の公開や研修会への積極的な参加                  (4) 「指導と評価の一本化」に向けた学習評価の改善</p> <p><b>特色ある教育活動</b>                  (1) 学力の向上と進路指導の充実                  生徒指導の機能に着目して授業改善を進め、主体的な学習態度を養い、学びを実感することができる「わかる授業」を実践する。また、学ぶことの意義を理解させ、授業規律の充実と家庭学習の定着を目指し、「学びの習慣化」を図る。                  (2) 学校生活の基盤の構築を目指した凡事徹底の3項目                  ①清掃・整理整頓 ②時間意識 ③挨拶、身だしなみ                  「場を清め、時を守り、礼節を重んじる」                  (3) 豊かな心を育む教育の充実                  感動する心、正義感・公平さ、生命や人権を尊重する倫理観、共生や寛容など、豊かな道徳的価値を備えた人間性をはぐくむ、道徳教育の推進。</p>
<p>南校舎(平成27年完成)</p> <p><b>沿 革</b></p> <p>平成27年3月末をもって一関市立山目中学校と一関市立中里中学校を閉校し、平成27年4月に、統合校として山目中学校校地内に新設。                  平成27年度1学期 南校舎使用開始                  平成27年度3学期 北校舎使用開始                  平成28年度8月 体育館屋根改修工事終了                  平成28年度末 テニスコート完成</p> <p>1年生5学級、2年生4学級、3年生6学級、特別支援学級2学級の計17学級である。                  令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため、多くの大会や行事が中止される中、PTAと協力して感染症対策を行い、運動会・文化祭・修学旅行を規模を縮小して実施した。吹奏楽部や合唱部の発表の場として「心の絆コンサート」を行った。地区の新人戦では野球部が優勝するなど多くの部活が県大会へと進出。</p>		



# 一関東中学校

〒029-0132  
一関市滝沢字寺田下81-2  
TEL : 23-3411 FAX : 23-5430  
E-mail : higashichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：三浦 仁  
副校長：樋岡 繁典  
教職員数：15名  
生徒数：90名 学級数：5



## 沿革

- 平20. 4. 1 一関市立真滝中学校、同弥栄中学校の統合により一関市立一関東中学校創立
20. 4. 5 開校式（真滝中学校敷地内に校舎設立）
21. 12. 6 落成式（講演 上智大学 西澤潤一先生）
22. 4. 19 学校給食開始
23. 11. 27 岩手県PTA広報コンクール最優秀賞
24. 11. 22 全国小中学校PTA広報誌コンクール佳作
25. 12. 1 岩手県PTA広報コンクール最優秀賞
26. 11. 19 全国小中学校PTA広報誌コンクール日本教育新聞社社長賞
26. 11. 30 岩手県PTA広報コンクール最優秀賞
27. 3 一関市立一関東中学校同窓会設立
27. 11. 29 岩手県PTA広報コンクール最優秀賞
29. 4 文部科学省人権教育研究指定校



## 校訓

「識己研能」（己を識り、能を研く）

## 教育目標

- ・ 知の研鑽 「自ら求め、研学する生徒」
- ・ 清澄な心 「自ら求め、心を耕す生徒」
- ・ 壮健な体 「自ら求め、身体を鍛える生徒」

## 今年度の重点

- (1) 実効性ある「まなびフェスト」の徹底
  - 1 「わかる授業」に向けた研修の充実
  - 2 授業規律の確立と徹底
  - 3 いじめ防止基本方針に基づく未然防止の取り組みの徹底
  - 4 自治的な生徒会活動の支援
  - 5 体力向上や運動に親しむ環境づくり
  - 6 各種通信・ホームページによる教育活動の周知と意識啓発
  - 7 学校評価の適切な運用
- (2) 授業等におけるICT活用の構想構築と実践
  - 1 ICTに係る研修の充実
  - 2 授業等におけるICT活用に係る学習の展開
  - 3 ICTに係る生徒の実態把握
  - 4 日常的教育実践における課題把握及びICT活用の可能性考察
  - 5 ICTを活用した授業の施行及び改善点等の確認

## 研究主題

自ら学び続ける生徒の育成  
～ICTを活用した「わかる授業」を通して～

## 特色ある教育活動

統合14年目を迎える。真滝、弥栄両地区に伝わる郷土芸能「鶏舞」を、伝承活動の一つとして全校生徒で取り組んでいる。今年度は、ICTを活用した授業の展開ができるよう積極的に取り組んでいる。

# 桜町中学校

〒021-0821  
一関市三関字桜町39-2  
TEL : 23-5249 FAX : 23-8023  
E-mail : ochu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：北村 正俊  
副校長：岡田 幸一  
教職員数：25名  
生徒数：286名 学級数：11



## 沿革

- 昭和26. 11 一関市立桜町中学校創立
34. 4 学区変更により上の橋以北を編入
58. 3 新校舎落成
59. 3 保健体育優良校全国表彰
- 平成 5. 8 新体育館完成
10. 10 第51回全日本合唱コンクール全国大会銅賞
13. 11 創立50周年記念式典
15. 7 岩手県中学校総合体育大会バスケットボール男子優勝
15. 11 第56回全日本合唱コンクール全国大会銅賞
19. 8 全国中学校サッカー大会出場
20. 10 第61回全日本合唱コンクール全国大会金賞
21. 10 第62回全日本合唱コンクール全国大会金賞
21. 11 岩手県教育表彰（音楽活動）
22. 7 岩手県中学校総合体育大会女子ソフトテニス優勝
25. 7 岩手県中学校総合体育大会バスケットボール男子優勝
25. 8 東北中学校体育大会バスケットボール男子準優勝
25. 8 全国中学校バスケットボール大会男子出場（ベスト16）
28. 2 特別教室棟完成
30. 7 岩手県中学校総合体育大会水泳競技女子総合優勝
30. 8 第58回全国中学校水泳競技大会男子400m個人メドレー第8位
- 令和元. 7 岩手県中学校総合体育大会女子バレーボール優勝

## 教育目標

知育・徳育・体育の調和ある発達を図り、心身共に健康で人間性豊かな行動力のある生徒を育成する。

- (1) 思慮深く創造性のある生徒（知育）
- (2) 心豊かで思いやりのある生徒（徳育）
- (3) 健康で明るく気力のある生徒（体育）
- (4) 規律を重んじ協力して実践する生徒（行動力）

## 研究主題

思慮深く創造性のある生徒の育成  
～「主体的・対話的で深い学び」の実践を通して～

## 特色ある教育活動

- 確かな学力をつける学習指導
  - ・ 授業の基本…3分前学習、自治的活動による学習集団づくり、授業改善の推進
  - ・ 家庭学習…平日2時間以上、授業と連動した家庭学習、家庭での生活リズム、宿題と自主学習
  - ・ 各種検定…自己の可能性に挑戦、学習意欲の喚起、個に応じた学習の支援
  - ・ 生活の自律…居間9ルールの徹底、情報モラル教育の推進、家庭との連携
- 豊かな心を育てる活動
  - ・ 爽やかな挨拶…4原則の意識（アイコンタクト、聞こえる声、スマイル、積極的）
  - ・ 思いやりの心…いじめの撲滅、道徳教育の充実、自己肯定感の醸成、互いを認め合う雰囲気、師弟同行の清掃
  - ・ ハーモニーの美…積極的に合唱、学級合唱の日常化、特設合唱部の取り組み
  - ・ 心を耕す読書…月3冊以上、図書館の活用促進、朝読書の取り組み
- 健やかな体を育てる活動
  - ・ 心身の健康…元気に毎日登校、生と性の授業、教育相談の充実、皆勤賞の奨励
  - ・ 生活リズム…7時間睡眠で朝食、毎日の健康観察、規則正しい生活、食育指導
  - ・ 生命の尊重…登下校の無事故、危険箇所の点検、実践的避難訓練の実施
  - ・ 部活動…無断欠席ゼロ、異年齢集団による活動、自主的自治的活動、個性の伸長、学校生活の充実

# 萩 荘 中 学 校

〒021-0902  
 一関市萩荘字境ノ神240  
 T E L : 24-2324 F A X : 24-3294  
 E-mail : hagichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校 長 : 高 原 智 康  
 副 校 長 : 宅 石 茂 樹  
 教職員数 : 18名  
 生 徒 数 : 188名 学級数 : 8



## 沿 革

昭和45. 4 一関市立萩荘第一中学校と同第二中学校が統合し、一関市立萩荘  
 中学校を創立  
 46. 7 新校舎、プール竣工  
 57. 8 奈良県での全国大会に鶏舞出演  
 平成元. 7 岩手県中学校総合体育大会籠球女子5連覇達成  
 12. 11 統合30周年記念式典挙行  
 13. 7 大規模改修工事完成  
 18. 8 岩手県中学校総合体育大会ソフトテニス男子団体・個人優勝、東  
 北中学校ソフトテニス大会男子個人優勝  
 19. 7 岩手県中学校総合体育大会ソフトテニス男子個人優勝  
 20. 7 岩手県中学校総合体育大会ソフトテニス男子個人優勝  
 21. 8 全国中学校ソフトテニス大会男子団体5位  
 21. 9 岩手県中学校英語弁論大会第3位、全国大会に出場  
 23. 3 体育館完成  
 24. 9 平成24年「わたしの主張」一関地区大会最優秀賞  
 25. 3 ソフトテニスコート3面整備  
 26. 11 岩手県新人大会卓球男子団体準優勝  
 27. 7 岩手県中学校総合体育大会卓球男子団体優勝  
 28. 7 岩手県中学校総合体育大会卓球男子団体優勝  
 女子個人優勝、全国大会に出場  
 29. 7 岩手県中学校総合体育大会卓球女子個人3位、全国大会に出場  
 30. 7 岩手県中学校総合体育大会卓球女子団体準優勝  
 8 東北中学校総合体育大会卓球女子個人準優勝、全国大会に出場  
 9 福井国体卓球競技少年女子出場  
 令和元. 11 普通教室他にエアコン設置

## 教育目標

知識を求め、よく考え、他者と協調し、力強く歩む生徒

## 具体目標

明るく 心豊かな生徒 …………… 【誠実】  
 礼儀、あいさつ、思いやり  
 気力に満ち 体力のある生徒 …………… 【健強】  
 好奇心と向学心  
 意欲に燃え 学習にひたむきな生徒 … 【探究】  
 気力、体力、持続力

## 研究主題

主体性を育む学習指導の在り方  
 ～「自分の考えを持ち、深める」場面の工夫を通して～

## 特色ある教育活動

- 郷土芸能伝承活動（鶏舞）  
 郷土芸能委員会を中心に練習や衣装管理を行い、毎年運動会  
 で生徒全員による鶏舞を披露している。
- 親子ふれあい共同奉仕作業  
 毎年春、親子による校地内環境整備作業を行っている。  
 また、秋には親子で資源回収作業に取り組んでいる。
- 地域との連携  
 萩荘野焼きまつりへの参加や老人クラブの方を講師に招いて  
 のしめ縄作りなど、地域との連携に力を入れている。

# 巖 美 中 学 校

〒021-0101  
 一関市巖美町字上ノ台45-1  
 T E L : 29-2016 F A X : 29-3190  
 E-mail : genchu@city.ichinoseki.iwate.jp

校 長 : 千 葉 豪  
 副 校 長 : 佐 藤 浩 之  
 教職員数 : 12名  
 生 徒 数 : 70名 学級数 : 4



## 沿 革

昭和49年 旧巖美・山谷・達古袋の中学校が統合し、  
 新設の巖美中学校として開校、学校給食  
 開始（市内唯一）  
 50年 校章、校歌制定・校旗樹立式  
 58年 統合10周年記念式典挙行  
 平成 5年 統合20周年記念式典挙行  
 8年 新校舎完成・移転完了  
 9年 体育館完成・新校舎落成記念式典  
 15年 学校評議員設置  
 統合30周年記念式典挙行  
 22年 県中文祭鶏舞舞台発表  
 29年 男子卓球全国大会出場  
 30年 旧本寺中学校が巖美中学校に編入統合

## 教育目標

- ・理想に燃え、たくましい生徒
- ・よく学び、よく考える生徒
- ・明るく、心豊かな生徒

## めざす生徒像

理想に燃え、仲間と共に励ましあい、自己を磨く生徒

## 研究主題

学習意欲を高め、基礎・基本の定着を図る学習活動のあり方  
 ～わかる授業作りと学習の基礎・基本を意識した指導を通して～

## 特色ある教育活動

- 心身共に健康な生徒の育成  
 望ましい人間関係、自主的な判断と行動を実践活動を通し育成
- 確かな学力の定着  
 進んで学ぶ意欲を育てる授業の創造
- 復興教育の推進  
 命を大切に生き抜く力、自らの在り方、生き方を考えさせ  
 るための復興教育の推進
- 特別支援教育の推進  
 支援を要する生徒の教育的ニーズを把握し、適切な支援を共  
 通理解のもと行う
- 開かれた学校づくりの推進  
 校報等による情報発信と地域行事への積極的参加

# 舞川中学校

〒021-0221  
一関市舞川字中入92-8  
TEL : 28-2823 FAX : 28-2118  
E-mail : maichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：野原 勝博  
副校長：和賀 達也  
教職員数：13名  
生徒数：42名 学級数：4



## 沿革

昭和22年 4月 1日 舞川村字相川中入110番地、舞川青年学校内に舞川村立舞川中学校を創設  
27年 8月 16日 舞川村字相川中入108番地2に新校舎が完成  
30年 1月 1日 町村合併により一関市立舞川中学校と改称  
53年 9月 17日 本校創立30周年記念式典挙行  
62年 3月 22日 新屋内体育館落成  
平成 8年 9月 4日 プール設置  
9年 11月 30日 創立50周年式典挙行  
15年 2月 職員トイレ簡易水洗化改修  
19年 8月 校舎外壁改修完了、音楽室・美術室・屋根補修  
20年 9月 体育館屋根補修  
21年 9月 音楽室・図書室改修  
22年 3月 配膳室新設、特別支援学級・相談室改修  
23年 4月 図書館・技術室耐震工事完了  
24年 12月 市水道切替工事完了  
25年 3月 校長室・会議室耐震工事完了  
26年 1月 保健室耐震工事完了  
27年 2月 校舎内バリアフリー工事  
29年 11月 19日 創立70周年記念行事開催  
31年 1月 職員室耐震工事終了  
令和元年 12月 空調設備工事完了  
3年 2月 特別教室棟耐震工事完了

## 教育目標

1. 基本目標  
「心豊かで、知性を磨き、たくましい実行力のある生徒」
2. 具体目標  
(1) 豊かな心を持ち、互いに励まし合う生徒  
(2) 深く考え、進んで学習に取り組む生徒  
(3) 心身共に健康で、進んで奉仕する生徒

## 研究主題

1. 研究主題  
主体的に学ぶ生徒の育成
2. 研究内容  
(1) 「学習の心がまえ」・「学習の手引き」の作成と共通理解  
(2) 学習課題の明示と授業の振り返りの工夫  
(3) 授業と家庭学習の連動＝舞タイムの設定

## 特色ある教育活動

1. 愛郷心、思いやりの心の育成
2. 花と緑に包まれた花いっぱい運動の実践
3. 地域にも働き掛ける530（ゴミゼロ）運動の推進
4. 地域体験、郷土に伝わる文化の伝承
5. 勤労、責任、礼儀を学ぶ中でふれあいを深める体験学習

# 花泉中学校

〒029-3105  
一関市花泉町涌津字古川8番地  
TEL : 82-5411 FAX : 36-1072  
E-mail : hanachu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：奥田 昌夫  
副校長：小原 幸尋  
教職員数：26名  
生徒数：305名 学級数：11



## 沿革

平成17年4月1日、花泉南中学校と花泉北中学校が統合し、町内唯一の中学校として開校した。町内6つの小学校（永井、涌津、油島、花泉、老松、金沢）の児童が本校へ進学しており、学校に対する地域住民の関心も高く本校の教育活動への期待が大きい。  
「文武両道・花と歌」を合い言葉に教育活動を展開している。特に合唱活動では合唱部が全日本合唱コンクール東北大会へ6年連続出場するなど実績を重ねており、あいさつ運動と合わせ本校の伝統として脈々と引き継がれている。また、最近では女子卓球団体や剣道女子団体などで東北中総体出場を飾るなど運動部の活動も活発で、これまで多くの部が各種大会で成果を挙げている。特に、平成30年度は、ソフトボール部が東北大会優勝、全国大会に3年連続出場し、第3位という輝かしい成績を残した。

## 学校教育目標

人間性豊かな心を持ち、たくましい実践力のある生徒の育成

1. 自ら考え、進んで学ぶ生徒
2. 礼節を重んじ、勤労と奉仕に励む生徒
3. 心身を鍛え、向上意欲に燃える生徒

## こんな生徒を育てたい

- 基本的な生活習慣が身についている生徒
- 基本的な学習習慣が身についている生徒
- 生活の中に読書の習慣が定着している生徒
- 明るくさわやかに人と関わり合うことのできる生徒
- 目標に向かって努力することができる生徒
- 自他の生命を尊重し、主体的に安全な行動ができる生徒
- 地域への理解を深め、主体的に関わりようとする生徒

## 校内研究

一人一人が自ら学び続ける学習集団づくり  
～基礎・基本を身につける指導の工夫～

## 合い言葉

新学習指導要領への対応 新しい時代の教育

## 重点施策

1. 生徒理解を基にした指導に努める。
2. 自分の考えを相手に伝え、相手の考えをよく聞く指導に努める。
3. いじめや暴力を許さず、さわやかな良い人間関係を築くことのできる生徒を育成する。
4. 安全な学校生活と、自他の生命を守り抜く防災教育・安全教育的充実の充実を努める。
5. 花中生としての誇りを持ち、未来を担う地域の人材としての生徒の育成に努める。
6. 特別支援学級における特性に応じたきめ細かな指導と、通常の学級における特別な支援を要する生徒への支援の在り方を工夫し、教職員間での情報共有と共通実践に努める。
7. 児童福祉関係者と連携会議を年間4回開催し、情報共有に努める。
8. 生徒の主体的な生活設計と実践、家族と共に過ごす時間の確保、教職員のワークライフバランスの保証のための取り組みを行う。  
(部活動休止日、部活動休業日の遵守など)
9. 様々な情報端末の適切な利用について、保護者と連携して指導する。



# 大原中学校

〒029-0711  
一関市大東町字大明神25  
TEL : 72-2239 FAX : 72-3332  
E-mail : oharachu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：伊東 秀敏  
副校長：大和 浩  
教職員数：13名  
生徒数：56名 学級数：4



## 沿革

- 昭22. 4. 1 大原町立大原中学校創立
- 23. 1. 1 内野分校 (1・2年) 開校
- 27. 10. 15 大原中学校本校舎新築完成 (川内)
- 30. 4. 1 大東町立大原中学校に校名変更 (町村合併)
- 44. 4. 1 曾慶中、本校に一部統合
- 46. 4. 1 実質統合、新校舎完成 (上ノ洞)
- 51. 9. 29 岩手県算数・数学教育研究大会
- 平成. 11. 9 岩手県理科教育研究大会
- 5. 4. 1 平成5・6年度中高教育課程研究指定
- 5. 11. 16 教育課程 (進路) 研究公開 (県)
- 9. 9. 29 県教育表彰「はばたき賞」受賞
- 11. 11. 20 統合30周年記念式典
- 13. 6. 20 職場体験推進指定 (文部科学省)
- 15. 11. 21 岩手県道徳教育研究大会
- 17. 1. 1 曾慶地区全域、学区外となる
- 17. 9. 20 一関市立大原中学校に校名変更 (市町村合併)
- 19. 4. 1 前大原商業高等学校校舎に移転 (大明神)
- 23. 3. 11 東日本大震災発生 校舎一部に被害
- 令和. 11. 10 統合50周年記念式典

## 教育目標

人間尊重の精神に支えられた、民主的で創造性豊かな、心身共に健全で意欲的な生徒の育成を期し、「考え、交わり、鍛え合う」生徒を育む。

具体的に

- 1 広く、深く考え (学力)
- 2 固く、親しく交わり (豊かな心)
- 3 強く、逞しく鍛え合う (気力・体力)

## 研究主題

確かな学力を育む指導のあり方

～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを通して～

## 特色ある教育活動

本校の歴史と伝統及び生徒・地域の実態を踏まえ、生徒の「生きる力」を育成し地域を愛し貢献する教育活動の創造に努める。

- ① 「心の通う挨拶 心を磨く清掃 心に響く合唱のできる学校」をめざす。  
「知る・感じる・考える・伝える」活動を進める。  
ア 体験活動…社会体験学習、環境整備作業  
イ 進路学習…親子進路学習会、先輩と語る会、全校進路学習会  
ウ 地域連携活動…地域行事参加、地域団体との協力、ボランティア活動  
エ モジュール戦略…基礎学力の向上
- ② 東日本大震災からの学び  
ア 被災地との関わり…ボランティア活動、いわての復興教育  
イ 防災教育の推進…地域と連携した全校防災学習、緊急集合訓練

# 大東中学校

〒029-0523  
一関市大東町沢沢字上塚ノ沢21-1  
TEL : 75-2227 FAX : 75-2593  
E-mail : daichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：佐々木 晋  
副校長：小野寺 賢嗣  
教職員数：19名  
生徒数：180名 学級数：8



## 沿革

- 昭32. 4. 1 摺沢中・渋民中を統合 大東町立大東中学校開校
- 44. 4 曾慶中、本校に一部統合
- 45. 10 県指定国語教育研究会
- 47～48 文部省指定国語教育研究
- 53. 10 県図書館教育研究大会
- 56. 10 県道徳教育研究大会
- 62. 10 創立30周年記念事業
- 63. 11 県指定特別活動研究公開
- 平4. 10 県図書館教育研究大会
- 5. 11 県性教育研究大会
- 13. 12 新校舎完成
- 15. 6 校庭工事完了
- 15. 10 プール完成
- 15. 11. 22 校舎等落成式
- 17. 1. 1 曾慶全域、本校学区となる
- 17. 9. 20 一関市立大東中学校に校名変更 (市町村合併)
- 19. 11. 11 創立50周年記念事業
- 21. 4 特別支援増強学級開設
- 25. 12 毎日カップ体力づくり全国優良賞
- 26. 4. 1 摺沢中学校を統合
- 26. 8 全国中学校卓球大会徳島大会男子卓球部団体出場
- 27. 11 全日本学校歯科保健優良校文部科学大臣賞受賞
- 28. 8 全国中学校卓球大会富山大会女子卓球部団体出場
- 29. 8 全国中学校卓球大会大分大会女子卓球部団体・個人出場
- 30. 3 全国中学校選抜卓球大会京都大会女子卓球部団体ベスト8
- 30. 8 全国中学校卓球大会広島大会女子卓球部ベスト8
- 令1. 9. 2 普通教室及び一部特別教室へのエアコン設置工事の完了
- 2. 3. 10 大東地域三中学校統合決定

## 教育目標

知・徳・体の調和がとれ、社会の中で逞しくしなやかに生きる生徒の育成

英知 ○自ら意欲的に学習し、知性・能力を高める生徒  
○豊かな創造力と表現力をもち、生活の向上に努める生徒

健体 ○心身ともに健康で、体力・気力の充実した生徒  
○生命を大切に、健全な言動に努める生徒

鉄志 ○強い意志と逞しい実践力をもち、継続してやり抜く生徒  
○将来の希望・目標をもち、自ら進路を切り拓く生徒

玉情 ○人間・自然・文化を愛し、心豊かな生活を創る生徒  
○お互いのよさを認め合い、向上し合う人間関係を築く生徒

## 研究主題

- (1) 研究主題  
『確かな学力を育成するための学習指導のあり方』  
～自立的な学習をひきだす手立ての工夫～

- (2) 研究の内容
  - ① 授業改善
  - ② 短期シラバスの活用
  - ③ 学年の特性を考慮した取り組み
  - ④ 自己マネジメント
  - ⑤ 各種調査結果を活用した教育実践

## 特色ある教育活動

1. 生徒同士の望ましい人間関係づくりを図るとともに、集団の一員としての自覚と自己肯定感・自己有用感並びに成就感を育むために、節目となる行事を中核に据えた6期による教育活動を展開する。  
(テーマ) 年間テーマ「限りなき挑戦」
 

第1期	新しい出発	第4期	連帯の喜び
第2期	目標への挑戦	第5期	自己実現への飛躍
第3期	自律の生活	第6期	誇りある大東中
2. 体験学習の充実  
社会体験学習 (大東地域内で) 校外体験学習
3. 活発な生徒会活動
  - (1) 集団規律の高揚
  - (2) 委員会活動による生活の質の向上
  - (3) ボランティア、福祉・奉仕活動、学区内の地域行事への参加・協力

# 興田中学校

〒029-0602  
 一関市大東町鳥海字小山14-5  
 TEL : 74-2018 FAX : 74-3424  
 E-mail : okichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：山蔭 深思  
 副校長：高橋 茂  
 教職員数：14名  
 生徒数：54名 学級数：5



## 沿革

- 昭22. 4 興田村立興田中学校創立  
 (中川、天狗田、丑石の3分室を設置)
- 22. 5 興田村立興田中学校開校式
- 30. 4 大東町立興田中学校と改称
- 51. 7 新校舎(現校舎)落成
- 55. 8 県中バレーボール男子優勝、全国大会出場
- 平元. 7 県中野球準優勝
- 17. 9 一関市立興田中学校と改称
- 19. 4 読書活動優秀実践校「文科大臣表彰」
- 23. 3 第60回全国中学校新聞コンクール  
 「新聞教育研究協議会賞」2年連続受賞
- 25. 7 NHK放送コンテスト県大会最優秀賞
- 26. 9 県中文祭標語の部最優秀賞
- 27. 7 県中卓球男子団体準優勝、東北大会出場
- 31. 1 「ごはん・お米とわたし」図画コンクール  
 学校奨励賞 文部科学大臣賞
- 令 2. 11 一関地方中学校総合文化祭スローガン、ポスター  
 最優秀賞

## 教育目標

豊かな人間性と進取の気性をもち、主体的に社会の発展に寄与する「生きる力」を身につけた生徒の育成

### めざす生徒像

- ① 主体的に学び、深く考える生徒
- ② 思いやりをもち、互いに認め合える生徒
- ③ 自らを鍛え、健康でたくましい生徒

## 研究主題

主体的・対話的に学び合う学習集団の育成  
 ～聞く・書く・話す活動を通して～

## 特色ある教育活動

- ①について
  - ・「できるようにになりたい。分かるようにになりたい。認められたい。」という生徒の願いに応える教育の推進
  - ・授業と日常生活両面からの学習習慣形成  
 (「1020運動」ノーマディアの取り組み)
  - ・各種検定の奨励
  - ・読書活動と「なたもだ作文」を両輪とした表現力の育成
- ②について
  - ・「居場所づくり」「絆づくり」の推進
  - ・生徒指導の三機能を生かした教育環境の形成
  - ・教育相談・個別面談による支援
  - ・小中連携及び各種ボランティアの実施
- ③について
  - ・生徒が安全にのびのびと活動できる環境づくり
  - ・部活動、特設陸上部の積極的な活動の推進
  - ・体力向上のための「自主トレ」の勧め
  - ・地域・家庭・小学校と連携した健康づくり

# 千厩中学校

〒029-0803  
 一関市千厩町千厩字上駒場195-5  
 TEL : 53-2146 FAX : 53-2301  
 E-mail : senchu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：箱山 智美  
 副校長：林 哲也  
 教職員数：24名  
 生徒数：263名 学級数：12



## 沿革

- 平成12年 4月 統合千厩中学校開校
- 8月 ソフトボール部県大会、東北大会優勝 全国大会出場
- 14年11月 校舎等落成式
- 15年4月 学力向上フロンティアスクール県指定(2年間)
- 16年4月 少年数学級指定
- 8月 ソフトボール部県大会、東北大会優勝 全国大会出場
- 17年 3月 校舎南側校庭整備
- 9月 新市誕生、一関市立千厩中学校に改名
- 18年4月 数学教科研究・市教委指定
- 19年8月 ソフトボール部県大会優勝 全国大会出場
- 21年4月 岩手県立清明支援学校千厩分教室設置
- 22年4月 教育課程一般市教委指定(2年間)
- 23年10月 学校公開研究会(教育課程一般)
- 24年7月 通信陸上県大会 低学年女子4×100mリレー1位
- 25年8月 太陽光発電パネル工事着工(26年2月稼働)
- 26年8月 ソフトボール・バドミントン男子ダブルス県大会優勝  
 東北大会出場
- 26年9月 県新聞教育研究大会
- 27年7月 ソフトボール部県大会優勝
- 28年11月 県新人大会男子バドミントン部優勝
- 29年7月 バドミントン部県中学校総合体育大会 男子団体優勝
- 11月 バドミントン部県新人大会 男子団体・シングルス・ダブルス優勝
- 30年7月 バドミントン部県大会 男子シングルス優勝
- 令和元年10月 エアコン設置完了
- 野球部県新人大会 優勝
- 創立20周年記念生徒会歌「開歌」制定

## 教育目標

東山の雄としての誇りをもち、豊かな人間性に支えられた、よりよい中学校生活を目指し、知恵と心と体を鍛える生徒を育成する。

## 研究主題

自ら考え、主体的に判断し、表現できる生徒の育成  
 ～学習活動における「場の設定」を通して～

## 特色ある教育活動

- 千厩中学校まなびフェスト  
 (次代を担う千中生の『生きる力』を育みます)
- 《知》確かな学力の定着
  - ①授業が「よくわかる」&「どちらかといえばよくわかる」とする段階の生徒の割合を80%以上にします。
  - ②家庭学習の習慣を定着させます。  
 (1・2年60分以上の生徒の割合：75%以上、3年120分以上の生徒の割合：60%以上)
- 《心》豊かな人間性の育成
  - ③その場に応じた挨拶や返事ができるようにします。
  - ④朝読書等により読書の習慣づけを図り、1年間に一人8冊以上の本を読む生徒の割合を60%以上にします。
  - ⑤清掃活動やボランティア活動など心を磨く活動に積極的に取り組みます。
- 《体》健やかな心身の育成
  - ⑥体力向上に努め、新体カテストで「A・B・C」の段階の生徒の割合を80%以上にします。
  - ⑦健康に関する学習を積極的に行い、自分の健康への意識を高めます。  
 (食育指導、薬物乱用防止講演会、各種保健行事、学級指導、個別指導等)
  - ⑧治療勧告生徒の受診治療率を60%以上にします。
- 地域に開かれた学校
  - ⑨学校の情報を積極的に発信するとともに、保護者や地域からの情報や声を積極的に収集し、教育活動の改善に努めます。
  - ⑩地域行事に積極的に協力します。



<h1>東山中学校</h1>	〒029-0302 一関市東山町長坂字北山谷46 T E L : 47-2108 F A X : 47-3956 E-mail : higachu@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：佐藤 勉 副校長：菅原文江 教職員数：15名 生徒数：128名 学級数：7
----------------	---	---



### 沿革

- 昭43. 4 長坂、田河津、松川の三中学校を統合（名目）し、東山中学校創立
- 44. 12 校歌制定（鈴木林蔵氏作詞、作曲）
- 45. 4 実質統合東山中学校発足 生徒数626名
- 48. 10 県「道徳」講習会公開研究会開催
- 49. 10 県「理科」公開研究会開催
- 53. 10 文部省指定「生徒指導」公開研究会開催
- 55. 10 文部省指定「道徳」公開研究会開催
- 平 2. 11 県指定「教育課程」公開研究会開催
- 9. 11 創立30周年記念式典挙行
- 17. 9 一関市との合併により一関市立東山中学校となる
- 21. 3 第一体育館及びクラブハウス改築工事完了
- 24. 11 仮設校舎竣工
- 25. 3 教室棟解体
- 26. 3 新校舎完成
- 27. 9 大規模改修等工事完了
- 29. 10 創立50周年記念式典挙行
- 30. 11 一関市教委指定「教育課程」学校公開研究会開催

### 教育目標

- (1) 確かめる学習 「知育」
- (2) 豊かな心 「徳育」
- (3) 逞しい体 「体育」
- (4) 節度ある生活 「規律」

本年度教育活動上の重点（東山中学校グランドデザイン）  
「相手に伝わる」あいさつ・話し方

### 研究主題

「自分の思いや考えを豊かに表現できる生徒の育成」  
～話し合い活動を通して～

### 特色ある教育活動

1. 読書活動の推進
  - ・全校朝の10分間読書の実施
2. ボランティア活動の推進
  - ・全校生徒による通学路美化、清掃活動
  - ・生徒会主催による資源回収を、PTAとの連携のもとに実施
  - ・生徒会が中心となった社会福祉施設との交流活動
  - ・年間を通じた書き損じはがきの回収
3. 地域行事への生徒の積極的な参加
  - ・毎年開催の「唐梅館絵巻」祭に3年生が参加
  - ・各地区町民運動会に補助員として参加
4. 総合的な学習における地域学習
  - ・1学年「東山を知る」～調査、研究活動
  - ・2学年「生き方を学ぶ」～地域内社会体験学習
  - ・3学年「生き方を考える」～課題研究と提言

<h1>室根中学校</h1>	〒029-1202 一関市室根町矢越字五反田73-1 T E L : 64-2131 F A X : 64-3934 E-mail : murochu@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：加藤 建一 副校長：那須 聡 教職員数：13名 生徒数：97名 学級数：5
----------------	---	---



### 沿革

- 昭46. 4. 1 統合室根中学校創立
- 48. 1. 30 新校舎落成
- 48. 4. 1 実質統合中学校として発足
- 48. 8. 13 屋内体育館完成
- 57. 11. 28 統合10周年記念式典
- 58. 1. 12 柔剣道場完成
- 平 4. 12. 5 統合20周年記念式典
- 9. 10. 24 文部省指定生徒指導総合推進校学校公開クラブハウス完成
- 10. 11. 30 統合30周年記念式典
- 14. 11. 30 統合30周年記念式典
- 17. 9. 20 一関市立室根中学校改称
- 17. 12. 18 全国中学校駅伝大会出場（男子）
- 19. 12. 9 岩手県学校歯科保健最優秀校受賞
- 21. 11. 16 校舎耐震補強（建築）工事竣工
- 25. 4. 21 盛岡一周継走大会優勝（女子）
- 25. 10. 10 一関市教育委員会指定学校公開
- 27. 10. 4 東北PTA連絡協議会長表彰受賞

### 教育目標

- 心身共に健康で、自ら行動できる人間性豊かな生徒の育成  
(生きる力)
- (1) 意欲をもち、主体的に学ぶ生徒 (確かな学力)
  - (2) 心豊かで、思いやりのある生徒 (豊かな人間性)
  - (3) 体を鍛え、最後までやり抜く生徒 (健康・体力)

### 研究主題

自ら学ぶことの楽しさを実感できる生徒の育成  
～生徒が主体的に関わりながら学ぶ学習活動を通して～

### 特色ある教育活動

- (1) 学力向上を目指し、生徒個々の能力の伸長を図る学習の展開
- (2) 信頼を深め、心の豊かさを育てる生徒指導
  - ・生徒理解に努め、温かい人間関係の基に展開される生徒指導
  - ・挨拶・歌声の響く学校、美しい学校を目指し、充実感・存在感がもてる活動の展開（合唱集会、生徒集会、花壇整備）
- (3) 自主的・積極的に実践する態度を育てる特別活動
  - ・喜び・充実感を味わえる2大行事（体育祭、文化祭）の実施
  - ・自主性を育て、連帯感を高める宿泊研修の実施（1、2年）
  - ・生き方指導に根差した進路指導の充実（3年生：上級学校説明会）

# 川崎中学校

〒029-0202  
一関市川崎町薄衣字上段1  
TEL : 43-3115 FAX : 43-3608  
E-mail : kawachu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：及川 公子  
副校長：楠 美 富 栄  
教職員数：14名  
生徒数：57名 学級数：5



## 沿革

- 昭22. 4. 1 薄衣村立薄衣中学校、門崎村立門崎中学校開校
- 37. 4. 1 両校統合し、川崎村立川崎中学校と改称
- 40. 4. 1 川崎村立川崎中学校校舎落成
- 41. 2. 1 川崎中学校校歌制定
- 平 3. 10. 16 文部省指定 武道指導推進校学校公開
- 8. 11. 1 文部省指定 道徳教育推進校道徳教育研究発表会
- 9. 6. 18 環境省水質保全局 水環境賞受賞
- 14. 10. 25 創立40周年記念式典開催
- 15. 4. 1 岩手県内初の二学期制開始
- 17. 1. 13 岩手県学校歯科保健最優秀校受賞
- 17. 9. 20 市町村合併により一関市立川崎中学校と改称
- 21. 1. 27 新グラウンド完成
- 21. 4. 23～県内初の沖縄学習旅行
- 23. 11. 9 新校舎落成
- 24. 3. 9 新体育館落成
- 24. 11. 10 落成式・創立50周年記念事業開催
- 25. 3. 22 外構工事完了
- 27. 11. 6 一関市教育委員会指定学校公開研究会開催
- 30. 10. 19 「社会を明るくする運動」法務大臣表彰

## 教育目標

豊かな心と進んで学ぶ心を持ち、明るく逞しく生きる生徒の育成

よく学びとる生徒 (知)  
よく思いやる生徒 (徳)  
よく鍛えみがく生徒(体)

か…賢く  
わ…和・輪を大切に  
さ…最高を目指す  
き…規律ある楽しい学校

## 今年度の重点

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 読書活動の推進
- (3) 豊かな心の育成
- (4) 健やかな心身の育成
- (5) 特別支援教育の充実
- (6) 積極的な生徒指導の推進
- (7) キャリア教育の充実
- (8) いわたの復興教育の充実
- (9) 家庭・地域・小学校との連携の推進
- (10) 働き方改革の推進

## 研究主題

意欲的・主体的に学習に取り組む生徒の育成  
～考えを交流する活動の工夫～

## 特色ある教育活動

- ① 家庭や地域と連携・協働した教育活動の展開
  - ・防災センターとの協働によるEポート大会への出場
  - ・子ども会育成会連合会との連携によるボランティア活動など、地域の様々なボランティア活動への積極的参加
  - ・消防署や防災センターと連携した防災教育
  - ・保育園・小学校と連携したノーマディアデーの実施
  - ・図書館と連携した読書活動の推進
- ② 将来を見つめ自己の生き方を考えるキャリア教育の実践
  - ・縦割り班での活動によるコミュニケーション力の育成
  - ・上級学校見学や職場体験を通した人生設計のイメージ化
  - ・合唱、挨拶、清掃など生徒会活動による主体的な生活態度の育成
  - ・校内の温かい人間関係づくりと失敗を恐れない意識の醸成

# 藤沢中学校

〒 029-3405  
一関市藤沢町藤沢字狩野40-3  
TEL : 63-2323 FAX : 63-2611  
E-mail : fujichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：菅 野 美保子  
副校長：川 崎 茂 樹  
教職員数：18名  
生徒数：154名 学級数：9



## 沿革

- 平16. 4. 1 旧藤沢・黄海の2中学校が統合し、藤沢町立藤沢中学校創立
- 11. 8 技術棟改修工事完了
- 20. 8. 3 校舎移転  
仁郷から藤沢字狩野40-3への校舎移転
- 23. 9. 26 合併により一関市立藤沢中学校となる
- 24. 3. 7 東日本大震災災害復旧工事完了
- 25. 7. 10 創立10周年記念講演会実施
- 26. 8. 18 屋内運動場耐震改修工事完成
- 30. 4. 1 難聴学級新設
- 令 2. 4. 1 一関市教育委員会研究指定（教育課程一般）
- 2. 4. 30 屋外トイレ完成

## 教育目標

人間尊重の精神に徹し、豊かな人間性と創造性に富み、最後までやりとげるたくましい生徒を育成する。

	東皐の書より	目指す生徒像
知育	為己…己のために為す	学習に意欲的に取り組み自己実現を図る生徒
徳育	遂志…志を遂げる	目標を持って努力する生徒
体育	躍清…清々しく躍る	心豊かでたくましい生徒

## 研究主題

主体的に学習に取り組む生徒の育成  
一単元を見通し、振り返りから組み立てる授業実践を通して一

## 特色ある教育活動

- (1) まなびフェスの取り組みを通して、「知・徳・体」の調和のとれた生徒の育成、「生きる力」を育む教育課程の展開を図る。
- (2) 教職員が課題意識を持ち、連携して学校力向上（生徒の力をつける指導）を図る。
- (3) 家庭・地域と連携し、協力を得ながら相互交流の指導を行う。
  - ・野焼祭への参加（作品制作、セレモニーへの参加）
  - ・オーストラリア・セントラルハイランズ市やベトナム・ホーチミン市の高校生・大学生との交流

<b>県立</b> <b>一関第一高等学校附属中学校</b> URL: <a href="http://www2.iwate-ed.jp/ic1-h/index.html">http://www2.iwate-ed.jp/ic1-h/index.html</a>	〒021-0894 一関市磐井町9-1 TEL: 23-4411 FAX: 23-4413 E-mail: ic-h@iwate-ed.jp	校長: 里 館 文 彦 副校長: 安 部 広 一 教職員数: 21名 生徒数: 220名 学級数: 6
---	---	--



### 沿革

平成21年4月1日 岩手県立一関第一高等学校附属中学校創立  
 21年4月7日 開校式、入学式  
 21年4月25日 P T A 結成総会  
 24年3月18日 第1回卒業式

### 教育理念

中高一貫教育のもと、特色ある教育活動を展開し、豊かな人間性と高い知性を合わせ持ち、社会の進歩と発展に貢献する次世代のリーダーを育成する。

### 教育目標

- (1) 自主自立と進取の気概を持ち、高い志を掲げて可能性に挑戦する生徒の育成
- (2) 主体的に学ぶ意欲と高い知性を持ち、未来を切り拓いて社会に貢献する生徒の育成
- (3) 心身ともに健康で、自他を尊重する姿勢と豊かな感性を持つ生徒の育成

### 特色ある教育活動

- (1) 主体的、対話的で深い学びの充実と学力向上
  - ・他者との協働による学習活動の充実
  - ・モジュールによる「国語・数学・英語」の時数増
  - ・レポート作成やプレゼンテーション等の学習活動の充実
  - ・SSH指定校としての探求的な学習(中3と高1合同)
- (2) 「高志タイム」を中心としたキャリア教育の充実
  - ・「職業や自分の将来に関する課題」、「学校の特色に応じた課題」、「生徒の興味・関心に基づく課題」について探究的な学習を展開
- (3) 中高一貫校としてのメリットを生かした取り組み
  - ・高校生や大学生から学ぶ機会の設定
  - ・高校進路課との連携
  - ・体育祭、文化祭の中高合同実施
- (4) 生徒一人ひとりに寄り添う生徒指導の充実
  - ・全生徒を対象に年間4回以上の教育相談を実施
  - ・アンケート調査等による諸問題の早期発見
  - ・保護者との希望面談、三者面談の実施
- (5) 品格と活力のある学校づくり
  - ・中学生段階で身につけさせたい生活習慣の徹底
  - ・「附中三氣」を意識した学校生活
  - ・生徒会活動や部活動を自主的、自発的な活動として支援

## (3) 高等学校

<b>県立</b> <b>一関第一高等学校</b> URL: <a href="http://www2.iwate-ed.jp/ic1-h/">http://www2.iwate-ed.jp/ic1-h/</a>	〒021-0894 一関市磐井町9-1 TEL: 23-4311 FAX: 23-4661	校長: 里 館 文 彦 (全日制) 副校長: 小野寺 顕 悟 (全日制) 佐藤 宜 昌 (定時制) 教職員数: 全日制 46名 定時制 8名 職員数: 58名 生徒数: 全日制634名 定時制20名 学級数: 全日制 16 定時制 4
--	---	---



### 沿革

本校は、明治31(西暦1898)年に岩手県一関尋常中学校として創設された。現在の校名に改称され、定時制課程が併設されたのは昭和23年であった。昭和25年には商業科が設置されたが、47年に同科の募集は停止となり、新たに理数科が設置され現在に至っている。

平成16年には、選抜高等学校野球大会で「21世紀枠」に選ばれ、49年ぶりに甲子園大会出場を果たした。

平成19年には県内に誇る最新式設備を備えた新校舎が完成した。

また、平成21年には、県内初の併設型中高一貫校となり、同じ敷地内で高校生と中学生がともに学んでいる。

### 教育目標

1. 自主自立と進取の気概を持ち、高い志を掲げて可能性に挑戦する生徒の育成
2. 主体的に学ぶ意欲と高い知性を持ち、未来を切り拓いて社会に貢献する生徒の育成
3. 心身ともに健康で、自他を尊重する姿勢と豊かな感性を持つ生徒の育成

### 特色ある教育活動

- (全日制)
1. 1年生は普通・理数科として募集しているが、2年生からは生徒の多様な進路に対応するため、2つの学科(普通科・理数科)と、普通科の中に3つのコース制(文Ⅰ・文Ⅱ・理系)を設けている。
  2. 「文武両道」を具現化するため、50分7校時授業を実施し、授業時間の確保と、部活動・委員会活動等の充実を図っている。また、生徒会主催の行事についても、多様な行事を企画・実施している。
  3. SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)に指定され、国際科学技術関係のな人材の育成に取り組んでいる。
- (定時制)
1. 『生きる力』を育むため、「総合的な探究の時間」に学校と地域社会を結ぶ様々な体験学習を年10回程度実施している。
  2. 45分授業を実施し、放課後に「バドミントン」等の部活動を実施している。



<b>県立</b> <b>一関第二高等学校</b> URL: <a href="http://www2.iwate-ed.jp/ic2-h/">http://www2.iwate-ed.jp/ic2-h/</a>	〒021-0041 一関市赤荻字野中23-1 TEL: 25-2241 FAX: 25-5432	校長: 高橋正勝 副校長: 千葉美春 教職員数: 57名 生徒数: 593名 学級数: 15
--	--	---



### 沿革

明治40年5月、郡立西磐井女子職業学校として創立。その後大正8年に県に移管され、一関実科高等女学校となり、その後一関高等女学校と改称される。昭和23年には一関第二高等学校となり普通科、農業科、土木科の学科を持つ総合高校として男女共学でスタート。昭和43年に農業科、生活科が一関農業高等学校として分離独立。さらに昭和53年には土木科が分離し、一関工業高校へ移管になる。

平成2年になり福祉教養科が新設される。平成16年に旧一関農業高校と統合し、総合学科が新設され、総合学科高校として新一関第二高校が開校する。平成29年に創立110周年を迎えた。

### 教育目標

真理と正義を愛し、自主的精神と強い意志を持ち、豊かな創造力に富む人間の育成をめざす。

- (1) 個性の尊重と調和  
心身の健全な発達をはかり、個性を磨くとともに、社会の一員として調和のとれたたくましい人間を育成する。
- (2) 自主と自立  
主体的、意欲的に学習する態度を身につけ、真理を探究し、社会に貢献できる人間を育成する。
- (3) 豊かな感性と創造力  
豊かな感性と創造力に富んだ、意欲あふれる人間を育成する。

### 特色ある教育活動

- (1) 学習活動  
総合学科高校として18年目を迎えて、より一層進路に応じた各系列の整備を推進し、多様な進路目標の実現を可能にする学習活動を展開。また、旧農業高校の流れを汲んだ「収穫祭」等の行事や福祉教養化の流れを汲んだ「施設学習」も学習活動の一環として継続している。
- (2) 多彩な学校行事  
クラスマッチや二高祭、関西方面への修学旅行と多彩。また卒業式における全校生徒による「第九」合唱は、合唱の町「一関」を象徴する伝統として継承されている。
- (3) 盛んな部活動  
フェンシング部・陸上競技部・サッカー部・卓球部をはじめ活発な運動部、音楽部・吹奏楽部・理科研究部・太鼓道場部等実力のある文化部、ともに活動が盛んである。

<b>県立</b> <b>一関工業高等学校</b> URL: <a href="http://www2.iwate-ed.jp/ict-h/">http://www2.iwate-ed.jp/ict-h/</a>	〒021-0902 一関市萩荘字釜ヶ淵50 TEL: 24-2331 FAX: 24-4540 E-mail: ict-h@iwate-ed.jp	校長: 佐々木直美 副校長: 及川秀明 教職員数: 51名 生徒数: 347名 学級数: 10
--	--	--



### 沿革

昭和34年、一関市立工業高等学校として電気科と電気通信科の2学科で開校、昭和49年には岩手県立一関工業高等学校となり、昭和53年には一関第二高等学校から土木科が移管、昭和62年には電子機械科が設置され、電気科・電子科・電子機械科・土木科の4学科となり、令和2年度には電気電子科・電子機械科・土木科の3学科の工業高校として現在に至っている。

同窓生は9千人を超え、両磐地区は及ばず広く県内外に有為の人材を輩出し、まさに工業立国日本を支えてきた学校である。

### 教育目標

スペシャリストとしての基礎力(学力・人間力)を充実させる。生徒の「知・徳・体」をバランスよく育み、将来、社会人としてたくましく生きていくことができる総合的な人間力を育成する。

- (1) 自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力。
- (2) 自らを律しつつ、他人と強調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性。
- (3) たくましく生きるための健康・体力。

### 特色ある教育活動

専門を生かした地元企業への就職をはじめ、県外大手企業、国家・地方公務員、四年制大学を始めとする上級学校への進学など、「高い学力を誇る工業高校」として県内のみならず全国的にも知られている。昨今、「有能なものづくり人材の育成」が求められている中、これに応えるべく、産・学・官の連携によるものづくり教育を推進し、技能士などの資格取得へ向けた取り組みを強化している。具体的には、アイデア・ロボットの製作、ものづくりコンテスト、いわて車いすフレンズ(車椅子を修理して海外に贈る)、保育園でのボランティア(園庭づくり、玩具づくり)など、専門を生かした幅広い活動を行い、一関市社会福祉協議会のボランティア指定も受けている。

<b>県立</b> <b>花泉高等学校</b> URL: <a href="http://www2.iwate-ed.jp/han-h/">http://www2.iwate-ed.jp/han-h/</a>	〒029-3101 一関市花泉町花泉字林の沢17-9 TEL: 82-3363 FAX: 82-5448	校長: 嶋 隆 副校長: 及川 玲一郎 教職員数: 17名 生徒数: 106名 学級数: 6
--	--	---



**沿革**

- 昭和23年 県立一関第一高等学校定時制課程普通科  
流れ分校発足
- 24年 県立花泉高等学校となる。開校式
- 26年 校舎落成記念式典
- 47年 商業科新設
- 51年 新体育館竣工
- 52年 創立30周年記念式典
- 62年 創立40周年記念式典・第二校舎落成
- 平成元年 情報処理科新設
- 9年 創立50周年記念式典
- 12年 セミナーハウス竣工
- 18年 商業科閉科
- 19年 創立60周年記念式典
- 29年 創立70周年記念式典

**教育目標**

1. 幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を育成する。
2. 豊かな情操と道徳心を養うとともに、心身ともに調和のとれた人間を育成する。
3. 勤労を重んじ、主体的に社会に寄与する人間を育成する。
4. 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する人間を育成する。

**目指す学校像**

1. 学力向上に向けて積極的に努力する学校
2. 規律ある生活態度、責任感と品位を重んじる学校
3. 生徒の個性を尊重し、生徒の社会性の育成と多様な進路希望を実現できる学校
4. 生徒の安全安心を確保し、保護者や地域から信頼される学校

**特色ある教育活動**

1. 各学年1学級の募集定員であるが、一人ひとりに手をかけ、目をかけ、丁寧に指導を行うために各学年2学級の編成にしている。数学・英語では習熟度による授業を行ったり、学校設定科目「ベーシック」では進路別に細やかな指導を行ったりと、生徒の学力向上に成果をあげている。
2. 「地域に根ざし、地域を支える存在」として、PTAや地域と連携し様々な行事に参加したり、ボランティア活動に積極的に参加したり、生徒はいきいきと活動している。地域の方々を講師に「地域学」を開講し、新たな発見と郷土愛を膨らませている。
3. 進路においては就職希望者内定率100%達成はもとより、進学面でも3年連続で国公立大学合格者を出すなど、充実した成果をあげている。一人一人の個性を生かし、能力を伸ばす教育を目指し、生徒自らが考え行動する機会をさらに増やして、昨年を上回る活動や実績を目指していく。

<b>県立</b> <b>大東高等学校</b> URL: <a href="http://www2.iwate-ed.jp/dai-h/">http://www2.iwate-ed.jp/dai-h/</a>	〒029-0523 一関市大東町摺沢字堀河ノ沢34-4 TEL: 75-3369 FAX: 75-3117	校長: 鈴木 尚賢 副校長: 千葉 賢 教職員数: 34名 生徒数: 223名 学級数: 9
--	---	---



**沿革**

- 大正15年 私立摺沢家政女学校として設立
- 昭和23年 組合立摺沢高等学校と改称
- 39年 県立移管、岩手県立摺沢高等学校となる  
定時制課程大原分校(夜間制普通科)設置  
岩手県立大東高等学校(全日制課程・普通)と改称
- 48年 大原分校(全日制課程・商業科)と改称  
大原分校が岩手県立大原商業高等学校として開校
- 平成10年 大原商業高校創立50周年記念式典挙行
- 18年 大東高校および大原商業高校の統合により  
新岩手県立大東高等学校開校
- 18年 新岩手県立大東高等学校開校
- 27年 大東高校創立90周年記念式典挙行

**目指す学校像**

1. 本校での教育・諸活動を通じて、生徒を大人として成熟させる学校
2. 自己実現に向けて常に可能性に挑戦し、生徒が切磋琢磨する学校
3. 復興・防災教育に取り組み、持続可能な社会を担う人材を育成する学校
4. 地域に発信し、地域から信頼される学校

**特色ある教育活動**

1. 普通科6学級、情報ビジネス科3学級の計9学級の編成となっています。本校教育活動の最大の特徴は、生徒一人ひとりの多様な進路目標実現にきめ細かに対応出来る体制を堅持していることです。また、地区で唯一の商業科を有する高校でもあります。
2. 「文武両道」を目標として日々切磋琢磨し、進路実績では昨年岩手大学等の国公立大学をはじめ、私立大学、短大、専修学校等へ61名が進学を果たしています。また、就職では希望者37名全員が、公務員はじめ県内大手企業の製造・販売等多岐にわたって就職しています。部活動は、運動部では弓道部等が東北大会に、文化部では、鹿踊部・ワープロ部が全国大会出場するなど、各々がめざましい活躍を続けています。鹿踊部は地元の多くのイベントに参加するなど、地域に密着した活動をしています。
3. 模擬株式会社「DjoB」を立ち上げ、地元企業と連携し、様々なイベントへの参加や企画の提案、ボランティア活動の推進をしています。また、岩手県の「高校の魅力化促進事業指定校」、一関市社会福祉協議会の「ボランティア協力校」として、地域との協働に積極的に取り組んでいます。



<b>県立</b> <b>千厩高等学校</b> URL:http://www2.iwate-ed.jp/sen-h/	〒029-0803 一関市千厩町千厩字石堂45-2 TEL: 53-2091 FAX: 52-3170 E-mail: DB0069@pref.iwate.jp	校長: 松場 喜美夫 副校長: 村山 薫 美 教職員数: 55名 生徒数: 473名 学級数: 15
--	---	---



### 沿革

明治35年、県南の千厩の地に県下2番目の農学校(蚕業学校)として開校し、今年で創立119年を迎える伝統校です。

昭和49年の普通科独立を契機に、千厩高校と千厩農業高校に分離。その後、千厩農業高校に工業系学科である産業技術科が設置され、校名を千厩東高校に改めました。

平成14年、県の新高校再編計画に伴い、千厩高校と千厩東高校が統合し、県内唯一の普通科に専門学科2つを併置する高校としてスタートしました。さらに、平成20年度には藤沢高校と完全統合し、地域に根ざした学校として有為な人材の育成に力を入れています。

### 教育目標

自主・自律の精神に富み、生涯にわたり学ぶ意欲と国際的視野を持った心身ともに健康でたくましい人間を育成する。

### めざす学校像

- (1) 生徒一人ひとりが学習や部活動に主体的に取り組むことができる学校を目指します。
- (2) 普通科・生産技術科・産業技術科の特長を活かした学校を目指します。
- (3) 生徒・保護者・地域から信頼される学校を目指します。

### 特色ある教育活動

- (1) 普通科3クラス、生産技術科(農業系)1クラス、産業技術科(工業系)1クラスの5学級編成です。2年次からは、普通科が文系と理系に、生産技術科が農業を主とする生産科学コースと、家庭・福祉を主とする生活科学コースに分かれます。産業技術科は、機械・電気・電子を総合的に学習します。
- (2) 「質実剛健」、「文武両道」の校訓のもと、学習と部活動に真剣に取り組む、毎年着実に成果をあげています。国公立大学希望者等の進学率も高く、就職内定率も毎年100%です。  
部活動では、ソフトボール部・ボクシング部・陸上部・弓道部・箏曲部・演劇部などが東北大会や全国大会に出場しています。
- (3) 地域に根ざした学校です。千厩地区のひな祭りでの箏曲部の演奏会や茶道部のお茶会、京津畑まつりでのボランティア、開発、町内の老人ホームを訪問してミニコンサートを行う「クリスマス企画」など、多くの方々と異世代交流を深めています。

<b>学校法人一関学院</b> <b>一関学院高等学校</b> URL:http://www.ichinoseki-gakuin.jp	〒021-0871 一関市八幡町5-24 TEL: 23-4240 FAX: 23-4245 E-mail: info@ichinoseki-gakuin.jp	校長: 佐伯 幸雄 副校長: 小野寺啓一・藤田一彦 教職員数: 35名 全日制生徒数: 372名 学級数: 13 通信制生徒数: 113名 学級数: 4
---	---	--



### 沿革

- 昭和13年 一関夜間中学校創立・初代校長 芳川顕雄
- 16年 一関商業学校認可
- 23年 財団法人君子県開城高等学校と改称認可
- 26年 学校法人一関学院と改称
- 34年 開城高等学校(夜間)、一関商業高等学校(昼間)と改称
- 一関商業高等学校に電気通信科を併設、夜間部を開城工業高等学校と改称
- 38年 一関商業高等学校、開城工業高等学校を統合し、一関商業高等学校と改称
- 57年 コンピュータによる授業開始
- 59年 第2校舎落成式
- 62年 情報処理科を新設
- 63年 創立50周年式典・森林公園グラウンド完成・制度を改定
- 平成 5年 情報ビジネス科を新設(商業科を募集停止)
- 6年 管理棟増築完成
- 11年 別科洋裁科新設
- 12年 実習棟増築完成
- 13年 一関学院高等学校と改称
- 15年 通信制課程新設、電子科廃止
- 16年 別科洋裁科廃止
- 19年 情報処理科生徒募集停止、制服改定
- 20年 創立70周年記念式典
- 21年 情報処理科廃止
- 25年 第3校舎建替
- 30年 創立80周年記念式典

### 教育目標

(本校の教育理念)  
文武両道において全国レベルで活躍し、東北の私学の雄として地域に貢献できる人材育成を目指す。

(校訓) 勤労 [diligence] 敬愛 [reverence] 協調 [harmony]

(教育目標)

- (1) 個性豊かで知性に満ちた人間を育成する
- (2) スポーツ、文化活動を通じ、心身ともに健康な人間を育成する
- (3) 勤労の精神を体得し、活動的人間を育成する
- (4) 社会に貢献する有能な人材を育成する

(本校の目指す生徒像)

- (1) 明るく挨拶を交わし、時間を守る生徒(第一印象と信頼性)
- (2) 思いやりの心を持ち、責任感の強い生徒(誠実さ)
- (3) 常に自己を意欲的に切り拓く生徒(挑戦と学び)

### 特色ある教育活動

(全日制)

1. 個々の進路目標を実現するために特別進学コース、進学コース、総合ビジネスコース、体育コースの4つのコースに分かれて学習します。
2. 運動部では硬式野球部、陸上競技部、バスケットボール部、ソフトテニス部など全国大会に出場する実力のある運動部をはじめ、柔道部、体操部、バドミントン部、サッカー部、卓球部が活躍しています。また、文化部では県大会で金賞を受賞する実力をつけてきた吹奏楽部の他に美術部、商業部、郷土史文化研究会、家庭サークルがあります。
3. 進学実績では、国公立大学2名、公立看護短期大学1名をはじめ、大学、短大、専門学校に83名が合格しました。就職については、例年高い内定率を実現しています。

(通信制)

一般コースと在宅コースのいずれかを選択し学習します。

<b>学校法人 健康科学大学</b> <b>一関修紅高等学校</b> URL : <a href="http://www.shuko.ed.jp">http://www.shuko.ed.jp</a>	〒021-0807 一関市字東花王町6-1 TEL : 23-3096    FAX : 23-3095 E-mail : shuko@shuko.ed.jp	校長：齋藤成一 副校長：大内高志 教職員数：37名 生徒数：407名    学級数：15
--	--	---

**時代のニーズをいち早く**

新一関修紅高等学校は君がつくるんだ。

**看護進学コース  
～第2期生卒業～  
全員看護・医療の道へ進学**



**校訓** 「至心」・「自立」・「友愛」  
**教育目標**  
 ① 「至心（ししん）」すなわち、「まごころ」をつくす人間を育てる。  
 ② 己を自覚し、自立する人間を育てる。  
 ③ 視野の広い慈愛に満ちた人間を育てる。  
 ④ 勤勉で感謝と奉仕のできる人間を育てる。  
 本校は、「命を守る教育」で安全安心を第一に取り組んでいます。

**学校経営・指導の重点**  
 本校では、生徒・保護者、教職員一体での運営を体系化、実践することで、より地域から信頼される学校を目指すため、次のことに努めています。  
 生徒の適性や多様性を理解し、個々の能力を伸ばす教育を実践する。  
 安全で楽しい学校生活を保障する。  
 読解力、計算力、一般教養などを身につけるなど、基礎的、発展的な学力向上を図る。  
 進路意識・職業意識の向上と適切な進路指導に努める。  
 礼節、忍耐力などの人間力の向上を図る。

- 沿革**
- 明治32年 5月 小梨こま裁縫塾を開設。(本校創立)
  - 昭和23年 4月 学制改革により、一関修紅高等学校(被服科)開校。
  - 36年 4月 普通科を設置。
  - 37年 4月 普通科に男子入学、男女共学とする。
  - 60年 4月 学校法人第一麻生学園に名称変更。麻生一関高等学校に名称変更。
  - 平成 9年 4月 普通科に特別進学コースと一般・進学コースのコース制を導入する。
  - 13年 4月 「学校法人第一藍野学院」に名称変更。一関修紅高等学校に名称変更。
  - 21年 5月 創立110周年 記念式典挙行並びに記念講演会実施。
  - 22年 4月 「学校法人第一藍野学院」を「学校法人富士修紅学院」に名称変更。
  - 23年 4月 普通科の一般コースを総合コースに名称変更。(2年次よりビジネスコースと進学教養コースに分かれる。
  - 28年12月 体育館を新設。
  - 29年 4月 「学校法人富士修紅学院」を「学校法人健康科学大学」に名称変更。
  - 29年 4月 普通科に看護進学コースを設置。
  - 30年 4月 普通科にライフデザインコースを設置。
  - 令和元年 6月 創立120周年記念式典・講演会を開催。

**特色ある教育活動**  
 特色あるコース(特別進学・看護進学・ビジネス・進学教養・幼児教育・ライフデザイン)設置による、実習の充実や各種検定資格取得などの積極的な取り組みの他、習熟度別学習や少人数学級での個に応じた教育で、個々の生徒に目標や夢、理想をもたせる教育を実践しています。また、県内初となる電子黒板の導入やICT教育そしてアクティブラーニングなど先進的教育を取り入れ、新たな社会的ニーズに対応できる力を育てています。  
 その他インターンシップ(2年次)、地域における社会奉仕活動、スクールカウンセラーによる健康相談、Classi配信による保護者との連携、学業・部活動の特別奨学生制度の充実、系列校である大学・短大・付属認定こども園と連携した専門性の向上など多岐にわたる教育を展開しています。

**(4) 高等専門学校・短期大学**

<b>独立行政法人 国立高等専門学校機構</b> <b>一関工業高等専門学校</b> URL: <a href="https://www.ichinoseki.ac.jp/">https://www.ichinoseki.ac.jp/</a>	〒021-8511 一関市萩荘字高梨 TEL : 24-4700    FAX : 24-2146 E-mail : s-somu@ichinoseki.ac.jp	校長：荒木信夫 副校長：明石尚之・二階堂満 二本柳謙治・若嶋振一郎 中山 淳 教職員数：107名 学生数：845名    学級数：24
---	---	--



- 沿革**
- 昭和39. 4. 1 一関工業高等専門学校設置
  - 44. 3. 19 機械工学科2学級、電気工学科1学級2学科で発足
  - 44. 4. 1 第1回卒業証書授与式挙行
  - 44. 4. 1 化学工学科1学級1学科設置
  - 59. 10. 23 創立20周年記念式典挙行
  - 平成元. 4. 1 機械工学科2学級のうち1学級を制御情報工学科に改組
  - 6. 10. 7 創立30周年記念式典挙行
  - 7. 4. 1 化学工学科を物質化学工学科に改組
  - 13. 4. 1 専攻科(生産工学専攻、物質化学工学専攻)設置
  - 15. 4. 1 電気工学科を電気情報工学科に名称変更
  - 16. 4. 1 独立行政法人国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校に移行
  - 16. 10. 1 創立40周年記念式典挙行
  - 17. 5. 12 「生産技術情報システム工学」教育プログラムが日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受ける。
  - 26. 4. 19 創立50周年記念式典挙行
  - 27. 3. 30 学生寮新棟(東寮)竣工
  - 29. 4. 1 機械工学科、電気情報工学科、制御情報工学科及び物質化学工学科を未来創造工学科に改組
  - 令和 2. 2. 24 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が実施する令和元年度「高等専門学校機関別認証評価」において、評価基準を満たしているとして認定された。

**教育目標**  
 本校では、次のような素養と能力を身につけた技術者の育成を目標とする。  
 ・国際社会の一員として活動できる技術者  
 ・誠実で豊かな人間性と広い視野を持つ技術者  
 ・広い分野の基礎知識と優れた創造力・開発力をもつ技術者  
 ・継続的に努力する姿勢とさかんな研究心をもつ技術者  
 ・協調性と積極性を持ち信頼される技術者  
 ・技術と社会や自然との係わりを理解し社会的責任を自覚できる技術者

**研究活動**  
 国立の高等教育機関として、教員は機械・知能、電気・電子、情報・ソフトウェア、化学・バイオ、総合科学(人文社会及び自然科学)の分野における学術的な研究を行っています。また、学生も教員の指導を受けながら、本科の卒業研究、専攻科の特別研究として研究活動に取り組んでいます。  
 産学官交流の拠点及び学内共同教育研究施設として地域共同テクノセンターがあります。これは、教員等の研究活動を支援し学生の教育に還元するとともに、技術相談、共同研究、公開講座等を通じて産業界との交流を図っています。

**特色ある教育活動**  
 創造性豊かで実践的な開発型技術者を育成しています。  
 本科では幅広い教養を身につける一般科目と高度な専門性を身につける専門科目をくさび形に配置した5年間の一貫教育により、効果的な教育を行っています。  
 また、本科の教育の上に、より高度な専門と広範な基礎知識や技術の習得を目的とする2年間の専攻科があり、大学学部卒業生と同じ学士(工学)の学位を取得することができます。  
 本科卒業生の進路は、進学と就職がほぼ半数であり、進学先は専攻科及び国立大学等(3年次編入学)となっています。  
 専攻科修士の進路は、大学院進学または就職であり、多様な進路が開かれています。  
 なお、毎年数名の外国人留学生を受け入れているほか、遠方からの入学生に配慮し、女子学生を含め約370名を収容できる学生寮があります。



<b>学校法人 健康科学大学</b> <b>修紅短期大学</b> URL: <a href="http://www.shuko.ac.jp">http://www.shuko.ac.jp</a>	〒021-0902 一関市萩荘字竹際49-1 TEL : 24-2211 FAX : 24-2213 E-mail : <a href="mailto:tandai@shuko.ac.jp">tandai@shuko.ac.jp</a>	学 長 : 千 葉 正 教職員数 : 26名 学 生 数 : 122名 学級数 : 6
---	---	---



### 沿革

- 明32. 5. 小梨こまが裁縫学校を創立
- 昭28. 3. 23 修紅短期大学設置許可あり、岩手県唯一の私立短期大学として家政科を設置
- 33. 1. 10 短期大学に保育科増設
- 33. 4. 1 修紅短期大学(保育科)が幼稚園教諭免許状「幼稚園2級」課程の認定
- 47. 3. 30 保育科を保育養成所として指定
- 49. 4. 1 家政科を家政学科、保育科を幼児教育学科に改称
- 60. 4. 1 法人名称を学校法人第一麻生学園に、短期大学の名称を麻生東北短期大学に改称
- 平13. 4. 1 法人名を学校法人第一藍野学院と改め、短期大学の名称を修紅短期大学と改称
- 13. 12. 27 修紅短期大学生活文化学科に栄養士養成施設指定の認定(平成14年度入学生より適用)
- 15. 4. 1 修紅短期大学生活文化学科を食物栄養学科に名称変更
- 15. 11. 7 修紅短期大学創立50周年記念式典及び祝賀会を挙行
- 16. 2. 17 オーストラリア、マーティン大学・エンパシーCESとの間で学術交流及び姉妹校協定の締結
- 17. 4. 1 修紅短期大学(食物栄養学科)栄養教諭2種免許課程の認定
- 22. 3. 31 法人名を富士修紅学院に改称
- 25. 11. 12 修紅短期大学創立60周年記念式典挙行
- 29. 4. 1 法人名を学校法人健康科学大学に改称

### 教育目標

本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、建学の精神「信愛」「健康」「報恩」をふまえながら、旺盛な自主の精神と強い責任感を養うとともに、幼児教育学並びに食物栄養学に係る高度な専門知識と技能を習得させることにより、心身の健康に関する豊かな感性を備えつつ実践力が強い、広く社会に貢献できる人材を育成する。

### 研究主題

〈幼児教育学科〉

- 乳幼児の心身の発達に関する研究
- 乳児のための表現に関する研究
- 様々なニーズをもつ子どもや、家庭の支援に関する研究

〈食物栄養学科〉

- 食物に含まれる栄養および食品の構造に関する研究
- 食品の安全性など食品の衛生管理に関する研究
- 年齢や健康状態の違いによる栄養素のとり方、病気にかからない食事法および病気に対応した食事に関する研究

### 特色ある教育活動

- ① 乳幼児のための音楽の身体表現、実践的な表現活動の充実
- ② 地域に根ざした食に関する栄養と健康の情報の発信

## (5) 特別支援学校

<b>県立</b> <b>一関清明支援学校</b> URL: <a href="http://www2.iwate-ed.jp/ich-r/">http://www2.iwate-ed.jp/ich-r/</a> E-mail : <a href="mailto:ich-r@iwate-ed.jp">ich-r@iwate-ed.jp</a>	(本校舎) 〒021-0041 一関市赤荻字上台96番5 TEL : 33-1600 FAX : 33-1601 (山目校舎、あすなろ分教室) 〒021-0056 一関市山目字泥田山下48-12 TEL : 25-3210 FAX : 25-2770 (千厩分教室小学部) ※千厩小学校内 〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場10-2 TEL : 53-2275 FAX : 34-4121 (千厩分教室中学部) ※千厩中学校内 〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場195-5 TEL : 53-3181 FAX : 53-3181	校 長 : 菅原 桂吾 副 校 長 : 似内 晃、金濱 基 小原 桂 教職員数 : 134名 幼児児童生徒数 : 167名 学級数 : 58 (本校舎 : 94名 29学級) (山目校舎 : 37名 14学級) (あすなろ分教室 : 15名 6学級) (千厩分教室 : 小学部13名 5学級 中学部 8名 4学級)
---	---	--



本校舎



山目校舎



あすなろ分教室



千厩分教室小学部



千厩分教室中学部

### 沿革

- 平成19年 4月 1日 一関市立千厩小学校内に千厩分教室小学部を開設
- 20年 4月 1日 岩手県立一関聾学校と岩手県立一関養護学校を統合し、岩手県立一関清明支援学校として開校
- 21年 4月 1日 一関市立千厩中学校内に千厩分教室中学部を開設
- 24年 2月18日 本校舎を赤荻の新校舎に移転
- 29年10月 4日 創立10周年記念事業を祝う会開催

### 校訓

「清く 明るく たくましく」

### 教育目標 (めざす幼児児童生徒像)

- 自分のよさに気づき、自己実現のための向上心をもちつづける人
- ほかの人を思いやるやさしい気持をもつ人
- 心と身体の健康を大切にする人


### 研究主題

「新学習指導要領に対応した授業づくり  
 ～幼児児童生徒が主体的に学ぶ姿勢を目指して～」

### 特色ある教育活動

- 4障がい対応の特別支援学校 (聴覚、病弱、肢体不自由、知的)
- 2校舎3分教室の学校 (本校舎、山目校舎、あすなろ分教室、千厩分教室小学部、千厩分教室中学部)
- 共生社会の担い手にふさわしい人を育てる教育
  - ・地域、居住地の学校との交流及び共同学習
  - ・地域の教育資源を活用した教育の推進
- 外部専門家活用 (言語聴覚士、作業療法士、茶道講師、音楽療法士等)の活用による専門性の向上
- 地域への特別支援教育に係わる専門性の提供

(6) 幼稚園・認定こども園

<p><b>市立 舞川幼稚園</b></p>	<p>〒021-0221 一関市舞川字館ノ越22-12 TEL・FAX：28-2112 E-mail：maiyo@city.ichinoseki.iwate.jp</p>	<p>園長：八島 定子 教職員数：5名 園児数：19名 学級数：3</p>
	<p><b>教育目標</b> 園児の実態に即し、幼児期にふさわしい豊かな生活経験を通して、心身ともに健康で心の豊かな意欲ある子どもの育成に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るくたくましい子</li> <li>・友だちとなかよく遊べる子</li> <li>・よく聞き、考え、工夫する子</li> </ul> <p><b>研究主題</b> 主題「学びをつなぐ幼小接続」 ～気づきが育まれる保育を通して～</p>	
<p><b>沿革</b></p> <p>昭和54年 4月 一関市立舞川幼稚園創立 6月 園章制定・園門設置 57年 2月 園歌制定 62年 1月 遊戯室拡張 平成元年 6月 創立10周年記念式典挙行「ログハウス設置」 12月 園庭拡張 9年 4月 三年保育開始 11年11月 創立20周年記念式典挙行 17年 8月 教育課程研究協議会発表 11月 「おはごあことば標識」設置 20年 8月 園扉の設置 10月 創立30周年記念式典挙行「園名パネル設置」 21年10月 市教委・一関公立幼稚園研究協議会指定保育園 22年 1月 岩手県公立幼稚園教育研究大会研究発表 岩手県教育委員会学校安全優良校表彰 全国公立幼稚園教育研究協議会岩手大会研究発表 7月 全国公立幼稚園教育研究会福井大会ポスターセッション発表 24年 7月 園舎耐震改修工事完了 25年 3月 園庭遊具設置工事完了 28年 1月 預かり保育開始 29年 4月 創立40周年記念事業「感謝状贈呈式」 令和 2年 1月 園庭遊具一部撤去 2年 9月 プランコ、すべり台、鉄棒設置 3年 3月</p>	<p><b>特色ある教育活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな遊びを育てる             <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児自ら働きかけ、遊びが展開できるように、環境を工夫する。</li> <li>・気づきの質を高める保育を目指して研究を推進する。</li> <li>・自然とのふれあい等五感を使った直接体験を大切にします。</li> </ul> </li> <li>○幼小中及び地域、PTAの連携推進を図る             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校への滑らかな移行ができるよう、舞川小学校との連携に工夫を凝らし、教師同士の相互理解と共感を得られるようにする。</li> <li>・幼小中及び地域、PTAとは状況に応じて連携の在り方を工夫し、地域の教育施設としての役割の一端を担う。</li> </ul> </li> </ul>	

<p><b>市立 真滝幼稚園</b></p>	<p>〒029-0132 一関市滝沢字水口103-103 TEL・FAX：21-2156 E-mail：matayo@city.ichinoseki.iwate.jp</p>	<p>園長：千葉 登美 教職員数：5名 園児数：19名 学級数：3</p>
	<p><b>教育目標</b> みんなあつまれ げんきいっぱい たくましく 一心豊かなたくましい幼児の育成—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まごころあふれる子 …なかよく遊び思いやりのある子</li> <li>・たくましい子 …じょうぶでたくましい子</li> <li>・きがつきかんがえる子…よく考え進んで行動する子</li> </ul> <p><b>研究主題</b> 「伝え合う喜びを育む保育」 ～幼児理解を深め、遊びの充実や よりよい援助の在り方を探る～</p>	
<p><b>沿革</b></p> <p>昭和55年 4月 一関市立真滝幼稚園創立 二年保育 56年11月 園歌発表披露 平成元年11月 創立10周年記念式典挙行 「ジャブジャブ池」「なかよしハウス」設置 9年 4月 三年保育開始 12年10月 創立20周年記念式典挙行 「園門」「園名プレート」設置 18年 3月 ガス管改修 廊下床張り替え 19年 9月 園舎内壁紙張り替え 10月 市教委・両磐公立幼稚園教育研究大会研究発表 21年 5月 プール更新設置 22年 3月 園庭南側花壇の整備及び駐車場の整備 10月 創立30周年記念事業の実施 23年 9月 屋根全面塗装塗り替え 25年11月 園舎耐震工事終了 29年 4月 預かり保育開始 30年10月 市教委・一関地区公立幼稚園教育研究大会研究発表 31年 3月 遊具更新 プランコ・はん登棒新設 令和 2年10月 園門設置 3年 1月 園舎内一部床張り替え</p>	<p><b>研究のねらい</b> 伝え合う喜びを育むため、幼児理解を基に夢中になったり満足感を感じたりできる遊びの充実や、より良い援助の在り方を探る。</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然環境を生かした保育活動 (動植物に触れる)</li> <li>・健康づくりの推進 (園内外様々な地形を活用した健康な体づくり)</li> <li>・開かれた幼稚園 (PTA、小・中学校、市民センター等と連携し、情報を発信・交換することで幼稚園教育を理解してもらう)</li> </ul>	

<b>市立 巖美幼稚園</b>	〒021-0101 一関市巖美町字鴻ノ巣161-1 TEL・FAX：29-2622 E-mail：genyo@city.ichinoseki.iwate.jp	園長：小山 範輝 教職員数：5名 園児数：9名 学級数：3
---------------------	--	-------------------------------------



**沿革**

- ・昭和58年4月1日に創立。同59年11月園歌・園章を制定。
- ・昭和61年・平成2年・12年両磐公立幼稚園協議会指定・一関市教育委員会指定の公開保育研究会を開催。
- ・平成7年日本体育・学校保健センター・岩手県教育委員会指定の公開保育研究会を開催。
- ・平成11年より毎年一関市花いっぱいコンクールに参加。奨励賞・優秀賞を受賞。平成27・28年度最優秀賞受賞
- ・平成14・15年度岩手県教育委員会指定「幼・小連携に関する総合的調査研究」、15年度6月・11月に公開保育研究会を開催。
- ・平成18年度幼稚園教育課程理解推進事業（中央協議会）の県代表として12月に東京で発表
- ・平成20年 県教育功労者表彰（PTA）
- ・平成21年 優良PTA文部科学大臣表彰
- ・平成23年 一関公立幼稚園研究協議会指定・一関市教育委員会指定の公開保育研究会を開催
- ・平成24年 創立30周年記念式典
- ・平成28年度 一関市「ことばの時間」モデル園指定
- ・平成29年度 預かり保育開始
- ・令和元年度～3年度 岩手県公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会事務局園として活動。  
(令和元年度には総会研究大会を開催)

**教育目標**

美しい郷土に誇りをもち、心身ともに健康で、  
生きる力にあふれる幼児の育成を目指す。

- 自分のことは自分でできる子ども
- 元気よく遊ぶ子ども
- 友達と仲良くできる子ども
- よく工夫しのびのび表現する子ども

**園内研究**

1. 研究主題

学びをつなぐ幼小接続

～対象（人・もの・こと）との関わりを通して～

2. 研究の仮説

幼児の遊びや活動、交流を通して、対象との関わりから学びを読み取り、10の姿を手掛かりに教師間で共有することで幼小の学びをつなぐことができるのではないかと。

**特色ある教育活動**

- 本園の良さは、素直な子供達、それを支える協力的な保護者、そして園職員の前向きな仕事内容があげられる。今後もこの良さを継続させたい。
- 一方今年度は下記の課題もある。このことを念頭に置き、保育活動を効果的で効率的に進められる教育環境の改善をめざし取り組みたい。
- ・園児数の減少に伴い異年齢交流の充実
- ・幼小交流を通じたより幼小接続研究の充実  
(令和4年度園公開研究会を通じた保育の質の向上を目指したい)
- ・岩手県PTA連絡協議会事務局（3年目）としてのPTA活動の充実  
(幼稚園創立40周年を意識し、これまでの歴史を活かし活動の充実を図りたい)
- ・新型コロナウイルス感染防止策の継続的取り組み  
(確実な感染対策のもと、毎日の保育活動を継続させたい)

<b>市立 赤荻幼稚園</b>	〒021-0041 一関市赤荻字桜町237-2 TEL・FAX：25-4188 E-mail：akoyo@city.ichinoseki.iwate.jp	園長：千葉 敏之 教職員数：6名 園児数：21名 学級数：3
---------------------	--	--------------------------------------



**沿革**

- 昭和59年 4月 1日 一関市赤荻幼稚園創立
- 11月27日 一関地区公幼研指定保育公開
- 60年 2月 5日 園歌制定
- 62年 2月18日 水洗トイレの改築
- 63年10月21日 岩手県教委指定保育公開
- 平成 4年10月16日 市教委・両磐研指定保育公開
- 5年 6月13日 創立10周年記念式典
- 6年 8月18～19日 教育課程研究集会発表
- 7年 4月 7日 幼稚園バス運行開始
- 10年 4月 1日 3歳児保育開始
- 7月29日 教育課程研究集会発表
- 14年10月11日 市教委・両磐研指定保育公開
- 15年11月 1日 創立20周年記念式典、風の子ハウスの設置
- 19年 7月27～28日 全国公立幼稚園研究大会（奈良大会）ポスターセッション発表
- 21年 5月 フェール更新
- 22年 1月 幼稚園専用バス更新
- 22年 8月 平成22年度岩手県幼稚園教育研究協議会発表
- 22年10月 第48回東北特別支援教育研究大会発表
- 23年 3月 東日本大震災により被災（浄化槽等）
- 25年 3月 園庭門扉の改修
- 26年11月 創立30周年記念式典
- 28年 2月 ホームページ開設
- 29年 4月 預かり保育開始
- 31年 3月 遊具移設完了
- 令和 1年 8月 絵本作家「真珠まりこ」さん来園
- 2年 3月 コロナ対策のため加湿空気清浄機、飛沫防止パーテーション等備え付ける

**教育目標**

- ・自分のことは自分でできる子
- ・みんなと 仲良しになれる子
- ・明るく 元気に遊ぶ子
- ・話をよく聞き はっきり話す子

**研究主題**

「幼児が主体的に関わりたくなるような環境の工夫」  
～心弾む保育を目指して～

**ねらい**

- ・実践や日々の保育の振り返りを通し、幼児が主体的に関わりたくなるような環境構成の方法（着想）や在り方を探る。
- ・教師間でお互いの実践や日々の保育の振り返りを行い、教師自身も楽しさを感じられるような保育の在り方を探る。

**研究の方法**

1. 研究テーマについての共通理解
2. 保育実践、教師間での保育の振り返り
3. 研究保育

**特色ある教育活動**

1. 様々な人との交流：赤荻小・赤荻保・清明支援との交流、介護施設ちやごみ招待、交流館祭りへの参加、勤労感謝訪問、サッカー教室等、様々な人々とのふれあい活動。
2. 直接体験を重視した活動：土や砂、水、草花等へ直接働きかけて遊ぶ活動。
3. 食育：行事での会食や苦手の食材を親が料理で工夫し弁当に入れるチャレンジ弁当、栄養士による訪問指導等の活動。
4. 幼稚園サポートボランティア：安全確保のための散歩や健康診断時の手伝い、教育環境のための花壇の整備や園庭の草取り、保護者や地域の連携によるお話しやお茶会の活動。



# 市立 萩荘幼稚園

〒021-0902  
一関市萩荘字境ノ神237-1  
TEL・FAX：24-2340  
E-mail：hagiyo@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：藤野清貴  
教職員数：4名  
園児数：13名 学級数：3



## 沿革

- 昭和62. 4. 1 一関市立萩荘幼稚園創立  
平成 1. 11. 29 園歌制定  
4. 11. 29 園章制定  
7. 4. 1 通園バス運行開始  
8. 6. 9 創立10周年記念式典挙行  
8. 6. 10 創立10周年記念事業実行委員会よりログハウス寄付  
10. 2. 16 園舎増築竣工  
4. 1 3歳児保育開始  
11. 10. 27 両磐公立幼稚園研究協議会指定研究公開  
13. 4. 1 「豊かな心をはぐくむ教育」推進事業指定  
18. 10. 10 園舎前取付道路並びに園門の設置  
10. 28 創立20周年記念式典挙行、記念植樹・芝生の植栽  
22. 7. 30～7. 31 全国公立幼稚園研究協議会岩手大会発表  
「協同性をはぐくむ保育」  
28. 11. 30 創立30周年記念式典挙行  
ログハウス改修、菜園拡張  
29. 4. 11 ことばの時間、預かり保育開始  
9 ホールにエアコン設置  
30. 3 新遊具1台設置  
令和 1. 10. 18 職員トイレ様式設置  
2. 2. 28 遊具更新（はんとす棒、雲梯、鉄棒）  
3. 25 プール更新

## 教育目標

地域と幼児の実態に即した教育をすすめ、心身ともに健全で人間性豊かな意欲に満ちた幼児を育成する。

- みんなと 仲よく 遊ぶ子 (体)
- よく聞き よく考え 工夫する子 (徳)
- 強い体と心でやり抜く子 (知)

## 研究主題

「学びを共有する幼小接続」  
～環境に主体的に関わる幼児を通して～

## 研究のねらい

幼児期から小学校までの育ちを見通し、環境に主体的に関わる幼児の学びを捉え、幼小の職員で共有することを通して、互いの教育について理解を深める。

## 特色ある教育活動

1. 花や野菜などを育てる活動や虫や小動物との触れ合いなどを通し豊かな自然体験の重視。
2. 小学生・中学生との交流や地域の方々を招いての園行事、施設訪問など様々な人とかかわる社会体験を通し豊かな心の育成。
3. 誕生会給食や栄養士による訪問指導・食育通信などの食育指導、日々の遊びなどを通し丈夫な体作りの促進。
4. 絵本の読みきかせや貸し出し、観劇やコンサート鑑賞などを通し豊かな感性の育成。

# 市立 狐禅寺幼稚園

〒029-0131  
一関市狐禅寺字小倉沢100-1  
TEL・FAX：21-2177  
E-mail：kozenyo@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：千田智明  
教職員数：4名  
園児数：23名 学級数：2



## 沿革

- 平成 4. 4. 1 一関市立狐禅寺幼稚園創立  
4. 10 開園式挙行  
5. 6. 6 こんこん山造成  
6. 3. 1 園章、園歌制定  
10. 28 両磐公立幼稚園指定公開研究会  
8. 3. 14 園庭遊具等増設設置  
4. 1 3歳児保育開始  
10. 3. 10 安全標識設置  
13. 5. 20 10周年花壇増設  
12. 5 教育課程中央大会発表（東京）  
16. 4. 1 4・5歳児混合保育開始  
10. 1 両磐公立幼稚園指定公開研究会  
17. 3. 31 幼稚園、公民館通路完成  
23. 3. 11 東日本大震災により地盤沈下による建物被災  
23. 5. 25 園舎、テラスの傾き補修  
24. 11 創立20周年誌発行  
25. 11 園舎の地盤沈下補修工事  
12. 6 幼稚園教育理解推進事業（中央協議会）発表  
26. 3 プール沈下補修工事  
27. 10 一関市教育委員会指定公開保育研究会  
29. 4 預かり保育開始  
9 屋根塗装工事

## 教育目標

幼児期にふさわしい豊かな生活体験を通し、基本的な生活習慣・態度を育て、生きる力の基礎となる心情と意欲を育てる。

- 基本目標—元気ななかよく  
具体目標—自分のことは自分でできる子  
・友だちとなかよく遊べる子  
・明るくたくましい子  
・よく聞き、考え、工夫する子

## 研究主題

「豊かな遊びを育む」  
～様々な遊びを通して体験を充実させる保育の工夫～

## 特色ある教育活動

1. 平成4年開園、旧狐禅寺小学校跡地にあり、緑豊かな自然に恵まれた環境にある。  
園の周辺にこんこん山と称する小山があり、一年中遊び場として活用している。
2. 3歳児と4歳児は異年齢混合学級である。生活の場は一緒であるが、年齢の発達に即した教育課程による保育を行い、互いにより影響を受け合えるよう工夫しながら保育を進めている。
3. 体を動かして遊ぶ楽しさを味わわせ、子どもの活動性を高める保育に努めている。
4. 市民センター体育館が隣接し、多様な遊びと折々の行事に工夫をこらし、使用している。
5. 地域の方々とのふれあいを通し、体験の機会を設けている。

<b>市立 弥栄幼稚園</b>	〒029-0211 一関市弥栄字茄子沢236-24 TEL・FAX：43-3128 E-mail：yasayo@city.ichinoseki.iwate.jp	園長：皆上聖一 教職員数：4名 園児数：11名 学級数：2
---------------------	---	-------------------------------------



**教育目標**  
 幼児期にふさわしい生活経験と充実した環境を与え、心身ともに健やかで、豊かな心情を持つ幼児の育成を図る。  
 ○ 明るくたくましい子  
 ○ 友達と仲良く遊べる子  
 ○ のびのびと表現できる子  
 ○ よく聞きよく話せる子

**研究主題**  
 主体的に遊ぶ子の育成をめざして  
 ～幼児が自ら遊びに関わり、遊び込む姿につながる 環境構成の在り方～

**特色ある教育活動**

1. 教育に対する関心の高い地域で開園より29年。保護者・地域との連携を大切に開園経営を目指している。
2. 地域の小学校や幼稚園との交流やデイサービス訪問等を行い、人と関わることの楽しさを味わい、小学校との円滑な接続ができるよう努めている。
3. 絵本やおはなし、ことばとの出会いを大切にし、市立図書館における「絵本のひろば」の開催や、市民センターと連携した読み聞かせや観劇、園や家庭での読み聞かせ、「ことばの時間」を実施し豊かな感性を養うよう努めている。
4. 身近な花や野菜等の栽培・散歩等を通して、自然に親しみ、感動体験を味わうことができるよう努めている。

**沿革**

平成5.4.1	旧弥栄小学校跡地に幼稚園舎新築
5.4.9	一関市立弥栄幼稚園として創立
6.4.24	開園式並びに第1回入園式挙行
7.6.14	一関市立弥栄幼稚園PTA結成
7.7.14	園章制定
10.13	両公立幼稚園研究協議会指定研究公開
8.4.8	3歳児保育開始
13.3.1	園前道路整備完了
4.24	園門に「ちびっ子広場」開設
14.8.6	教育課程研究協議会発表
8.25	園舎改修工事完了
9.21	創立10周年記念式挙行、なかよし広場の設置
17.3.31	園門側花壇の整備
19.5.23	子育て支援「ちびっ子広場」開設
22.4.26	地震被害（園庭・配水管）修理完了
23.8.17	岩手県教育研究協議会発表
24.10.16	遊具大規模更新完了
25.4.1	きめ細かな指導体制の構築
25.10.5	創立20周年記念式挙行、記念誌発行、PTA手作り遊具展覧会開催
25.11.22	平成25年度学校安全優良校表彰
27.5.28	幼稚園総会開催
28.10.12	園地区公立幼稚園研究協議会指定研究公開
29.1.12	手取国公立幼稚園研究協議会発表
29.4.11	預かり保育開始
29.9.1	ことばの時間開始
30.11.12	職員用洋式トイレ設置
31.1.30	園舎外壁修繕完了
令和3.3.12	固定遊具の新設

<b>市立 摺沢幼稚園</b>	〒029-0523 一関市大東町摺沢字観音堂82-2 TEL・FAX：75-2238 E-mail：suriyo@city.ichinoseki.iwate.jp	園長：芦 宏 教職員数：5名 園児数：20名 学級数：3
---------------------	--	------------------------------------



**教育目標**  
 周囲の人の人格を認め合い、明朗で創造性に富み、いたわり合い、健康でたくましい人間性の育成を目指す。  
 1 よく聞きよく話す子  
 2 よく考え工夫する子  
 3 心も体もたくましい子  
 4 みんなと遊べる子

**研究主題**  
 主体的に環境にかかわる幼児の姿を促す保育の在り方  
 ～「楽しい」遊びの経験を通して～

**研究のねらい**  
 幼児が充実感や満足感を味わう経験を重ねながら、主体的に環境にかかわる姿を促すための、環境の構成や教師の援助の在り方を探る。

**特色ある教育活動**


1. ふれあい活動
  - ・園活動の中で、父母との触れ合いや異年齢層の人々との触れ合いによって、交流の輪を広げていく。
  - (1) 園活動：(バケツ田んぼ)・畑・親子遠足・運動会・発表会(餅つき大会)等
  - (2) 他機関との提携：(敬老会出演)、(老人クラブ運動会出演)
2. 園外活動
  - ・日常の園内活動で経験できないことを実際に体験したり、見聞したりして経験領域を広げる。
  - ・野外観察・保育園児との交流活動等

※( )は、コロナウイルス感染症対策をとり自粛中

**沿革**

昭和40年4月1日	私立幼稚園を創立
43年2月11日	園舎を摺沢字沼田に移転
50年8月17日	幼稚園教育課程岩手県研究会研究発表
50年9月1日	大東町立摺沢幼稚園と改称
53年10月6日	岩手県学校図書館研究会大会公開保育
59年8月17日	幼稚園教育課程岩手県研究会研究発表
平成4年3月6日	新園舎竣工落成
11年10月18日	教室増築完成
12年4月1日	3歳児保育開始
17年9月20日	一関市立摺沢幼稚園と改称
23・24年度	文部科学省指定「生きる力をはぐくむ・口の健康づくり」推進事業
24年10月18日	一関地区公立幼稚園協議会・一関市教育委員会指定公開保育研究会開催
25年1月10日	岩手県国立国公立幼稚園県大会にて研究発表
令和3年5月25日	一関市教育委員会総合訪問

<p>市立 <b>東山こども園</b></p>	<p>〒029-0302 一関市東山町長坂字西本町130-1 TEL : 47-2145 FAX : 47-2147 E-mail : higakodo@city.ichinoseki.iwate.jp</p>	<p>園長 : 山形和枝 教職員数 : 16名 園児数 : 103名(14) 学級数 : 6(3) ( )内幼稚園分</p>
 <p><b>沿革</b> げいび幼稚園 昭和42年 4月 「げいび学園」として設立 43年 4月 「げいび幼稚園」と称する 48年 4月 「東山町立げいび幼稚園」発足 平成 5年 2月 新園舎落成記念式、落成祝賀会開催</p> <p><b>長坂保育園</b> 昭和32年 6月 「長坂保育園」開設 53年 4月 「長坂保育園」移転改築</p> <p>平成31年 3月 「げいび幼稚園」「長坂保育園」閉園 31年 4月 「東山こども園」開園 (げいび幼稚園と長坂保育園が統合)</p>	<p><b>教育目標</b> 「一人ひとりの発達を的確に捉え豊かな人間性を育むことを目指す」 ○心豊かで健やかな子ども ○楽しく友達とあそぶ子ども ○思いやりのある子ども ○自分で考え行動できるこども</p> <p><b>研究主題</b> 「主体性を育むことを目指して」 ～子どもの姿を読み取り、安心できる保育をしていくために～</p> <p><b>特色ある教育活動</b> ○人や自然とのかかわりを大切にした感性を育む体験活動 登龍門祭・ディサービス訪問・親子遠足・畑の栽培 唐梅館公園散策・七五三参り・りんご狩り・シルバー運動会 ○町内の3園での交流(年長児) 唐梅館絵巻参加・交流運動会・ブルーベリー狩り ○小学校・中学校との交流 幼保小交流会・保育体験・職場体験 ○園児の身体づくり活動の充実 季節に応じた運動的な遊びの継続</p>	

<p>市立 <b>室根こども園</b></p>	<p>〒029-1201 一関市室根町折壁字八幡沖373-1 TEL : 64-3219 FAX : 61-2077 E-mail : murokod@city.ichinoseki.iwate.jp</p>	<p>園長 : 及川由美 教職員数 : 14名 園児数 : 78名(5) 学級数 : 6(3) ( )内幼稚園分</p>
 <p><b>沿革</b> 昭和40年 4月 折壁保育所開園(定員60名) 50年 4月 折壁保育所ポニークラブ結成 57年 2月 折壁幼年消防クラブ結成 63年 3月 財団法人日本名火協会より表彰 平成 2年 9月 東北管区警察局長表彰 3年 9月 社会福協力所指定 13年 3月 新築移転(定員90名) 子育て支援センター開設 17年 9月 一関市立折壁保育園と改称 27年 6月 園舎増改築開始 27年 9月 岩手県幼少年婦人防火委員会会長表彰 28年 3月 室根地域5保育施設閉園 28年 4月 室根こども園開園(定員110名)</p>	<p><b>教育目標</b> 豊かな保育環境の中で教育と保育が一体となり、豊かな人間性を育てることを目標とします。 ○心も体も健康で 明るい子ども ○友達と仲良く遊び 思いやりのある子ども ○人間や自然を愛し、心豊かな子ども ○よく聞き、よく話し、ことば豊かな子ども ○意欲的に活動し、創造性豊かな子ども</p> <p><b>研究主題</b> 「子ども達が主体的に遊ぶ環境構成を整える」 ～遊びを通して友達との関わりを深める～</p> <p><b>特色ある教育活動</b> ○健康でたくましい心と身体づくりのため、積極的な戸外活動をする。 ○豊かな自然や地域の教育力を活用した保育を進める。 ○家庭との連携を密にし、園教育と家庭教育との融合に努める。 ○「スマイル図書デー」の定着と「園の図書貸し出しコーナー」の充実を努め、親子読書の推進を図る。 ○一人ひとりの発達段階をとらえた保育を行う。</p>	



<b>市立 藤沢こども園</b>	〒029-3405 一関市藤沢町藤沢字仁郷41番地2	園長：小山博恵
	TEL：63-2124 FAX：63-2427 E-mail：fujihoh@city.ichinoseki.iwate.jp	教職員数：15名 園児数：91名(7) 学級数：6(3) ( )内幼稚園分



**沿革**

- 昭和34年 4月 藤沢保育園開園（定員60名）
- 51年 2月 園舎新築移転（柳平118番地）
- 55年 4月 藤沢幼稚園開園（定員40名）  
藤沢保育園開園（定員90名）
- 57年 4月 幼稚園増築（定員80名に改正）
- 59年 4月 西口保育所統合
- 61年 4月 本郷児童館統合
- 平成13年 4月 幼稚園定員70名に改正
- 21年 4月 藤沢・徳田・保呂羽・大籠4園統合
- 23年 9月 一関市立藤沢幼稚園・保育園に改称
- 24年 4月 一関市立藤沢こども園に改称
- 25年 4月 園舎新築移転（仁郷41番地2）

**目標**

- 「自ら進んで生活し、心も体も健康な子ども」
- 友だちと、やさしくなかよく遊ぶ子ども
- 様々なことに興味関心を持って、取り組む子ども
- 「早寝・早起き・しっかりご飯」で元気な子ども

**研究主題**

豊かな遊びを育む保育を目指して  
～学びを生かす保育記録の工夫～

**特色ある教育活動**

1. 地域にある施設を活用した保育として、図書館による絵本の読み聞かせや絵本の貸し出し、通年の温水プール体験。
2. 福祉施設の訪問や病院待合室への作品展示、行事を通して地域の方々と交流し、ふれあいを深めている。
3. 地域の伝統や文化に触れる機会として、野焼祭、防火パレード等への参加。
4. 子ども達を取り巻く生活環境の課題をさぐり、家庭と連携し、生活習慣の確立を図る。いちのせきの家庭教育10か条の活用。

<b>市立 黄海こども園</b>	〒029-3311 一関市藤沢町黄海字天堤11-1	園長：山口由美
	TEL・FAX：63-4262・63-2125 E-mail：kinohoh@city.ichinoseki.iwate.jp	教職員数：14名 園児数：44名(5) 学級数：5(2) ( )内幼稚園分



**沿革**

- 昭和28年 4月 黄海小学校に幼児教室開設
- 29年 4月 福祉協議会による幼児教室開設
- 37年 4月 藤沢町立黄海保育園創立
- 56年 4月 町立黄海幼稚園設立
- 57年 2月 現在地に園舎新築移転
- 平成23年 9月 一関市立黄海幼稚園・保育園に改称
- 24年 4月 一関市立黄海こども園となる
- 27年 4月 定員 1号認定50名  
2号認定27名・3号認定18名

**教育目標**

「人と人のかかわりを大切にし、  
心豊かな子どもの育成を目指す」

**【心豊かな たくましい 黄海っこ】**


- 自然と仲良し やさしい子ども
- よく考え 工夫する かしこい子ども
- 早ね 早おき 元気な子ども

**研究主題**

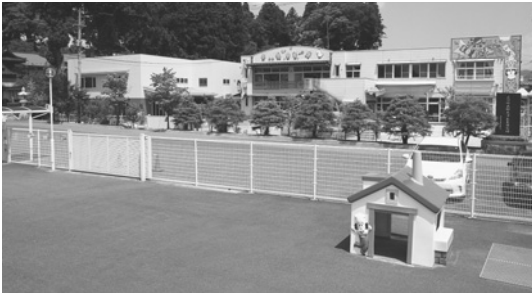
- 研究主題  
「人と関わる力を育むための保育のあり方を探る」  
～保育者の援助と関わりを通して～

**特色ある教育活動**

1. 地域との連携、交流活動
  - ・農園活動、食育指導（JA青年部）
  - ・きのみっこ広場開催
  - ・環境整備友の会との交流
  - ・地区行事への参加
2. 幼小連携教育の推進
  - ・園児、児童の日常交流
  - ・交流活動、行事への参加
  - ・通信の交流、情報交換
3. 地域資源の活用
  - ・温水プール利用
  - ・図書館によるお話会、図書貸し出し
  - ・福祉施設ふれあい訪問

<b>学校法人 東北カトリック学園</b> <b>愛心幼稚園</b>	〒021-0884 一関市大手町7-5 TEL : 23-5431    FAX : 23-7166 E-mail : aishin@tohoku-catholic.ac.jp	園長 : 小坂 恵子 教職員数 : 9名 園児数 : 85名 学級数 : 4
 <p><b>沿革</b></p> <p>1953年 5月 オスカー・エグロフ師（スイス人宣教師）により定員120名で設立</p> <p>1957年 2月 設置者をベトレヘム外国宣教会に変更</p> <p>1959年 1月 新園舎落成、定員240名 6学級に変更</p> <p>1959年 7月 スクールバスによる通園開始</p> <p>1964年 4月 ヨゼフ・フーゲントブレル師第二代園長</p> <p>1967年 3月 園舎増築、木造モルタル103㎡</p> <p>1967年 4月 設置者を宗教法人ベトレヘム外国宣教会からカトリック仙台司教区に移管</p> <p>1978年12月 定員265名 8学級に変更</p> <p>1982年10月 新園舎落成、鉄筋コンクリート2階建て 1,272㎡</p> <p>1986年 4月 宗教法人立から学校法人「東北カトリック学園立」となった。 学園は29園、青森に12園、岩手県に6園、宮城県に8園、福島県に3園を擁する。</p> <p>2002年 4月 佐藤守也師第九代園長</p>	<p><b>教育目標</b></p> <p>本学園の教育は、幼児が神の愛に生かされていることを喜び、神から与えられた心身の能力を伸ばし、個性を認め、主体的に行動できる人間となるようになるための基礎の育成を目指します。</p> <p><b>研究主題</b></p> <p>チーム保育活動の中で、異年令児との関わりを通して思いやりの心情を育む</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から意欲的に行動するように励まし、一人一人と向き合っ</li> <li>て保育します。</li> <li>・自分の思う事を言葉で伝えられるよう、また自分のことは自分でできるように援助します。</li> <li>・友達と夢中になって遊ぶことができるように環境を整えます。</li> <li>・子供の中にある興味や関心をよびますように喜んで取り組める活動を支援します。</li> </ul> <p>（体操教室、楽器演奏、英語教室、書道教室、水泳教室、田植え、クッキング、等）</p>	

<b>学校法人東北カトリック学園</b> <b>カトリック清心幼稚園</b>	〒029-0803 一関市千厩町千厩字町浦47-1 TEL : 52-2485    FAX : 52-2911 E-mail : s-seishin@tohoku-catholic.ac.jp	園長 : 菅原 裕子 教職員数 : 5名 園児数 : 39名 学級数 : 3
 <p><b>沿革</b></p> <p>昭和30年 2月 設立認可を受ける 設立母体(宗法)ベトレヘム外国宣教会 定員120名 4学級</p> <p>30年 4月 第1回入園式挙行 初年度110名入園</p> <p>45年 4月 園名を「カトリック清心幼稚園」と改称</p> <p>50年 4月 設置者変更「宗教法人カトリック仙台司教区」と変更</p> <p>61年 4月 学校法人東北カトリック学園設立に伴い移管（岩手7園、青森12園、宮城8園、福島3園を擁す）</p> <p>平成 7年 3月 新園舎完成</p> <p>30年 4月 子ども・子育て支援新制度に移行</p>	<p><b>教育目標</b></p> <p>当園の教育は、幼児たちがキリストの愛に生かされ、神から与えられた心身の能力を最大限に生かしながら、個性を豊かにし、主体的に行動できる人間となることを願い、その基礎育成を目指します。</p> <p>人間には素晴らしい能力、素晴らしい自然が与えられていることを踏まえ、価値ある人生を送ることができるために、神を、隣人を、自分を、そして自然界を大切にす愛の心を育てる事が当園の教育目標です。</p> <p><b>研究主題</b></p> <p>保育実践 ～一人一人の発達の特性に応じた指導～</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <p>剣道と茶道と英語を取り入れています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剣道では、身体各部の発達を促し、併せて積極的にことに当たる精神を養っています。</li> <li>・茶道では、日常におけるマナーを知り、礼儀正しく行動し、豊かな心を養っています。</li> <li>・英語では、歌・踊り・ゲームを通して英語とふれあいながら、アルファベットや挨拶などの基本を楽しく学ぶ活動を行っています。</li> </ul>	

<b>学校法人 里中山学園</b> <b>認定龍澤寺こども園</b> URL : <a href="http://rityuzan.ac.jp/">http://rityuzan.ac.jp/</a>	〒021-0011 一関市山目町三丁目2-19 TEL : 26-4821 FAX : 21-5600 E-mail : kodomoen@rityuzan.ac.jp	園 長 : 塩 竈 素 明 教職員数 : 38名 園 児 数 : 144名 (49) 学 級 数 : 9 (6) ( )内幼稚園分
	<b>基本理念</b> ～仏教保育を通じて『ともに学び ともに育つ』 <b>基本目標</b> ○のびのびと心豊かな自己表現ができる子ども ○思いやりと思考力が豊富な子ども ○丈夫で元気に遊び、毎日が楽しく過ごせる子ども ○基本的生活習慣を身に付け、自主的に行動できる子ども <b>研究主題</b> 「健康な心と体を育む」 体力づくり運動・体を使った遊びを通して 体を動かすことが大好きな子どもを育てる	
<b>沿 革</b> 昭和23年 6月 6日 県知事により龍澤寺幼稚園認可 23年 9月 1日 龍澤寺幼稚園開園 30年 4月 10日 新園舎開園 51年 7月 27日 (学)里中山学園へ設置者変更 平成10年12月12日 新園舎落成並びに創立50周年記念式典挙行 14年12月 1日 「なかさと保育園」開園 18年 6月 1日 「なかさと保育園分園」開園 20年 9月 1日 創立60周年記念式典挙行 25年 5月 31日 遊戯室「希望館」新築 25年 9月 1日 幼保連携型 認定龍澤寺こども園認定 27年 4月 1日 子ども・子育て支援制度に移行 30年 3月 31日 園舎改築及び「子育て支援室」増築 令和 2年 8月 20日 運動場、駐車場竣工	<b>特色ある教育活動</b> 〈仏教教育〉 日常の活動や、週1回の本堂参りの中で「仏教の教え」を知り、命の大切さや感謝の気持ちを持つ 〈遊 び〉 自然豊かな環境の中で主体的な遊びが充実できるようにする 〈食育活動〉 食育指導や米・野菜作りとクッキングを通して食に関心を持つ外部講師による活動 〈お 茶 会〉 お茶会の「静」の時間の中で、日本の文化や礼儀を学び、豊かな心を育む 〈音楽リズム教室〉 歌ったり踊ったり演奏したりする中で音楽を楽しく学ぶ 〈体育教室〉 楽しみながら運動することで健康な体づくり、集団活動のルールも学ぶ 〈英語教室〉 歌・ダンス・ゲームを取り入れて、楽しく英語を学ぶ	

<b>学校法人 健康科学大学</b> <b>修紅短期大学附属認定こども園</b> URL : <a href="http://www.shuko.ac.jp/kg/">http://www.shuko.ac.jp/kg/</a>	〒021-0902 一関市萩荘字竹際71-2 TEL : 24-5005 FAX : 24-5006 E-mail : youchien@shuko.ac.jp	園 長 : 蜂 谷 隆 博 副 園 長 : 黒 澤 由 佳 教職員数 : 37名 園 児 数 : 201名 (49) 学 級 数 : 9 (6) ( )内幼稚園分
	<b>教育目標</b> 「にこにこ ぴんぴん みんななかよく なにかでひとより」 1. 未分化時代の幼児の夢の世界を大切に育てる。 2. 心身の発達段階に応じた基礎能力を養う。 3. 情緒の安定した創造力のある明るい元気な子どもを育てる。 <b>研究主題</b> 幼児一人ひとりの主体性を育む環境の構成と教師の援助の在り方を探る。 <b>特色ある教育活動</b> 遊びを中心とした生活を展開し、友達との関わりの中で一人一人の幼児が生きていくための基礎となる力や生活の規律を身につけるために自然体験、社会体験など様々な体験活動を重視している。 ・水と砂をふんだんに使った遊びを豊富に体験する。 ・小動物の飼育や、花や野菜を育て収穫の喜びを味わわせるなど、四季折々の自然を身近に体得する。 ・外国人英語教師を招き、遊びを通して異文化に触れ、国際理解の素地を育成する。 ・未就園児教室や、おもちゃ図書館を開設し、子育て支援の一助としている。 ・体育講師による幼児体育は、身体を動かす楽しさや、情緒の安定をはかり、子どもらしさ、自分らしさを表現する喜びへとつながります。	
<b>沿 革</b> 昭和32年 1月 修紅短期大学附属幼稚園の設立許可を受ける〈2学級〉 32年 4月 修紅短期大学附属幼稚園小梨良園長に就任 52年 8月 定員180名を270名に変更〈7学級〉 60年 4月 麻生東北短期大学附属幼稚園に名称変更 平成12年12月 満3歳児学級ひよこ組開設 13年 4月 修紅短期大学附属幼稚園に名称変更 21年 4月 新園舎完成(所在地を東花王町から修紅短期大学校地に移す) 25年 3月 満3歳児学級ひよこ組終了 25年 4月 修紅短期大学附属認定こども園の認定取得		



<b>学校法人 願成寺学園</b> <b>認定こども園一関幼稚園</b> URL : <a href="http://www.at-ml.jp/57703">http://www.at-ml.jp/57703</a>	〒021-0874 一関市字釣山31-4 TEL : 23-5153      FAX : 23-5259 E-mail : ichi-you@samba.ocn.ne.jp	園長 : 佐々木 泰子 教職員数 : 36名 園児数 : 194名 (80) 学級数 : 9 (6)      ( )内幼稚園分
--	--	---



**沿革**

- 昭和32. 4. 1 一関学院幼稚園開園
- 32. 9. 1 学校法人 一関学院に編入
- 46. 12. 17 放火により園舎全焼
- 47. 8. 20 新園舎完成
- 52. 8. 10 一関学院幼稚園設置者変更により願成寺学園一関幼稚園となる。
- 54. 4. 1 「リズム遊び」に取り組む
- 61. 4. 7 預かり保育開始
- 平成10. 1. 1 理事長芳川顕一氏死去
- 10. 12. 28 竹内一信理事長就任
- 17. 8. 24 芳川春彦理事長就任
- 18. 4 園舎外装の整備
- 19. 11 創立50周年記念式典
- 21. 4 満3歳児学級たんぼ組開設
- 26. 12 新園舎完成
- 27. 4 幼保連携型認定こども園に移行

**基本理念**

『慈悲心と菩薩道』  
 人の喜び、悲しみを自分も共感し、自分のこととして感ずることのできる、そして人に対する思いやりを重んじることです。

**教育目標**

1. 健康で明るい子供
2. 力を合わせて仲良く遊ぶ子供
3. 優しい思いやりがあって素直な子供
5. のびのびと表現し創造性豊かな子供

**研究主題**

— 子供の主体性を育むためには—  
 愛着の形成と発達の理解

**特色ある教育活動**

- 《遊びを通しての学び》  
 幼児期は、知識を教えられて身に付けていく時期ではなく、園生活の中で友達との関わりや遊びの中での経験を大事にする。
- 《リズム遊び》  
 心身共に健康で伸び伸びとした子供に育ててほしいという願いを込めて、音楽に合わせて這うこと、歩くこと、走ることを主とした、リズム遊びに取り組んでいる。
- 《読み聞かせは心のスキンシップ》  
 絵本を見ながら先生のお話を聞き、子供達はイメージを膨らませ、物語を通して言葉や絵、音の世界が心を豊かにし、感性や想像力を育みます。
- 《坐禅》  
 坐禅を通して自分と向き合い、心を整えることを学ぶ。
- 《英語で遊ぼう》  
 カナダ人講師を迎え、遊びや生きた英語を通して異文化に触れ、国際性を学ぶ。

<b>社会福祉法人 一関南保育園</b> <b>認定こども園</b> <b>一関南保育園</b>	〒021-0851 一関市関が丘30-1 TEL : 26-2521      FAX : 25-2526 E-mail : minami07@ec4.technowave.ne.jp	園長 : 川村 公美子 教職員数 : 21名 園児数 : 67名 (6) 学級数 : 6 (3)      ( )内幼稚園分
--	---	---



**沿革**

- 昭和48年 9月 法人設立
- 50年 4月 一関南保育園開園
- 平成26年 3月 園舎改築
- 28年 4月 認定こども園認可  
 幼保連携型認定こども園  
 「認定こども園 一関南保育園」開園  
 (定員2、3号認定60名 1号認定10名)

**教育目標**

- 「心も 身体も たくましい子どもに育てる」
1. 親から保育士へ 保育士から親へ
  2. 返事、挨拶ができる子ども
  3. 明るく、和やかな雰囲気


**研究主題**


家庭との食育活動の連携を目指して、  
 日々の保育の在り方を探り、  
 子どもの心身の健康と発達を促す

**特色ある教育活動**

- ・生活を通して生きる力を育成するように、認定こども園法第9条に規定する教育及び保育の目標の達成に努めます。
- ・毎月1回のお話の会(専門ボランティアの先生による読み聞かせ)、巡回図書バスを利用し本に親しむ機会を設けています。
- ・栄養士による食育講座、毎月1回のクッキング(3歳以上児)、異年齢児で野菜を育てる活動を通して食育活動に力を入れています。
- ・音楽に合わせてリトミック・ストレッチなどを取り入れたり、投てき板、雲梯、室内鉄棒や跳び箱、縄跳びやマット運動などの運動遊びを充実させています。5歳児は卒園までに逆上がり、側転、縄跳び、跳び箱ができることを目標にしており、できるんだ!という達成感を味わわせて自信につなげています。



<b>社会福祉法人 赤荻保育園</b> <b>認定こども園</b> <b>赤 荻 保 育 園</b>	〒021-0041 一関市赤荻字清水8-5 TEL : 25-4327 FAX : 25-4344 E-mail : akaho@vega.ocn.ne.jp	園 長 : 荻 野 直 人 教職員数 : 24名 園 児 数 : 87名(4) 学 級 数 : 6 (3) ( )内幼稚園分
	<p><b>教育目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの健康と安全を基本として、清く 明るく 直く 正しく 強い子に育てる</li> <li>○立派な社会人としての基礎を培い育てる</li> <li>○正しく考えやりぬく子</li> <li>○豊かな心を持ってみんなと協力できる子</li> <li>○すなおでたくましい子</li> <li>○他人に迷惑をかけず心身共に健康な子</li> </ul> <p><b>研究主題</b></p> <p>神道精神の理念のもと          社会、家庭生活の中で敬神崇祖の観念を中心とした思想道徳における根幹的存在を保育にいかす</p> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶会</li> <li>・体育教室</li> <li>・豊栄舞・浦安の舞</li> <li>・食育活動</li> </ul>	
<p><b>沿 革</b></p> <p>昭和52年 8月26日 保育園設立認可          53年 4月 1日 保育園設置認可          平成 3年 4月 1日 厚生省エンゼルプランによる乳児保育開始          7年 4月 1日 延長保育          平成 8年10月 1日 休日保育          22年 3月20日 改築・移転          28年 1月25日 認定こども園認可          28年 4月 1日 認定こども園設置</p>		

<b>社会福祉法人 ふじの園</b> <b>認定こども園</b> <b>一 関 藤 保 育 園</b>	〒021-0864 一関市旭町5-15 TEL : 23-3356 FAX : 23-3357 E-mail :	園 長 : 斎 藤 志 華 子 教職員数 : 24名 園 児 数 : 103名(8) 学 級 数 : 6 (3) ( )内幼稚園分
	<p><b>教育目標</b></p> <p>明るく元気で困難、失敗を恐れず、意欲的に最後まで取り組む力          思いやり、感謝の心、奉仕の心          自ら考えて行動する力</p> <p><b>研究主題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キリスト教的精神のもと、教育指導の中における宗教的諸理念の結合</li> <li>・モンテッソーリ教育の精神指導を通じ園児ひとりひとりに備わる創造的能力と人格の独立性の発展</li> </ul> <p><b>特色ある教育活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎キリスト教的情操教育</li> <li>◎モンテッソーリ教育          モンテッソーリ教具による個別指導を中心とした自由選択活動の環境を設定し、午前中の保育時間に取り組み、集中して活動することで、自己決定、自立へ導く</li> <li>◎クッキング教育・食育</li> <li>◎特別支援教育・音楽療法</li> <li>◎リズム運動・リトミック・わらべうた</li> </ul>	
<p><b>沿 革</b></p> <p>昭和34年10月 ベトレヘム宣教会司祭の招きでキリスト教の精神に基づき「一関藤保育園」の名称で開園          35年 5月 定員60名にて設置認可          42年 4月 0歳児保育の受諾と定員30名増90名となる          56年 4月 モンテッソーリ教育法による一環保育をめざし縦割制を実施          令和 2年 4月 認定こども園に移行          幼保連携型認定こども園一関藤保育園開園          2年 5月 新園舎落成</p>		

<b>社会福祉法人 さいわい会</b> <b>認定こども園</b> <b>幸町保育園</b>	〒021-0024 一関市幸町1-14	園長：千葉 修
	TEL：21-0370 FAX：48-3480 E-mail：	教職員数：38名 園児数：84名(6) 学級数：6(3) ( )内幼稚園分



**沿革**

昭和55年 4月 開園（社会福祉法人認可）  
平成元年 4月 特別保育事業実施（乳児保育事業実施施設として指定）、その後、延長保育事業、休日保育事業、障害児保育事業を実施  
10年 4月 定員変更 45名から55名に。  
一時保育事業を実施  
12年 7月 定員変更 55名から80名に。  
一関市真柴に分園（定員25名）を開設  
13年 4月 地域子育て支援センター（小規模型）を開設。（現在活動休止等）  
15年10月 本園・園庭整備完了  
23年 2月 本園・新園舎完成  
23年 4月 定員80名から100名に。（内、分園25名）  
令和 2年 4月 幼保連携型認定こども園に移行。  
定員100名から106名に。（内、分園25名）

**教育目標**

- 健康な子どもの育成
- 思いやりのある子どもの育成
- 善悪の区別がわかる子どもの育成
- みんなと仲良くする子どもの育成
- 自分のことは自分でする子どもの育成

**研究主題**

一人ひとりの子どもたちが主体性をもち、様々な遊びや経験をとおして生きる力の基礎を育むための援助の仕方を探る。

**特色ある教育活動**

- 小学校就学に向け、幼児期に身につけておきたい基礎作り  
「英会話教室」  
「ダンス教室」  
「体育教室」
- 身体機能を高める運動あそび（0～5歳児）
- リズムあそび（0～5歳児）
- 和太鼓指導（3～5歳児）
- 分園園児（0～2歳児）との異年齢児交流
- 地域社会との交流
- 0歳児から行う食育活動

様々な経験をとおし、思いやりの心や社会生活のルールを身につけられるよう働きかけるとともに、子どもが健康・安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることで、健全な心身の発達を図ります。

<b>学校法人 華泉学園</b> <b>幼保連携認定こども園</b> <b>花泉こども園</b>	〒029-3103 一関市花泉町老松字水沢9番	園長：高橋 仁 省
	TEL：82-4248 FAX：82-4493 E-mail：hanaizumioutien@muc.biglobe.ne.jp	教職員数：26名 園児数：56名(14) 学級数：6(3) ( )内幼稚園分



**沿革**

昭和27年 7月 開園  
30年 4月 花泉幼稚園として知事認可  
50年 4月 学校法人華泉学園  
花泉幼稚園として法人認可取得  
10月 新園舎完成  
60年 4月 定員120名を170名に変更  
園舎増築（3クラス→5クラスへ）  
平成11年 3月 園舎内外改修工事  
26年 4月 移転改築（花泉地区から老松地区へ）  
幼保連携型 認定こども園認可取得  
花と泉の保育園開所  
27年 4月 新幼保連携施設へ移行し  
認定花泉こども園へ名称変更

**教育目標**

1. げんきで、あかるく、すなおなこどもになるう。
2. よくみ、よくきき、よくかんがえるこどもになるう。
3. 決まりをまもり、いたわりのきもちをもつこどもになるう。

**研究主題**

異年齢児との関わりを通し、相手の気持ちに気づき、やさしさや思いやりの育ちに繋がるよう、教師が行うべき援助の仕方を探る。

**特色ある教育活動**

- ◇恵まれた自然環境を生かし心ゆたかに、かしこく、たくましい子どもになるように、幅広い領域に渡って保育を行っています。
- ◇一人ひとりを尊重し個性に合わせて保育を行っています。
- ◇教育は家庭と園の一体が大切なことから、連携を図り保育を行っています。
- ◇子どもの個性と創造性のある遊びを通して育てる知能教育(知能教材:めんたるぶれい)や専任教師との関わりを楽しみながら行う英語教室、体育教室など幼児期における学ぶ楽しさや、体を動かす楽しさに触れ、様々な活動を行っています。

<b>社会福祉法人 花泉福祉会</b> <b>認定こども園</b> <b>花泉保育園</b>	〒029-3101 一関市花泉町花泉字田東93 T E L : 82-2167    F A X : 82-3123 E-mail : hana-ho@r6.dion.ne.jp	園 長 : 宇津野 弘 人 教職員数 : 39名 園 児 数 : 95名(11) 学 級 数 : 6 (3)    ( )内幼稚園分
--	--	---



**沿 革**

- 昭和44年 4月 花泉保育園開設
- 47年 2月 社会福祉法人認可取得
- 3月 花泉保育園設置認可
- 56年12月 園舎改築、乳幼児保育開始
- 平成15年 3月 園舎移転新築・園章制定
- 4月 一時保育事業開始
- 26年 4月 体調不良児対応保育事業開始
- 30年 4月 幼保連携型認定こども園設立認可

**教育目標**

3つの目標を掲げ、豊かな経験を通して「生きる力」の基礎を育みます。

1. 命、友達、物を大切にする子ども
2. 自分のことは自分でする子ども
3. 考えて行動できる子ども

**研究主題**

「子ども主体の教育保育環境」

子どもたちがともに考え、学び、育ちあうための環境づくり

**特色ある教育活動**

- 仏教の教えのもと「思いやりの心」「うやまう心」を育てます。
- 広い園庭には、自然に触れる環境を整え、じゃぶじゃぶ池や築山、身体機能育成に有効な遊具などの豊かな環境を通して、たくましい身体作りに努めます。
- 専門員による体育指導や英語レッスンを導入し、年間を通してたくさん活動を行っています。
- 音楽に合わせてからだを動かす「リズム遊び」や「よさこい」、伝承文化「和太鼓」「茶道おけいこ」などの経験をし、豊かなこころを育てます。

<b>社会福祉法人 洗心福祉会</b> <b>公私連携幼保連携型認定こども園</b> <b>わくつこども園</b>	〒029-3205 一関市花泉町字涌津字悪法師38-312 T E L : 82-4143    F A X : 82-4285 E-mail : sensinfukusikai@abelia.ocn.ne.jp	園 長 : 菊 池 昌 弘 教職員数 : 27名 園 児 数 : 80名(7) 学 級 数 : 6 (3)    ( )内幼稚園分
---	---	--



**沿 革**

- 昭和43年 1月 1日 涌津保育園(定員60名)開園
- 4月15日 社会福祉法人洗心福祉会涌津保育園として法人認可
- 平成 8年 9月 園舎を増築
- 10年 4月 1日 定員を90名に変更する
- 14年 4月 1日 定員120名に変更
- 28年 4月 1日 定員90名に変更
- 31年 4月 1日 公私連携幼保連携型認定こども園わくつこども園へ名称変更  
定員123名

**基本理念**

素直な心  
相手を思いやる心を育む

**教育目標**

1. いつも笑顔で すなおな子供
2. 自律心を育て 礼儀正しく
3. 正しい交通ルールを守り宗教心を育てる

**研究主題**

様々な関わり、経験を通して豊かな人格形成の基礎を促していく環境と保育教諭の在り方を考える

**特色ある教育活動**

- 〈坐禅〉  
礼拝、坐禅を通して、心を整える時間を設ける。
- 〈広々とした園庭〉  
自然豊かな恵まれた園庭でのびのびと自主的な遊びを展開。
- 〈いけばな教室〉  
毎月のお稽古で草花に親しみ、落ち着いた雰囲気の中で活動に取り組んでいく。
- 〈創造教室〉  
0歳児から5歳児各クラスに応じた造形活動を中心にダイナミックな活動や遊びの時間。
- 〈茶道教室〉  
お互いを思いやりながら、挨拶の大切さや皆でお抹茶、お菓子を頂く楽しさを味わう。

学校法人 愛泉学園認定こども園  
**千厩小羊幼稚園**  
**千厩こひつじ園**

URL : <http://www.kohituji-kk.com/>

〒029-0803

一関市千厩町千厩字北方130-2

T E L : 52-5244 F A X : 52-5841

園 長 : 堀 秀 子

教職員数 : 18名

園 児 数 : 74名(26)

学 級 数 : 7 (4) ( )内幼稚園分



**沿 革**

- 昭和30年 4月 日本基督教団千厩教会「週間教会学校幼児科」開設
- 31年 4月 保育室と牧師館を併設した会堂を建設  
「こひつじ園」として幼児を募集
- 36年 3月 堀友三郎牧師着任、こひつじ園園長に就任
- 42年 3月 「こひつじ幼稚園」の認可を得る
- 51年 9月 堀友三郎牧師・園長急逝
- 52年 堀秀子氏こひつじ幼稚園園長に就任
- 56年12月 「学校法人愛泉学園」寄附行為及び千厩小羊幼稚園が認可される
- 平成20年 9月 「認可こども園」幼稚園型(認可外保育施設併設)認定
- 22年 5月 保育園設置認可を取得する(千厩こひつじ園)
- 22年 6月 認定こども園「幼保連携型」に変更する
- 27年 4月 「子ども・子育て支援新制度」に移行

**園教育目標**

幼児の与えられている可能性は計りしれないものがあり、その人格形成は、一朝一夕でなるものではありませんが、私どもは、その基礎を作り、その充実発展を期待しながら心身ともに健康で心豊かなたくましい人間づくりを目指し、次の幼児像を設定して、園・地域ぐるみでこれに取り組むようにしています。

1. 神を愛し人々を愛する子ども
2. 自分のことは自分でする子ども
3. 友だちと仲良く遊べる子ども
4. 物を創り出す子ども

**研究主題**

特別な支援を必要とする幼児の状態等に応じた計画的・組織的な指導のあり方について考える。

**特色ある教育活動**

- ① 礼拝を守る  
一日の中で友達と一緒に祈りをしながら私たちの気持ちをやさしい神様に向け、心から感謝や望み、そして願いを語りかける平和な落ち着いたひとときを持つようになっている。
- ② 積極的な体力づくり  
イ、長期にわたるプール遊び5月～10月  
ロ、皮フ鍛練(乾布摩擦、園内裸足運動)
- ③ 地域交流  
イ、地域との触れ合いを求めて職場慰問(花の日、収穫勤労感謝)  
ロ、高校生との共同作業(さつまいも苗植え～収穫)
- ④ 乳幼児と学童児の交流  
おやつ作り体験や季節の行事を通して交流を深めている。
- ⑤ 食育  
農園作りと食育への関連を深める。



# V 学 校 保 健

## 1 児 童 ・ 生 徒 の 健 康

◆令和2年度身長・体重（男女別平均値）

学 年		区 分	身 長 (cm)			体 重 (kg)		
			全 国	岩手県	一関市	全 国	岩手県	一関市
小 学 校	1年	男	116.5	117.2	116.7	21.4	22.1	22.0
		女	115.6	116.1	116.3	20.9	21.6	22.1
	2年	男	122.6	123.1	123.1	24.2	25.1	25.5
		女	121.4	121.9	121.8	23.5	24.1	24.5
	3年	男	128.1	128.8	128.2	27.3	28.2	27.8
		女	127.3	127.5	128.1	26.5	27.2	28.1
	4年	男	133.5	134.1	133.5	30.7	32.1	31.9
		女	133.4	134.4	133.7	30.0	31.5	31.7
	5年	男	139.0	139.7	140.0	34.4	35.7	36.5
		女	140.2	140.9	140.5	34.2	35.2	35.9
	6年	男	145.2	145.5	145.8	38.7	39.9	41.3
		女	146.6	147.7	147.4	39.0	41.5	41.4
中 学 校	1年	男	152.8	153.9	153.6	44.2	46.0	46.8
		女	151.9	152.0	152.0	43.8	45.2	44.8
	2年	男	160.0	160.7	160.5	49.2	51.8	50.4
		女	154.8	154.9	154.9	47.3	47.9	48.4
	3年	男	165.4	166.1	165.8	54.1	55.7	55.6
		女	156.5	156.5	155.8	50.1	51.5	50.7

## 2 学校保健団体等

(1) 令和3年度一関市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

【小学校】

R3.4.1現在

地域	学校名	内科	眼科	耳鼻科	歯科	薬剤師
一関	一関小学校	中野淳平 佐藤 円 木村 義人	二宮 修也	穴戸 潔	小家雅子 佐藤敏明 小野寺大	小野寺 秀俊
	山目小学校	加藤卓 小野寺威夫 寺崎 公二	小原 啓之	菊池 淳	根本昌幸 千田隆一 本田 徹	小野寺 佳美
	赤荻小学校	伊藤久雄 阿部 俊也	桑島 研一	小岩 哲夫	根本昌幸 明石 雅江	伊藤 民子
	中里小学校	佐藤 伸孝	桑島 研一	笠原 正明	加藤 史仁	下田 はる美
	滝沢小学校	及川 登	小原 啓之	穴戸 潔	小岩 竜太郎	小野 佐由美
	南小学校	佐藤重雄 水野 生一 桂島 忠俊	小原 啓之	穴戸 潔	千田隆一 中川 善浩 久保田 宗次	小笠原 妃恵子
	弥栄小学校	長澤 茂	小原 啓之	穴戸 潔	橋本 和彦	星 牧子
	萩荘小学校	長澤仁嗣 中野 淳平	二宮 修也	笠原 正明	梁川 輝行 近江 健司	小財 直子
	厳美小学校	山田 昌彦	桑島 研一	笠原 正明	村上 哲	畠山 歩
	舞川小学校	西城 寛	小原 啓之	笠原 正明	伊藤 廣明	小野 泰孝
花泉	永井小学校	菅原 忠興	二宮 修也	小岩 哲夫	佐藤 奨	阿部 義博
	涌津小学校	菅原 忠興	二宮 修也	小岩 哲夫	佐藤 奨	昆野 洋平
	油島小学校	本多 聡	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦	阿部 淳子
	花泉小学校	本多 聡	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦	高橋 浩太朗
	老松小学校	蓬田 邦彦	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦	阿部 義博
	金沢小学校	本多 聡	二宮 修也	小岩 哲夫	佐藤 奨	阿部 淳子
大東	大原小学校	吉田 浩昭	桑島 研一	笠原 正明	本多 洋之	小西 健太
	大東小学校	薄田 徹 (猿沢診療所)	桑島 研一	笠原 正明	熊谷 博伸	梅森 康裕
	興田小学校	菊池 宰	二宮 修也	笠原 正明	佐藤 博幸	鈴木 里沙
	猿沢小学校	薄田 徹 (猿沢診療所)	二宮 修也	笠原 正明	石岡 真理絵 (猿沢診療所)	佐藤 千香
千厩	千厩小学校	角田健也 岩本 浩之 菅原 正磨	小原 啓之	穴戸 潔	小原 健 (千厩歯科診療所) 畠山 康人 吉田 文和	白石 恵一
東山	東山小学校	齋藤勝彦 阿部 昭弘	桑島 研一	笠原 正明	三浦 康弘 伊藤 伸也	和賀 珠美
室根	室根東小学校	古澤健一 (室根診療所)	二宮 修也	笠原 正明	久保田 将史 (室根歯科診療所)	白石 恵一
	室根西小学校	古澤健一 (室根診療所)	二宮 修也	笠原 正明	久保田 将史 (室根歯科診療所)	白石 恵一
川崎	川崎小学校	千田 貴之	二宮 修也	小岩 哲夫	佐藤 正孝	皆川 登
藤沢	藤沢小学校	鈴木 かつお (藤沢病院)	二宮 修也	穴戸 潔	千葉 康	佐藤 一朗
	黄海小学校	鈴木 かつお (藤沢病院)	二宮 修也	穴戸 潔	菊池 光博	佐藤 一朗
	新沼小学校	鈴木 かつお (藤沢病院)	二宮 修也	穴戸 潔	千葉 康	佐藤 一朗

【中学校】

地域	学校名	内科	眼科	耳鼻科	歯科	薬剤師
一関	一関中学校	長澤 茂夫 佐藤 文夫	小原 啓之	穴戸 潔	久保田 文吾 本田 吾徹	小笠原 慈夫
	磐井中学校	小野寺 威夫 寺崎 公二人 木村 義人	桑島 研一	小岩 哲夫	梁川 輝行 加藤 史仁 千葉 航	伊藤 和恵
	一関東中学校	菅野 記豊	小原 啓之	穴戸 潔	村上 哲	中野 輝美
	桜町中学校	及川 登郎 鈴木 徹	二宮 修也	穴戸 潔	近江 健司 橋本 和彦	高橋 諭
	萩荘中学校	及川 登	二宮 修也	笠原 正明	細井 隆夫	佐藤 渉
	巖美中学校	山田 昌彦	桑島 研一	笠原 正明	清野 精仁	岩井 確司
	舞川中学校	桂島 忠俊	小原 啓之	笠原 正明	小岩 竜太郎	小野寺 左岐子
花泉	花泉中学校 (内科は学年毎)	木村 義人 菅原 忠興 本多 聡	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦 佐藤 奨	阿部 淳子
大東	大原中学校	薄田 徹 (猿沢診療所)	桑島 研一	笠原 正明	亀卦川 一郎	和賀 珠美
	大東中学校	菅野 孝	桑島 研一	笠原 正明	石岡 真理絵 (猿沢診療所)	和賀 珠美
	興田中学校	菊池 宰	二宮 修也	笠原 正明	佐藤 博幸	鈴木 里沙
千厩	千厩中学校	谷藤 正人 盛合 理	小原 啓之	穴戸 潔	佐藤 晴耕	千葉 直子
東山	東山中学校	齋藤 勝彦	桑島 研一	笠原 正明	三浦 康弘	村上 達郎
室根	室根中学校	古澤 健一 (室根診療所)	二宮 修也	笠原 正明	久保田 将史 (室根歯科診療所)	白石 恵一
川崎	川崎中学校	千田 貴之	二宮 修也	小岩 哲夫	佐藤 正孝	皆川 登
藤沢	藤沢中学校	鈴木 かつお (藤沢病院)	二宮 修也	穴戸 潔	千葉 康	佐藤 一朗

【幼稚園】

地域	学校名	内科	眼科	耳鼻科	歯科	薬剤師
一関	舞川幼稚園	佐藤 重雄	小原 啓之	笠原 正明	加藤 史仁	阿部 清美
	真滝幼稚園	桂島 忠俊	小原 啓之	穴戸 潔	伊藤 廣明	千田 友紀子
	巖美幼稚園	加藤 卓	桑島 研一	笠原 正明	橋本 和彦	畠山 歩
	赤荻幼稚園	加藤 卓	桑島 研一	小岩 哲夫	小家 雅子	中村 ちあき
	萩荘幼稚園	鈴木 徹郎	二宮 修也	笠原 正明	清野 精仁	昆野 洋平
	狐禅寺幼稚園	及川 登	小原 啓之	笠原 正明	梁川 浩	千葉 久仁子
	弥栄幼稚園	長澤 茂	小原 啓之	穴戸 潔	久保田 智雄	小財 直子
大東	摺沢幼稚園	菅野 孝	桑島 研一	笠原 正明	熊谷 博伸	和賀 珠美

(2) 一関市学校保健会役員

役職名	氏名	職業等	勤務先・所属先等
顧問	寺崎 公二	医師	寺崎内科胃腸科医院 (一関市医師会 会長)
〃	金沢 純一	歯科医師	平泉歯科診療所 (一関歯科医師会 会長)
〃	小笠原 慈夫	薬剤師	かたくり薬局 (一関薬剤師会 会長)
〃	仲本 光一	保健所長	一関保健所
〃	小菅 正晴	教育長	一関市教育委員会
会長	村上 泰夫	校長	中里小学校 (市校長会)
副会長	秋保 茂樹	医師	秋保クリニック (医師会)
〃	京極 和洋	市P連 会長	P T A会長 (市P連)
理事	齊藤 純也	医師	齊藤産婦人科医院 (医師会)
〃	木村 義人	医師	木村消化器内科 (医師会)
〃	小岩 哲夫	医師	こいわ耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック(医師会)
〃	小家 雅幸	歯科医師	小家歯科医院 (歯科医師会)
〃	千田 敬	薬剤師	昭和病院 (薬剤師会)
〃	福田 博美	校長	川崎小学校 (市校長会)
〃	佐藤 博子	養護教諭	磐井中学校
〃	千葉 トヨ子	養護教諭	室根中学校
〃	佐藤 知恵	栄養教諭	萩荘小学校・西部学校給食センター
〃	佐々木 亜喜子	栄養教諭	一関東中学校・真滝学校給食センター
〃	菅原 正樹	教育部長	一関市教育委員会
監事	小野寺 浩之	校長	赤荻小学校 (市校長会)
〃	氏家 永士	市P連 監事	南小学校P T A会長 (市P連)

(3) 一関市学校保健会評議員

番号	氏名	職業等	勤務先・所属先等
1	二宮 修也	医師	二宮眼科医院 (医師会)
2	土屋 輝夫	院長	岩手県立南光病院 (医師会)
3	菅原 康二	医師	菅原整形外科クリニック (医師会)
4	細井 隆夫	歯科医師	ほそい歯科クリニック (歯科医師会)
5	阿部 淳子	薬剤師	あさひ調剤薬局 (薬剤師会)

番号	氏名	所属校等	番号	氏名	所属校等
6	沼倉 秀一	一関西地域 P T A	32	千葉 弘恵	千厩小
7	千葉 昭信	一関北地域 P T A	33	村上 麗子	東山小
8	佐々木 彰徳	一関東地域 P T A	34	佐々木 文子	藤沢小
9	三浦 孝浩	大東地域 P T A	35	新井 桃子	黄海小
10	三浦 和志	千厩・室根 地域P T A	36	及川 美根子	新沼小
11	千葉 健太	東山・川崎・ 藤沢地域P T A	37	及川 久美	室根東小
12	佐藤 聖子	一関小	38	山形 知美	室根西小
13	千葉 友子	山目小	39	佐藤 葵	川崎小
14	蛭子井 楓	赤荻小	40	千葉 比佐子	一関中
15	阿部 緑	中里小	41	佐藤 博子	磐井中
16	千田 咲良	滝沢小	42	高橋 節子	一関東中
17	千葉 いずみ	南小	43	住吉 美保	桜町中
18	佐藤 愛	弥栄小	44	小野寺 雅子	萩荘中
19	須藤 智織	萩荘小	45	菅原 照子	巖美中
20	高原 悠以	巖美小	46	岩田 真由美	舞川中
21	小澤 ちさと	舞川小	47	吉川 美奈子	花泉中
22	福土 育美	永井小	48	熊谷 百華	大原中
23	内田 理利子	涌津小	49	小山 ゆかり	大東中
24	千葉 伸江	油島小	50	今野 優真	興田中
25	大島 保乃実	花泉小	51	大友 久美子	千厩中
26	山田 理恵	老松小	52	安藤 琴音	東山中
27	渡邊 幸子	金沢小	53	尾形 千春	藤沢中
28	末永 小晴	大原小	54	千葉 トヨ子	室根中
29	菅原 佳織	大東小	55	高橋 紀子	川崎中
30	樋口 厚子	興田小	56	千葉 百合子	一関一附中
31	千葉 初代	猿沢小			

事務局：一関市立中里小学校内 TEL23-2231

事務局長：佐々木由香里

事務局員：佐藤 一恵 三浦 和江

(市教委) 金野 幸 諏訪奈緒美



### 3 学校給食

#### (1) 学校給食の現状

令和3年5月1日現在

##### ① 年間予定回数

小学校 170回  
中学校 164回

##### ② 給食費

小学校 単価 279円 年額 47,430円  
中学校 単価 336円 年額 55,104円

##### ③ その他

米飯給食は、週4日実施。

食物アレルギーを有する児童生徒に対しては、個別に対応。

##### ④ 学校給食センター配食状況等

施設名	喫食者数 (教職員含む)	調理場の職員構成等	
		栄養教諭・学校栄養職員等	調理員
西部学校給食センター 所長：千葉 稔	20	栄養教諭 2名	委託
山目小学校	516	〒021-0902	
萩荘小学校	375	萩荘字境ノ神173	
巖美小学校	127	電話 32-2220 FAX 32-1115	
磐井中学校	527	開設：平成17年4月	
巖美中学校	80		
小3中2 計5校 小計	1,645		
西部第二学校給食センター 所長：岩淵 道明	16	栄養教諭 1名	委託
赤萩小学校	323	〒021-0902	
中里小学校	213	萩荘字境ノ神170-1	
萩荘中学校	204	電話 32-1600 FAX 32-1601	
他 平泉中学校 ※給食事務委託	199	開設：平成28年4月	
小2中2 計4校 小計	955		
真滝学校給食センター 所長：千葉 一枝	20	栄養教諭 1名	18
一関小学校	667	〒029-0132	
南小学校	407	滝沢字水口103-63	
舞川小学校	104	電話 21-1320 FAX 21-1321	
滝沢小学校	164	開設：平成22年4月	
弥栄小学校	54		
一関東中学校	101		
舞川中学校	51		
小5中2 計7校 小計	1,568		

施設名	喫食者数 (教職員含む)	調理場の職員構成等	
		栄養教諭・学校栄養職員等	調理員
花泉学校給食センター 所長：小野寺邦芳	23	学校栄養職員 1名	委託
永井小学校	110	〒029-3205	
涌津小学校	129	花泉町涌津字松子沢21	
油島小学校	49	電話 82-3615 FAX 82-3357	
花泉小学校	144	開設：昭和48年4月	
老松小学校	108	改築：平成13年4月	
金沢小学校	97		
黄海小学校	99		
花泉中学校	327		
一関中学校	230		
桜町中学校	309		
小7中3 計10校 小計	1,625		
大東学校給食センター 所長：畠山 和弘	22	栄養教諭 1名	委託
大原小学校	113	〒029-0523	
大東小学校	243	大東町摺沢字上塚ノ沢37-1	
猿沢小学校	66	電話 75-2774 FAX 75-2789	
興田小学校	73	開設：平成20年4月	
東山小学校	248		
大原中学校	67		
大東中学校	197		
興田中学校	67		
東山中学校	144		
他 摺沢幼稚園	27	※補食給食	
小5中4園1 計10施設 小計	1,267		
千厩学校給食センター 所長：菅原 広文	23	栄養教諭 1名	委託
千厩小学校	440	〒029-0803	
清明支援学校千厩分教室小学部	21	千厩町千厩字上駒場290-1	
室根東小学校	79	電話 51-3066 FAX 51-3067	
室根西小学校	102	開設：平成25年4月	
川崎小学校	134		
藤沢小学校	179		
新沼小学校	45		
千厩中学校	287		
清明支援学校千厩分教室中学部	13		
室根中学校	108		
川崎中学校	67		
藤沢中学校	171		
小7中5 計12校 小計	1,669		
全体	合計	人	人
6施設	8,729	9	18

(2) 学校給食センター

<h2 style="text-align: center;">西部学校給食センター</h2>	〒021-0902 一関市萩荘字境ノ神173 TEL : 32-2220 FAX : 32-1115 E-mail : seikyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所 長：千葉 稔 職 員 等：職員4人、委託17人 配食校数：5校 調理能力：2,100食
 <p><b>沿 革</b></p> <p>平成17年4月 旧一関市初の給食センターとして、萩荘小学校の隣接地に開設。達古袋小学校、厳美小学校、厳美中学校、中里中学校、山目中学校、萩荘小学校、萩荘中学校の7校へ供給。 調理能力 2,100食</p> <p>平成22年4月 山目小学校へ供給を開始し、8校へ供給。</p> <p>平成25年4月 達古袋小学校が厳美小学校に統合し、7校へ供給。</p> <p>平成27年4月 中里中学校と山目中学校の統合と、本寺小中学校の共同調理場の廃止に伴う本寺小中学校への供給開始により、8校に供給。</p> <p>平成28年4月 調理業務を民間委託。萩荘中学校が西部第二給食センターからの供給となり、7校に供給。</p> <p>平成30年4月 本寺小学校と厳美小学校、本寺中学校と厳美中学校の統合により、5校に供給。</p>	<p><b>魅力ある食事の工夫</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地元食材を積極的に使用している。</li> <li>② 目で楽しむことを念頭に彩り良い食材を選択している。</li> <li>③ 季節に合ったメニューと合わせ、季節行事にこだわった食事やデザートを提供することになっている。</li> <li>④ その日のメニューの意味やいわれを説明したものを学校に提供し、昼時間に放送するなど給食に興味が出るよう工夫している。</li> </ol> <p><b>食材の確保</b></p> <p>4つの産直代表等で組織する「食材供給連絡協議会」の協力により、地元中心の食材の確保に努めている。</p> <p><b>学校との連携</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 6月の食育月間には、春の交流給食として、地元の食材生産者等や食材取扱い業者の団体（給食センター食材供給産直連絡協議会）の代表が、希望のあった学校の子供たちと一緒に給食を食べる機会を作っている。</li> <li>② 1月には全国学校給食週間に合わせ、いろいろな地方の郷土料理や様々な国の料理などを提供するとともに、実際に給食を作っている調理員全員による、萩荘小学校での交流給食を実施している。</li> </ol> <p><b>施設の概要</b></p> <p>【構 造】鉄骨造平屋建      【床面積】1002.62㎡                  【敷地面積】40,062.75㎡      【厨房方式】ドライシステム方式</p>	

<h2 style="text-align: center;">西部第二学校給食センター</h2>	〒021-0902 一関市萩荘字境ノ神170-1 TEL : 32-1600 FAX : 32-1601 E-mail : seikyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所 長：岩淵 道明 職 員 等：職員3人、委託13人 配食校数：4校 調理能力：1,000食
 <p><b>沿 革</b></p> <p>平成28年4月 一関市内の小中学校全給食センター化を実現するため、西部学校給食センターの隣接地に開設。赤荻小学校、中里小学校、萩荘中学校、平泉中学校の4校へ供給を開始。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理は業者委託とし、調理能力は1日1,000食。</li> <li>・熱源は電気とガスの併用。</li> <li>・配送はコンテナ車3台による業務委託。</li> </ul>	<p><b>魅力ある食事の工夫</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地元食材を積極的に使用している。</li> <li>② 目で楽しむことを念頭に彩り良い食材を選択している。</li> <li>③ 季節に合ったメニューと合わせ、季節行事にこだわった食事やデザートを提供している。</li> <li>④ その日のメニューの意味やいわれを説明したものを学校に提供し、昼時間に放送するなど給食に興味が出るよう工夫している。</li> </ol> <p><b>食材の確保</b></p> <p>4つの産直代表等で組織する「食材供給連絡協議会」の協力により、地元中心の食材の確保に努めている。</p> <p><b>施設の特徴</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 調理場の床を常に乾いた状態にして菌の繁殖や水はねによる二次汚染を防止するドライシステムを採用。</li> <li>② 食材検収前室を2ヶ所とし、魚肉卵類と野菜果物類を分けて搬入し、食材の交差による汚染防止や作業の安全性を確保。</li> <li>③ アレルギー児童生徒に対応するため、アレルギー調理室を完全個室として設置。</li> <li>④ 食育に配慮するため、下処理室・調理室内を広く見学できるよう2階に研修室を配置。</li> </ol> <p><b>施設の概要</b></p> <p>【構 造】鉄骨造一部2階建      【床面積】749.98㎡                  【敷地面積】5,385.44㎡      【厨房方式】ドライシステム方式</p>	

<h2>真滝学校給食センター</h2>	〒029-0132 一関市滝沢字水口103-63 TEL : 21-1320 FAX : 21-1321 E-mail : matakiky@city.ichinoseki.iwate.jp	所 長 : 千 葉 一 枝 職 員 等 : 職員21人、委託5人 配食校数 : 7校 調理能力 : 1,600食
	<b>現在の供給校</b> 一関小学校・南小学校・滝沢小学校・弥栄小学校・舞川小学校・ 一関東中学校・舞川中学校	
<b>沿 革</b> 平成22年4月19日 一関地域の滝沢小学校、弥栄小学校、一関中学校、一関東中学校、桜町中学校、舞川中学校、川崎地域の薄衣小学校、門崎小学校、川崎中学校の9つの小中学校に学校給食を開始(約1,600食)。 平成24年4月 平泉町からの要望により、平泉町立平泉中学校に学校給食を供給開始。 平成27年4月 平成26年度までの自校給食校の一関小学校、中里小学校、舞川小学校に供給を開始。川崎小学校、川崎中学校が千厩学校給食センターからの供給に変更。一関中学校、桜町中学校が花泉学校給食センターからの供給に変更。中里小学校、平泉中学校が西部第二学校給食センターからの供給に変更。 平成28年4月 平成27年度まで自校給食校の南小学校に供給を開始。	<b>魅力ある食事の工夫</b> ① 栄養バランスのとれた食事内容とし、健康の保持増進を図る。 ② 地場産品を取り入れた献立の実施。 ③ 郷土食・行事食の実施(年間を通じた行事に合わせて提供します)。 ④ リクエスト給食の実施(学校ごと及び小学6年生・中学3年生のリクエスト)。	
<b>施設の特徴</b> ① 施設内の厨房機器や空調はオール電化方式を採用。 ② より衛生的で安全性が高い調理システムを導入し、働く人にとっても快適で作業効率の良い環境を整備。		
<b>施設の概要</b> <b>【構 造】</b> 鉄骨造一部2階建 <b>【敷地面積】</b> 4,374.82㎡ <b>【床面積】</b> 993.85㎡ <b>【厨房方式】</b> ドライシステム方式		

<h2>花泉学校給食センター</h2>	〒029-3205 一関市花泉町涌津字松子沢21 TEL : 82-3615 FAX : 82-3357 E-mail : hanakyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所 長 : 小野寺 邦 芳 職 員 等 : 職員3人、委託15人 配食校数 : 10校 調理能力 : 1,950食
	<b>○現在の供給校</b> 永井小学校、涌津小学校、油島小学校、花泉小学校、老松小学校、金沢小学校、黄海小学校、花泉中学校、一関中学校、桜町中学校	
<b>沿 革</b> 昭和48年4月 花泉町老松地内に「花泉町立学校給食センター」を開設し、町内の小中学校に給食を配食(直営)給食輸送車3台配車。 平成2年4月 調理業務を民間会社(株式会社メフォス)に委託。 平成13年3月 花泉町涌津字松子沢地内に完全ドライ方式の「花泉町立学校給食センター」を移転新築。 平成20年4月 給食会計を「公会計」から「私会計」に移行。 平成24年4月 給食配食校を花泉町内の小中学校(8校)と藤沢町内の小中学校(4校)を加え、1,908食を供給。 平成25年4月 給食配食校が花泉町内の小中学校と藤沢町黄海小学校に変更になり、1,300食を供給。調理業務委託先の変更(一富士フードサービス株式会社) 平成26年4月 厨房内の空調設備・ボイラー・配管の更新工事を行う。 平成27年4月 給食配食校に新たに一関中学校・桜町中学校が加わり、1,853食を供給。新たに給食配送車2台を増車し、5台を保有。 平成31年4月 調理業務委託先の変更(株式会社 東洋食品)	<b>○表彰履歴</b> 平成28年1月8日 岩手県学校給食センター協議会長表彰(調理コンクール) 平成28年10月15日 全国学校給食甲子園実行委員会表彰(第11回全国給食甲子園) 平成30年7月28日 厚生労働大臣表彰(栄養関係功労者表彰)	
<b>○魅力ある食事の工夫</b> ① 地元食材を積極的に使用しています。 ② 希望献立&セレクト給食：希望献立は、献立作成の留意点を押さえた後、各学校で考案した献立を給食で提供している。また、「セレクト給食」は卒業祝いの意味を込め6年生を対象に実施している。 ③ アンコール給食(中学校) 中学校3年生を対象に「卒業おめでとう。」の気持ちを込めて、もう一度食べたい献立を募り、1～3月に取り入れている。その際、給食の思い出なども記録してもらい情操教育の一助としている。		
<b>○施設の概要</b> <b>【構 造】</b> 鉄骨造一部2階建 <b>【敷地面積】</b> 3,256.66㎡ <b>【建築面積】</b> 871.90㎡ <b>【床面積】</b> 841.50㎡ <b>【厨房方式】</b> ドライシステム方式		



<h2>大東学校給食センター</h2>	〒029-0523 一関市大東町摺沢字上塚ノ沢37-1 TEL: 75-2774 FAX: 75-2789 E-mail: daikyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所 長：畠山和弘 職 員 等：職員3人、委託19人 配食校数：9校 1施設 調理能力：2,000食							
 <p><b>沿 革</b></p> <p>平成20年4月1日 従来の大原、摺沢、興田及び東山学校給食センターを一本化し、合併後の一関市で初めて旧町村枠を超えた施設として開設。 当初は大原小、内野小、摺沢小、興田小、猿沢小、渋民小、曾慶小、長坂小、田河津小、松川小、大原中、大東中、興田中、猿沢中、東山中、内野保育園、摺沢幼稚園、丑石児童館の15校、3施設に供給。</p> <p>平成26年4月 学校統合等により、大原小、大東小、興田小、猿沢小、東山小、大原中、大東中、興田中、東山中、摺沢幼稚園の9校、1施設に供給。</p>	<p><b>魅力ある食事の工夫</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地元食材を積極的に取り入れる。</li> <li>② 郷土料理や行事食を積極的に取り入れ、地域性のある献立にしている。</li> <li>③ 様々な食材や料理を取り入れ、多くの食体験をできるようにしている。</li> </ol> <p><b>学校との連携</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 給食センターの1日の流れをまとめた資料や作業の様子を映したDVDを配布している。作り手の顔が見えることで、子ども達の感謝の心を育てる。</li> <li>② 学級担任や給食担当者と連携し、児童生徒の実態に合わせた食に関する指導を行っている。</li> <li>③ 生産者が学校を訪問し、子ども達と一緒に給食を食べる「生産者交流会」を実施している。食材を育てる大変さや生産者の思いを知ることで、生産者や給食への感謝と理解が深まる。</li> <li>④ 子ども達が給食センターを訪問し、調理作業の見学を行っている。</li> </ol> <p><b>施設の特徴</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ドライシステム、交差のない動線を採用し衛生的な環境。</li> <li>② 施設内の厨房機器や空調などはオール電化方式を採用することにより衛生的で安全性が高く、働く人にも快適な環境。</li> <li>③ 夜間電力利用の氷蓄熱式空調システムと大型電気温水器を利用し経費削減を図っている。</li> </ol> <p><b>施設の概要</b></p> <table border="0"> <tr> <td>【構 造】</td> <td>鉄骨造一部2階建</td> <td>【延床面積】</td> <td>991.58㎡</td> </tr> <tr> <td>【敷地面積】</td> <td>6,159㎡</td> <td>【厨房方式】</td> <td>ドライシステム方式</td> </tr> </table>	【構 造】	鉄骨造一部2階建	【延床面積】	991.58㎡	【敷地面積】	6,159㎡	【厨房方式】	ドライシステム方式
【構 造】	鉄骨造一部2階建	【延床面積】	991.58㎡						
【敷地面積】	6,159㎡	【厨房方式】	ドライシステム方式						

<h2>千厩学校給食センター</h2>	〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場290-1 TEL: 51-3066 FAX: 51-3067 E-mail: senkyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所 長：菅原広文 職 員 等：職員3人、委託27人 配食校数：12校 調理能力：2,200食							
 <p><b>沿 革</b></p> <p>平成25年4月1日 従来の千厩及び室根学校給食センターを一本化し、新たに千厩学校給食センターとして開設。 千厩小学校、小梨小学校、清田小学校、奥玉小学校、磐清水小学校、岩手県立一関清明支援学校千厩分教室小学部、室根東小学校、室根西小学校、藤沢小学校、新沼小学校、千厩中学校、岩手県立一関清明支援学校千厩分教室中学部、室根中学校、藤沢中学校の14校に供給。</p> <p>平成27年4月 川崎小学校、川崎中学校を加えた16校に供給。</p> <p>平成30年4月 千厩小学校、小梨小学校、清田小学校、奥玉小学校、磐清水小学校が統合した新千厩小学校の開校により、12校に供給。</p>	<p><b>魅力ある食事の工夫</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地元食材を積極的に使用している。</li> <li>② 季節にあったメニューと合わせ、季節行事にこだわった食事やデザートを提供している。</li> <li>③ 多様な食材を使用し、栄養価を高め、いろいろな味にふれ、味覚の幅を広げるとともに、児童生徒の食べやすさを考慮した調理方法や味付けをしている。</li> </ol> <p><b>学校との連携</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 栄養教諭が学校を訪問し、子ども達と一緒に給食を食べながら食事の重要性や学校給食の献立の考え方などを学習する「ふれあい給食」を実施している。</li> <li>② 児童生徒の食への興味関心を深め、知識や自分で選択する力を高めるため、学級担任と連携した食の授業を行っている。</li> </ol> <p><b>施設の特徴</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ドライシステムを採用した衛生的な環境。</li> <li>② 施設内の厨房機器や空調などはオール電化方式を採用、衛生的で安全性が高く、働く人にも快適な環境。</li> </ol> <p><b>施設の概要</b></p> <table border="0"> <tr> <td>【構 造】</td> <td>鉄骨造一部2階建</td> <td>【延床面積】</td> <td>1,104.33㎡</td> </tr> <tr> <td>【敷地面積】</td> <td>5,944㎡</td> <td>【厨房方式】</td> <td>ドライシステム方式</td> </tr> </table>	【構 造】	鉄骨造一部2階建	【延床面積】	1,104.33㎡	【敷地面積】	5,944㎡	【厨房方式】	ドライシステム方式
【構 造】	鉄骨造一部2階建	【延床面積】	1,104.33㎡						
【敷地面積】	5,944㎡	【厨房方式】	ドライシステム方式						

## VI 各種委員会

### 1 一関市中学生の社会体験学習実行委員会

氏 名	所 属 ・ 職 名	
船 山 賢 治	一 関 商 工 会 議 所	業 務 課 長
千 葉 幸 男	一 関 商 工 会 議 所 千 厩 支 所	支 所 長
鈴 木 直 子	一 関 商 工 会 議 所 藤 沢 支 所	支 所 長
小 野 寺 正 寿	一 関 市	商 工 労 働 部 次 長 兼 工 業 労 政 課 長
佐 藤 俊 憲	一 関 市	商 工 労 働 部 工 業 労 政 課 長 補 佐 兼 労 政 係 長
三 浦 洋	一 関 市	商 工 労 働 部 次 長 兼 観 光 物 産 課 長
金 野 馨	ジ ョ ブ カ フ ェ ー 一 関	セ ン タ ー 長
下 田 和 子	ジ ョ ブ カ フ ェ ー 一 関	就 職 ア ド バ イ ザ ー
鈴 木 理 香	ジ ョ ブ カ フ ェ ー 一 関	就 職 ア ド バ イ ザ ー
佐 々 木 晋	大 東 中 学 校	校 長
時 枝 直 樹	一 関 中 学 校	校 長
瀧 野 澤 徹	磐 井 中 学 校	校 長
岩 渕 元 希	大 東 中 学 校	P T A 代 表
稲 邊 督	一 関 中 学 校	P T A 代 表
吉 川 直 樹	磐 井 中 学 校	P T A 代 表
小 菅 正 晴	一 関 市 教 育 委 員 会	教 育 長

#### <事務局>

氏 名	所 属 ・ 職 名	
菅 原 正 樹	一 関 市 教 育 委 員 会	教 育 部 次 長 兼 学 校 教 育 課 長
志 賀 誠	一 関 市 教 育 委 員 会	学 校 教 育 課 主 幹
佐 藤 宣 裕	一 関 市 教 育 委 員 会	学 校 教 育 課 主 幹 兼 学 校 教 育 係 長
南 浦 元	一 関 市 教 育 委 員 会	主 任 指 導 主 事
柳 原 和 歌 子	一 関 市 教 育 委 員 会	指 導 主 事
千 葉 真	一 関 市 教 育 委 員 会	指 導 主 事
小 野 寺 聖 子	一 関 市 教 育 委 員 会	指 導 主 事 (担 当)
川 村 晃 博	一 関 市 教 育 委 員 会	指 導 主 事
片 沼 光 輝	一 関 市 教 育 委 員 会	指 導 主 事

## 2 一関市就学支援委員会

### (1) 目的

特別な教育的支援を必要とする就学予定者、児童、生徒（以下「要支援児等」という）について適切な教育的対応を行うため。

### (2) 業務

① 要支援児等の障がいの程度について専門的な検査診断を行い、特別支援学校又は特別支援学級への就学または入級に係る適正な判断を行うこと。

② 要支援児等に対する教育的対応について、適切な相談、助言及び支援を行うこと。

### (3) 委員

	分類	所属	職名	氏名	備考	
1	病院	岩手病院	医師	平野 貞夫	委員	
2		南光病院	院長	土屋 輝夫	委員	
3	特別支援学校	一関清明支援学校	副校長	金 濱 基	委員	
4			教諭	佐々木 祐子	委員・調査員	
5			教諭	小田島 史世	委員・調査員	
6			教諭	小野 寺 伸	委員・調査員	
7	関係機関 【市】	一関子育て支援センター	主 事	田 村 真理恵	委員	
8		一関子育て支援センター	療育指導員	小野 寺 久美	調査員	
9		一関子育て支援センター	療育指導員	佐 藤 千 萩	調査員	
10		一関子育て支援課	保健師	村 上 美 有	委員・調査員	
11		一関子育て支援センター	幼児期特別支援コーディネーター	細 川 彩 子	委員・調査員	
12		一関子育て支援センター	幼児期特別支援コーディネーター	館 澤 暁 美	委員・調査員	
13		花泉支所保健福祉課	主任保健師	小 山 千 春	調査員	
14		大東支所保健福祉課	保健師	佐 藤 綾 香	調査員	
15		千厩支所保健福祉課	保健師	伊 東 由 美	調査員	
16		東山支所保健福祉課	主任保健師	合 口 奈 津 子	調査員	
17		室根支所保健福祉課	課長補佐兼保健係長	佐 藤 恵 美 子	調査員	
18		川崎支所保健福祉課	主任保健師	熊 谷 聡 美	調査員	
19		藤沢支所保健福祉課	保健師	及 川 香 奈	調査員	
20		幼稚園	萩 荘 幼稚園	園 長	藤 野 清 貴	委員
21		小中学校 (校長)	山目小学校	校 長	小 山 祐 二	委員 長
22			花泉小学校	校 長	山 内 弘 文	委員
23			千厩小学校	校 長	長 山 政 志	委員
24			大東小学校	校 長	及 川 輝 美	副委員 長
25			藤沢中学校	校 長	菅 野 美 保 子	委員
26	小中学校 (教諭)	山目小学校	教 諭	金 野 佳 代 子	調査員	
27		赤荻小学校	教 諭	吉 田 涼 子	調査員	
28		南小学校	教 諭	紫 原 真 由 美	調査員	
29		東山小学校	教 諭	植 村 美 栄 子	調査員	
30		大原小学校	教 諭	鈴 木 昇	調査員	
31		大東小学校	教 諭	伊 藤 さ ゆ り	調査員	
32		千厩小学校	教 諭	石 川 幸 子	調査員	
33		室根東小学校	教 諭	千 葉 紀 江	調査員	
34		大東中学校	教 諭	黒 川 は る な	調査員	
35		一関市教育委員会	特別支援教育コーディネーター	高 橋 由 紀 子	調査員	

事務局	一関市 教育委員会	教育部次長兼学校教育課長	菅 原 正 樹	
		主任指導主事	南 浦 元	一関地域担当(中学校)
		指導主事	柳 原 和 歌 子	一関地域担当(小学校)
		指導主事	千 葉 真	室根・藤沢地域担当
		指導主事	小野 寺 聖 子	大東地域担当
		指導主事	川 村 晃 博	千厩・川崎・東山地域担当
		特別支援コーディネーター	片 沼 光 輝	花泉地域担当
		特別支援コーディネーター	菊 地 恵 子	西地区担当
		田 中 佳 代 子	東地区担当	

### 3 一関市生徒指導推進連絡協議会

#### (1) 目的

児童生徒の健全育成と非行防止の強化を図ることを目的とする。

#### (2) 事業

- ① 児童生徒の健全育成と非行防止に関する情報交換、研究協議、研修及び推進体制の整備等を行う。
- ② 健全育成対策と非行防止の調査研究に関すること。
- ③ その他目的達成のために必要な事業に関すること。

#### (3) 構成員

##### 【顧問】

一関市教育委員会	教育長	小菅正晴
一関警察署	署長	上野太郎
千厩警察署	署長	古里正博

##### 【委員】

組織名	役職	所属	職名	氏名
一関地域学校警察連絡協議会	会長	巖美中学校	校長	千葉豪
花泉地域生徒指導連絡協議会	会長	花泉中学校	校長	奥田昌夫
大東地域生徒指導連絡協議会	会長	興田中学校	校長	山蔭深思
千厩地域生徒指導連絡協議会	会長	千厩中学校	校長	箱山智美
東山地域生徒指導・学校警察連絡協議会	会長	東山中学校	校長	佐藤勉
室根地域学校警察等連絡協議会	会長	室根中学校	校長	加藤建一
川崎町生徒指導連絡協議会	会長	川崎中学校	校長	及川公子
藤沢地域生徒指導連絡協議会	会長	藤沢中学校	校長	菅野美保子
県南生徒指導連合会	会長	一関工業高等学校	校長	佐々木直美
所属	職名・氏名			
一関警察署	生活安全課長	阿部寿之		
千厩警察署	生活安全課長	佐々木啓友		
県南教育事務所	在学青少年指導員	加藤清		
一関市教育委員会	教育部次長兼学校教育課長	菅原正樹		

##### 【事務局】

組織名	役職	所属	職名	氏名
一関地域学校警察連絡協議会	事務局長	巖美中学校	副校長	佐藤浩之
花泉地域生徒指導連絡協議会	事務局長	花泉中学校	教諭	熊谷文利
大東地域生徒指導連絡協議会	事務局長	興田中学校	副校長	菊池啓志
千厩地域生徒指導連絡協議会	事務局長	千厩中学校	副校長	林哲也
東山地域生徒指導・学校警察連絡協議会	事務局長	東山中学校	副校長	菅原文江
室根地域学校警察等連絡協議会	事務局長	室根中学校	副校長	那須聡
川崎町生徒指導連絡協議会	事務局長	川崎中学校	副校長	楠美富栄
藤沢地域生徒指導連絡協議会	事務局長	藤沢中学校	副校長	川崎茂樹
県南生徒指導連合会	事務局長	一関工業高等学校	教諭	後藤靖宏
所属	職名・氏名			
一関市教育委員会	学校教育課長補佐兼主幹	志賀誠		
	学校教育課長補佐兼学校教育係長	佐藤宣裕		
	学校教育課学校教育係主事	高橋佑治		
	学校教育課主任指導主事	南浦元		
	学校教育課指導主事	小野寺聖子		
	学校教育課指導主事	川村晃博		



## 4 一関市いじめ問題対策連絡協議会

### (1) 目的

いじめの防止等（いじめ防止、いじめの早期発見及びいじめの対処）に関する関係機関の連携推進を図るため、一関市いじめ問題対策連絡協議会を設置する。

### (2) 所掌事務

- ① いじめの防止等に係る情報共有に関すること。
- ② いじめの防止等に係る関係機関等の連絡の推進に関すること。
- ③ その他いじめの防止等に関し必要と認める事項に関すること。

### (3) 委員

所 属	職 名	氏 名	備 考
一 関 児 童 相 談 所	上 席 児 童 福 祉 司	薄 木 美 由 紀	
盛 岡 法 務 局 水 沢 局	総 務 課 長	安 彦 弘 喜	
一 関 警 察 署	生 活 安 全 課 長	阿 部 寿 之	
千 厩 警 察 署	生 活 安 全 課 長	佐 々 木 啓 友	
山 目 小 学 校	校 長	小 山 祐 二	
巖 美 中 学 校	校 長	千 葉 豪	
県 南 教 育 事 務 所	指 導 主 事	小 野 寺 良 明	
県 南 教 育 事 務 所	在 学 青 少 年 指 導 員	加 藤 清	
一 関 市 保 健 福 祉 部	次 長 兼 子 育 て 支 援 課 長 兼 一 関 市 育 て 支 援 セ ン タ ー 長	黒 井 直 子	
一 関 市 教 育 委 員 会	教 育 長	小 菅 正 晴	
一 関 市 教 育 研 究 所	教 育 相 談 員	吉 野 新 平	
一 関 市 教 育 研 究 所	教 育 相 談 員	戸 田 良 一	

### 【事務局】

所 属	職 名	氏 名	備 考
一 関 市 教 育 委 員 会	教 育 部 次 長 兼 学 校 教 育 課 長	菅 原 正 樹	
	学 校 教 育 課 主 幹	志 賀 誠	
	主 任 指 導 主 事	南 浦 元	
	指 導 主 事	千 葉 真	
	指 導 主 事	柳 原 和 歌 子	
	指 導 主 事	小 野 寺 聖 子	
	指 導 主 事	川 村 晃 博	
	指 導 主 事	片 沼 光 輝	

## 5 一関市学校給食センター運営委員会

市内学校給食センターを適正かつ円滑に運営するため、保護者代表・学校長・学識経験者を委員として委嘱し、学校給食に係る運営全般、衛生管理、食育、地産地消などの諸問題について情報交換を行い、各地域との相互連携を図りながら、望ましい学校給食のあり方を協議する。

### 一関市学校給食センター運営委員名簿（令和2年度～令和3年度）

（順不同・敬称略）

No.	氏名	所属	区分
1	中村 匡	萩荘小学校長	西部給セ 校長代表
2	小田島 達哉	平泉中学校長	西部第二給セ 校長代表
3	渡邊 淳	一関小学校長	真滝給セ 校長代表
4	佐藤 修	油島小学校長	花泉給セ 校長代表
5	伊東 秀敏	大原中学校長	大東給セ 校長代表
6	及川 公子	川崎中学校長	千厩給セ 校長代表
7	澤田 直哉	磐井中学校PTA会長	西部給セ 保護者代表
8	齋藤 禎弘	萩荘中学校PTA会長	西部第二給セ 保護者代表
9	竹岡 真紀	舞川小学校PTA副会長	真滝給セ 保護者代表
10	京極 和洋	老松小学校PTA会長	花泉給セ 保護者代表
11	三浦 孝浩	大東中学校PTA会長	大東給セ 保護者代表
12	菅原 邦章	千厩小学校PTA会長	千厩給セ 保護者代表
13	渡邊 美紀子	修紅短期大学食物栄養学科 准教授	学識経験者
14	小野寺 久美子	一関市食生活改善推進員協議会 理事	学識経験者
15	澤部 典男	一関保健所環境衛生課 上席薬剤師	学識経験者
16	板井 直之	県南教育事務所 指導主事	学識経験者
17	菅野 ゆう子	一関市農林部地産地消・外商課 地産地消・外商係長	学識経験者

※ 任期：令和4年3月31日まで

## 6 一関市幼・小・中・高・特・高専・大学校運営推進協議会

### (1) 目的

一関市の幼稚園の園長、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、工業高等専門学校校長、及び大学の学長等が、それぞれの教育の諸問題について情報を交換するとともに、共通の課題を明らかにし、その解決の方策を協議することにより、地域における一貫した教育の推進体制の充実に資する。

### (2) 所掌事項

推進協議会は、学校教育に関する情報交換、研究協議、研修及び推進体制の整備等を行う。

- ① 豊かな心を育成する道徳教育の充実に関すること。
- ② 健全な個性の育成を図る生徒指導の改善に関すること。
- ③ 学力向上を図る学習指導の改善に関すること。
- ④ 体位・体力の向上及び健康教育の推進に関すること。
- ⑤ その他学校教育に関すること。

### (3) 役員・運営委員

役 職	氏 名	職 名
会 長	時 枝 直 樹	一関中学校長
副 会 長	小 山 祐 二	山目小学校長
	里 舘 文 彦	一関第一高等学校長
運 営 委 員	蜂 谷 隆 博	修紅短期大学附属認定こども園長
	千 葉 敏 之	赤荻幼稚園長
	荒 木 信 夫	一関工業高等専門学校長
	千 葉 正	修紅短期大学長

## 7 一関市奨学生選考委員会

一関市奨学金は、一関市に住所を有する者の子女であって、高等学校以上の学校に在学し、経済的な理由により就学が困難な者に対し一関市奨学金を貸与し、人材を育成することを目的とする。

- (1) 奨学金の額
- |              |            |
|--------------|------------|
| 高等学校等に在学する者  | 月額 12,000円 |
| 高等専門学校に在学する者 | 月額 20,000円 |
| 大学等に在学する者    | 月額 45,000円 |

- (2) 令和3年度の貸与の状況（令和3年7月1日現在）

※基準日時点において募集中のものは含まれていない。

区 分	高校生等(人)	高 専 生(人)	大学生等(人)	計 (人)
新 規	6	0	44	50
継 続	14	2	94	110
計	20	2	138	160

- (3) 奨学生選考委員会委員

委 員 長	北 村 正 俊	委 員	佐 藤 親 幸
委員長職務代理者	高 原 智 康	委 員	伊 師 みゆき
委 員	里 舘 文 彦	委 員	岩 本 孝 彦
委 員	佐 伯 幸 雄		



## VII 令和3年度 一関市教育研究所の運営について

### 1 運営方針

- 1 本市における教育課題に対応した調査研究や、教員の資質・能力の向上、学力向上の取り組みへの指導・助言などの学力向上推進事業を行うことにより、本市の学力の向上に努める。
- 2 児童生徒の学校適応を図るための教育実践や教育相談事業、各園・各校と連携した指導・援助などの教育相談事業を行うことにより児童生徒の健全育成に努める。
- 3 教育の今日的課題や授業の改善に対応した研究・研修を行うことにより、教員の資質向上と指導力の育成に努める。
- 4 教育に関する資料の収集・整備・保存や教育情報発行等の充実に努め、研究・研修活動に対する資料提供に努める。

### 2 運営の重点

- 1 本市における教育課題等に係る調査・研究・実践の推進
- 2 教員の資質・能力の向上、学力向上推進対策の助言・指導・支援
- 3 児童生徒の不登校等の学校不適応や生徒指導上の課題に係る実態把握・助言・指導・支援
- 4 わかる授業づくりに関する研修（講演会、拡大校内研等）の実施

### 3 運営組織

#### 1 運営委員会

- (1) 運営委員は、9名とし、教育委員会がこれを委嘱する。
- (2) 運営委員会は、必要に応じ開催し、所長より提案された事項について協議し、運営委員会の意見を集約して具申する。

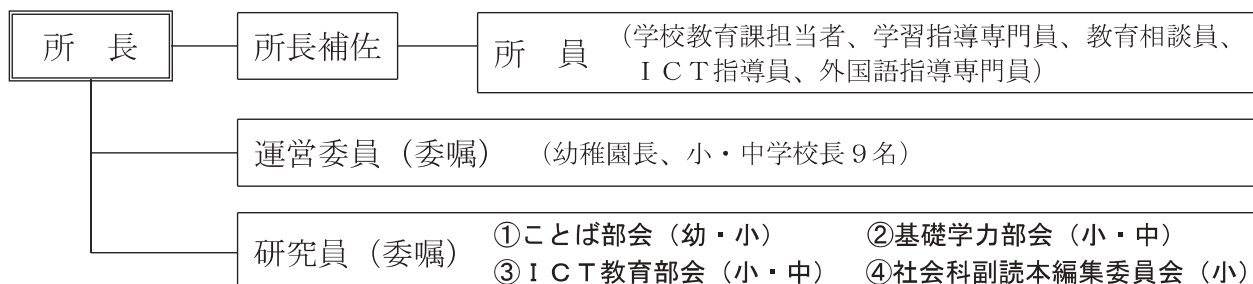
#### 2 研究所員

- (1) 研究所員は以下の担当で構成する。
  - ア 所長：学校教育課長
  - イ 所長補佐：学習専門員または教育相談員から1名
  - ウ 所員：学校教育課担当者、学習指導専門員、教育相談員、ICT指導員、外国語指導専門員
- (2) 研究所担当指導主事が研究所の主務にあたる。

#### 3 研究員

- (1) 部会を設定し、研究員による研究活動を行う。(R3年度3～4部会で調整)
- (2) 研究員は、部会に必要な人数を募集し、教育委員会がこれを委嘱する。
- (3) 研究員は、所長の命を受け、教育に関する専門的・技術的事項の研究に従事する。
- (4) 研究員は、各園、各学校の教育実践に役立てるため、必要に応じて実証的研究を行い、その結果を研究授業や研究報告書等をもって提示する。

#### 4 組織・機構図



## 4 運営の方針及び重点に基づく各事業内容

### 1 調査研究の推進と学力向上・指導力向上に関する指導助言【学習指導専門員担当事業】

- (1) 全国学力・学習状況調査、岩手県学習状況調査、C R T等により児童生徒の学習の定着状況を的確に把握するとともに、児童生徒の学習の定着状況に応じた指導方法の工夫改善に取り組む。
  - ・知能検査（小2、小5、中1）の実施
  - ・C R T（小学校の国語・算数）の実施
  - ・学力向上に関する資料作成
- (2) 各学校を訪問し、授業参観を通しての指導・助言や各学校の学力向上の取り組みへの指導・助言を行う。
  - ・学力向上推進事業

### 2 学校適応と教育相談等の充実【教育相談員担当事業】

- (1) 児童生徒の不登校等学校不適応に関する実態を把握し、その解決に向けた教育実践に取り組む。
- (2) 不登校等学校不適応に関する教育相談事業の充実を図る。
  - ・子ども悩みごと教育相談
  - ・自然体験活動
  - ・適応支援教室「たんぼぼ広場」の開設
  - ・適応支援相談員会議の開催
- (3) 児童相談所、特別支援学校、警察等関係機関との連携を図る。

### 3 教員の資質向上と指導力育成【研究所事務局（指導主事）担当事業】

- (1) 本市における教育課題及び教育の今日的課題に対応した研究員研究を行う。
  - ① ことば部会（幼・小）
  - ② 基礎学力部会（小・中）
  - ③ I C T教育部会（小・中）
  - ④ 社会科副読本編集委員会（小）
- (2) 教育の今日的課題に対する見識を高めるために教育講演会を実施する。
- (3) 拡大校内研究会を推進、継続する。

### 4 教育情報の提供、資料の整備

- (1) 教育実践「いちのせき」、研究報告書等を作成し、研究の成果を広めることに努める。
- (2) 日常の教育実践及び学校における教育研究推進に役立つよう研究資料の収集、整備、提供等のサービスに努める。

## 5 令和3年度事業計画

月	運営委員会	学力向上推進事業	教育相談事業	研究員研究	研修会	拡大校内研	諸検査	その他
4	第1回	学力向上資料配布 学校訪問開始 各校の学力向上対策提出	たんぼぼ広場開設 悩みごと教育相談 学校訪問開始				知能検査	
5				研究員会議		一覧表配布		研究所連盟総会
6		学びの相談会	適応支援相談員会議	研究部会(随時)		参加(随時)		
7		学びの相談会	夏季自然体験活動					
8								
9			秋季自然体験活動					研究所連盟研修会
10								
11			適応支援相談員会議					
12							CRT	
1	第2回	教育実践いちのせき16号		成果物公表	研修会	▼		
2								県研究発表大会

## 6 各事業計画

### 1 学力向上推進事業（学習指導専門員）

- (1) 各学校の「学力向上推進対策」並びに授業参観を通して「構造的板書とテンポよい授業」等に関する各担任・教科担任等への助言・指導
- (2) 学力向上に関する資料並びに調査・研究に関する資料作成
- (3) 学びの相談会

### 2 教育相談事業（教育相談員）

- (1) 子ども悩みごと教育相談
  - ・窓口相談（「悩みごと相談電話」の設置、電話・来所・訪問による相談）
  - ・訪問相談（各小中学校に年間4回訪問、支援を必要とする小中学校に随時）
- (2) 自然体験活動（年2回実施）
- (3) 適応支援教室「たんぼぼ広場」の開設（週2日、火・木 9:00～12:00）
- (4) 適応支援相談員会議（年2回実施）

### 3 研究員研究

- (1) ことば部会
  - ア 目的 「ことばの時間」を充実させるための方法や工夫を研究し、効果的な実践事例を映像データとして収集し、データベース化を図る。
  - イ 構成 幼稚園教諭(3)、小学校教諭(3)
- (2) 基礎学力部会
  - ア 目的 基礎学力の定着と集中力の育成を目標に、陰山メゾットを活用したの効果的な指導の在り方について研究し、実践事例を紹介する。
  - イ 構成 小学校教員(3)、中学校教員(3)

### (3) ICT教育部会

ア 目的 学習指導要領に示されている資質・能力の育成のために、GIGAスクール構想により整備される一人1台端末の効果的な活用の在り方について研究を行い、市内の学校に先行活用事例として広げる。

イ 構成 小学校教員(9/低・中・高学年各3)、中学校教員(3)

### (4) 社会科副読本編集委員会

ア 目的 身近な地域の指導の在り方や、教材について分析・調査・研究を行い、小学校社会科副読本「わたしたちの一関市」の改訂を行う。

イ 構成 小学校教員(4)

## 4 研修会

(1) 目的 市内幼稚園・こども園・小学校・中学校の教職員を対象に、教育の今日的課題に対する見識を高める立場から講演等を実施し、教職員の資質の向上に資する。

(2) 日時 令和4年1月7日(金) 13時30分～16時30分(予定)

(3) 会場 一関文化センター大ホール

(4) 対象 市立幼稚園・こども園・保育園等・小学校・中学校教職員

(5) 内容

- ・教育長講話
- ・講演(佐藤 慎二氏/植草学園大学教授)
- ・研究所より(検討中:パネルディスカッション、部会研究紹介等)

## 5 拡大校内研究会の推進、継続

(1) 目的 他校の教員に広く授業公開することで、校内研修を活性化させるとともに、市内の教員の資質向上と指導力向上及び校種連携を図る。

(2) 概要

- ・各園、各校における研究会のうち、指導主事派遣事業をすべて拡大校内研として位置付ける。
- ・拡大校内研案内(5月に年間一覧表を配布)で実施学校、学年、教科、授業者を周知する。
- ・申し込みは当該校間で行う。

## 6 諸検査

(1) 知能検査

ア 期 日 4月(4/7～4/23の期間で実施)

イ 対 象 小学校第2学年・第5学年、中学校第1学年

(2) CRT

ア 期 日 12月(12/1～12/14の期間で実施)

イ 対 象 小学校第1学年～第6学年(国語・算数)

ウ その他

- ・採点処理は、業者に委託
- ・各学校では、検査結果を分析し、年度内の指導に生かすとともに、「学力向上に関する計画」を作成し、次年度の指導に生かす。

## 7 研究刊行物

・教育実践「いちのせき」16号